

年 報

2025 年度（令和 7 年度）

No.28

長野県立歴史館

目 次

概 要

I 沿 革	1
1 開館までの歩み	
2 開館後の歩み	
II 機能・組織・運営	10
1 機 能	
2 組織と分掌	
3 運 営	
4 関係法規	
III 施 設	18
1 平面図	
2 諸 室	

事 業

I 令和7年度の主な事業実績	20
II 展 示	21
1 常設展示	
2 企画展示等	
III 教育普及公開	37
1 学校・団体見学 実施記録	
2 企画展関連講演会等	
3 講 座	
4 考古学セミナー	
5 近世史セミナー	
6 講習会	
7 イベント	
8 展示解説	
9 学校との連携	
10 博物館実習	
11 インターンシップ	
12 職場体験学習	
13 サークル育成活動	
14 ボランティア活動	
15 博物館関係職員等研修会	
16 出前講座	

IV 共催事業等	53
V 出版	56
長野県立歴史館たより	
2 研究紀要	
3 その他	
VI 閲覧・情報提供	58
1 図書等資料	
2 情報提供	
VII 調査研究	59
1 調査研究の体制と内容	
2 学芸研究会	
3 時代別研究会	
VIII 資料の収集・整理・保存	61
1 資料収集の方針	
2 展示資料	
3 考古資料	
4 文献史料	
IX 広報	69
1 広告・案内	
2 記事・報道	
資料	
I 資料利用	74
II 閲覧利用・情報利用	74
III 利用者	74
IV 収蔵史資料数	78
目 誌	80

一 概 要

I 沿革

1 開館までの歩み

- 1988年（昭和63）4月……「第二次長野県総合5か年計画」で、「埋蔵文化財、重要な史資料の展示、保存、研究等機能を備えた施設を新設」する方針を決定
6月……「文化財に関する施設建設基本構想懇話会」（県内外の学識経験者12名）を設置
1989年（平成元）7月……懇話会が報告書を提出
1990年（平成2）10月……「県立歴史館（仮称）建設委員会」を設置
1990年（平成2）11月……建設基本構想骨子決定
1991年（平成3）4月……開館準備専任職員配置
1991年（平成3）5月……「県立歴史館（仮称）専門委員会」を設置
1992年（平成4）9月24日…起工式
1994年（平成6）5月……建設工事完成
1994年（平成6）8月……展示工事完成
1994年（平成6）11月03日…開館

2 開館後の歩み

1994（平成6）年度

- 11月 開館記念企画展「赤い土器のクニ」（共催）
11月 資料寄贈者などへの感謝状を贈呈

1995（平成7）年度

- やさしい信濃の歴史学習会、考古資料講座、古文書講座、考古資料保存処理講習会、文献史料保存活用講習会を年間計画に基づいて開催。常設展示のローテーション展示替え実施。また市町村発掘担当者研修会を実施（共催）。
7月 夏季企画展「絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－」
8月 特別展示「終戦日8月15日と長野県民」
10月 秋季企画展「信濃における戦国争乱の世界」

1996（平成8）年度

- 新たに歴史館セミナーを年2回開催。7月に博物館実習を初めて実施。
7月 夏季企画展「縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－」
10月 秋季企画展「木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－」

1997年1月 館蔵品展

1997（平成9）年度

- 9月に館燻蒸を初めて実施。
7月 夏季企画展「殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－」
8月 長野県立歴史館ホームページ開設
10月 秋季企画展「長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－」

1998年1月 館蔵品展

- 3月 皇太子・皇太子妃両殿下行啓

1998（平成10）年度

- 古文書講座を入門講座と解説講座とに分けて実施。また新たに地域セミナーを始め、6月に飯田・下伊那セミナーを実施。
6月 屋代木簡特別展示
7月 夏季企画展「古代シナノの武器と馬具－古墳時代の武人のすがた－」
10月 秋季企画展「諏訪信仰の祭りと文化」。御柱をエントランスに展示開始。

1999年2月 長野県考古資料速報展「新発見・信州話題の考古資料」

1999（平成11）年度

- やさしい信濃の歴史学習会を「やさしい信濃の歴史講座」、考古資料講座を「考古学講座」に改称。
歴史館セミナーを年3回実施。

- 4月 館蔵品展
- 6月 佐久セミナー
- 7月 開館五周年特別展「信濃名宝展－鎌倉時代の文化財－」
- 10月 秋季企画展「蘭学万華鏡－江戸時代 信濃の科学技術－」
- 11月 開館5周年記念式典挙行

2000年1月 考古資料特別公開「躍動する縄文土器・里帰りした信州の出土品－重文新指定御代田町川原田遺跡出土品とその周辺－」

2000(平成12)年度

西暦2000年に合わせて、20世紀の長野県の歴史をふり返る特別展を企画

- 7月 木曾セミナー
- 7月 夏季企画展「千曲川歴史紀行－ともに生きた人びとの記録－」
- 10月 秋季企画展「歴史の宝庫 秋葉みち－信遠古道をたどる－」
- 12月 長野県人権啓発センター開所(講堂棟)
- 2001年1月 長野県の20世紀展「信州に生きた20世紀の女たち」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2000」(共催事業)
- 3月 ホームページ全面更新 独自ドメイン(www.npmh.net)取得

2001(平成13)年度

- 5月 館蔵品展「屏風の世界」
- 7月 夏季企画展「阿久遺跡と縄文人の世界」諏訪セミナー
- 10月 秋季企画展「文人墨客がつどう－十九世紀北信濃の文芸ネットワーク－」
- 2002年1月 特別公開「雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2001」(共催事業)

2002(平成14)年度

- 5月 テーマ展「北村縄文人の時代－仮面土偶をつくった人びと－」
- 7月 夏季企画展「世界と地域を見つめた長野県教育－信山育材－」北安曇セミナー
- 10月 秋季企画展「開設四百年 中山道－信濃二十六宿と間宿－」
- 2003年1月 特別公開「雛人形と雛道具－田中平八コレクションと北信濃の雛人形－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2002」(共催事業)

2003(平成15)年度

夏休み中、7月19日～8月24日の間、体験講座「石のアクセサリーに挑戦」を毎日実施した。講座開設に際して、当館として初めてボランティアを受け入れた。この後、「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展」の折り鶴、「雛人形と雛道具展」のお雛様作り、および赤外線カメラの解説にボランティアを受け入れた。また一階エントランスに簡易展示コーナーを設置した。入館者数は4000人ほど前年度を上回り、3年連続の増加となった。

- 5月 テーマ展「おらが善光寺さん－秘伝の寺ものがたり－」
- 7月 夏季企画展「SOS ふるさとの文化財をすくえ－伝えたい古人の心と技－」上伊那セミナー
- 9月 秋季企画展「もみじ 夕焼け 里の秋－唱歌・童謡のふるさと信州－」同時開催「ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展－風化させてはならない歴史－」
- 2004年1月 特別公開「重要文化財 神子柴遺跡の石器群－石の時代の槍と斧－」
同時公開「雛人形と雛道具－子どもの祝い－」
- 3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2003」(共催事業)

2004(平成16)年度

開館10周年の節目の年に当たり、総入館者数100万人を突破した。企画展では開館以来初めて年間を通じたテーマ(「人と物の交流」)を設定し、秋季展では入場者数1万人を越えるなど健闘した。夏季展では善光寺道ウォーキング、秋季企画展ではドングリゴマづくり、冬季展では折雛づくりなど参加型活動を模索した年でもあった。民話データベースの公開、小・中生向けの調べ学習対応の図書を配備した。

- 5月 春季展「神がみへの願い 人びとの祈り－古代のまつり－」
- 7月 開館10周年記念式典夏季展「善光寺道－街道を行き来した人・物・文化－」
松本セミナー「松本地域の歴史と風土」
- 10月 秋季展「中世信濃武士意外伝－義仲から幸村まで－」
- 2005年1月 新春特別公開「新春屏風絵図展」
冬季展「天下の糸平ゆかりの雛人形－横浜を目指した信州の生糸商人たち－」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2004」(共催事業)

2005(平成17)年度

運営管理について、4月1日より、長野県文化振興事業団から長野県教育委員会に直営化された。

企画展では、親しみやすさやわかりやすさを追求し、館職員による博物館ミュージカルに挑戦したり、県下に伝わる人形芝居の公演を行ったりした。また、時宜に適した企画として六角木幢展を実施したほか、森將軍塚まつりなどをとおして地域社会との連携を積極的に進めた。更には、学校教育や社会教育との連携も拡大し、総合的な学習の時間や公民館講座などの様々な学習活動へ職員を派遣するなどした。

5月 春季特別展「里帰りした赤羽刀—GHQ 接收刀剣の輝き—」

7月 夏季企画展「地下4mの「縄文伝説」—屋代遺跡群 愛と出会いの4千年—」飯山公開講座「善光寺地震における飯山の被害状況」ほか

10月 秋季企画展「信州舞台物語—団十郎も須磨子もやってきた—」

11月 特別公開「六角木幢—極楽浄土への道しるべ—」(共催事業)

2006年1月 特別公開「雛人形と雛道具—身だしなみとよそおい—」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2006」(共催事業)

2006(平成18)年度

県教委の直営となった2年目は、年間通じて入館者を確保するために、企画展示室をフル活用して年5回の企画展を実施し、特に指定文化財と館蔵品公開を目的にした「信州の歴史遺産Ⅰ」を初めて開催した。学校や社会教育との連携を深めて出前授業や講演を行い、県外学校の団体向けの旅行業者はじめ、県内に宿泊施設のある千代田区・大田区・渋谷区・板橋区・練馬区・江戸川区・西東京市・八王子市・武蔵野市・三鷹市・府中市の教育委員会に対して広報活動をおこなった。こうした努力の積み重ねによって、開館2年目(平成7年度)の13万人に次ぐ112,230人を記録することができた。

5月 春季展「古瓦からみた信濃の古代—神津猛・米山一政資料を中心に—」

7月 夏季企画展「幕末の信州—時代を駆けた草莽たち—」

9月 秋季企画展「戦時下の子どもたち—信州の十五年戦争—」

11月 「信州の歴史遺産Ⅰ—新指定長野県宝と歴史館のお宝—」

2007年1月 冬季展「信濃の人形—いのりと願い—」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2007」(共催事業)

2007(平成19)年度

展示スペースを工夫拡大し、全国的規模の展示である文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007—新発見考古資料速報展—」を初めて開催した。3月の埋蔵文化財センター速報展では歴史的発見である中野市柳沢遺跡出土の銅鐸・銅戈を展示する事ができた。企画展示の充実や県内外の学校との連携、地域への出前講座などを更に進め、開館2年目に次ぐ117,236人の入館者を記録する事ができた。

5月 春季展「埋もれていた信州遺産の発見—長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから—」

7月 夏季展「絵地図の魅力—私の城下町—」

9月 文化庁巡回展「発掘された日本列島 2007—新発見考古資料速報展—」

10月 秋季企画展「武田・上杉・信濃武士」前期・後期

2008年1月 冬季展「信濃の人形展—雛人形と郷土の人形—」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2008」(共催事業)

2008(平成20)年度

春季の「うつわは語る」展、夏季の「大庄屋って何?」展、秋季の「よみがえる氷河時代の狩人」展、冬季の「信州の歴史遺産Ⅱ」展の展覧会を実施するとともに、学校見学への対応、一般来館者に対する体験学習(勾玉づくり)の実施、出前講座の実施など、展示以外の諸行事にも全力をあげた年であった。特に冬期間の自主事業「信州ふれあい歴史講座」は盛況で、歴史館に対する期待をひしひしと感ずることができた。

5月 春季展「うつわは語る—縄文から近世まで—」

7月 夏季企画展「大庄屋って何?—安曇郡・清水家文書の350年—」

9月 秋季企画展「よみがえる氷河時代の狩人」

12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅱ—長野県宝と歴史館のお宝—」

2009年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2009」(共催事業)

2009(平成21)年度

開館15周年と信濃史料刊行40周年の年に当たり、信濃毎日新聞社等との共催でアーカイブをテーマとした夏季展を実施した。南信地域の県民に当館講座の受講機会を提供することを目的に、飯田市美術博物館を会場に2回の公開講座を実施した。

- 4月 春季企画展「善光寺信仰―流転と遍歴の勸化―」
- 8月 夏季展「信州 知の遺産の系譜―歴史を記録した先人たち―」
- 9月 秋季企画展「山を越え川に沿う―信州弥生文化の確立―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅲ―諏訪地域の‘いのり’と‘まつり’―」

2010年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2010」（共催事業）

2010(平成22)年度

今年度からの5ヵ年計画として、当館の中期目標を策定した。ひめゆり平和祈念資料館・朝日新聞社と共催で春季企画展を開催した。外部団体との本格的な共催は当館初の企画である。当館が収蔵している信濃町日向林B遺跡遺物が重要文化財指定を受けた。

- 5月 春季企画展「ひめゆり 平和への祈り〔沖縄戦から65年〕」
- 7月 夏季展「あの世への想い―日本人はどのように埋葬されてきたか―」
- 9月 秋季企画展「東の牛伏寺 西の若澤寺―古代に創建された松本平の二つの寺院―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅳ―文字のちから 墨書土器から新聞の時代まで―」

2011年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2011」（共催事業）

2011(平成23)年度

利用者の目線に立ち「元気に・明るく・楽しく」をモットーに利用者サービスに徹することを掲げた。館蔵品を中心とした企画展・季節展に取り組んだ。外部団体との連携にも意欲的に取り組み、八十二文化財団との共催事業「大人の遠足」を実施するとともに、信州大学との連携に関する覚書を締結した。

- 5月 春季展「武士の家宝―かたりつがれた御家の由緒―」
- 7月 夏季企画展「激動を生きぬく―信濃武士市河氏の400年―」
- 9月 秋季企画展「観光地の描き方―浮世絵版画から観光パンフレットまで―」
- 12月 冬季展「信州の歴史遺産Ⅴ―郷土のお宝『重文・県宝』を見よう―」

2012年3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2012」（共催事業）

2012(平成24)年度

利用者目線に立ち、引き続き利用者サービスに徹することに力を入れた。企画展示では、年度前半は昭和戦前期に焦点を当てた展示・講座を実施した。後半では長野県の縄文土器の優品をはじめ一堂に会する展示を行い、縄文土器の世界を広げた。中期目標に基づく博物館評価のあり方について検討し、本格実施に備えた。外部団体との連携では、新たに長野県カルチャーセンターとの連携企画を行い、「信濃史料」に関する東京大学史料編纂所との共同研究も行った。

- 5月 春季企画展「長野県の満洲移民―三つの大日向をたどる―」
- 7月 夏季展「戦争と宣伝 阿智村ポスターが語る」
- 9月 秋季企画展「縄文土器展」：前期展「八ヶ岳山麓の名作」 後期展「千曲川流域、土器1万年の旅」

2013年1月 冬季展「愛娘の調度品―姫君様の婚礼道具から雛人形まで―」

3月 埋蔵文化財センター30周年企画展「掘ってわかった信州の歴史 長野県の遺跡発掘 2013」（共催事業）

2013(平成25)年度

利用者の立場に立って、心が通って楽しく、発見のある内容とサービスに力点を置いた。夏季企画展では、「信州の野球史」を取り上げた。スポーツに関する初めての企画ということもあり、全国からの観覧者があった。秋季企画展の「刃が語る信濃」については、一般にはなじみのない刀剣の展示であったが、関心のある方は何回も熱心に来場された。冬季展「山国の水害」では、戊の満水と善光寺地震を取り上げたところ、災害に関する関心度が高く好評だった。

- 4月 天皇・皇后両陛下下行幸啓
- 6月 夏季企画展「信州の野球史―大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球―」
- 9月 秋季企画展「刃が語る信濃―武器、象徴、そして芸術へ―」
- 11月 冬季展「山国の水害―戊の満水と善光寺地震―」

2014年2月 館蔵品展「戦前の観光信州―パンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉―」

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘 2014」（共催事業）

2014(平成26)年度

利用者の立場に立って、学術的である上、県民の関心をそそる内容とサービスに力点を置いた。館蔵品展では「歴史に煌めく日本の美―信濃の歴史を彩る名品たち―」ということで歴史館の優品を展示した。夏季展では、信州山の日制定に伴い「山とともに生きる」と題して、県内の山関係の展示を行った。秋季企画展の「信濃武士の決断」については、戦国時代の信濃武士の生き様について展示をした。冬季展「縄文土器

展」縄文中期の展示で評判になった。春季企画展では、「山と海の回廊をゆく」と題して、北陸新幹線延伸に伴うタイムリーな企画で関心度が高く好評だった。

6月 館蔵品展「歴史に煌めく日本の美－信濃の歴史を彩る名品たち－」

7月 夏季展「山とともに生きる～「信州山の日」制定を記念して～」

9月 秋季企画展「信濃武士の決断～信長・秀吉・家康の時代～」

11月 冬季展「縄文土器展～デコボコかざりのはじまり～」

2015年2月 春季企画展「山と海の回廊をゆく～信濃と北陸をつなぐ道～」

2015(平成27)年度

利用者目線に立つとともに、学術的には未開拓分野の研究を深め、その成果を展示した。また、市町村や民間の団体の協力を得た成果を発表する展示をおこなった。「長野県の遺跡発掘2015」は、長野県埋蔵文化財センター、市町村教育委員会の協力を得て当館が主催し長野県の最新の発掘成果を展示する初めての試みであった。戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」は戦後70年を経、戦争体験の風化、体験の継承の難しさが指摘されていることに鑑み、1945年当時の長野県民の戦争体験を長野空襲、動員、疎開、上原良司などを切り口に取り上げた。戦争体験者から体験を聞く証言会や、長野県内の市町村等が編集した戦争体験証言集を収集した。アメリカ軍資料、上原良司関係資料など新資料の掘り起こしをおこなった。タイムリーな企画として好評であった。秋季企画展「樹木と人の交渉史」は当館が継続して取り組んでいる木製品保存処理作業の成果を、「樹木と人の関わり」の観点で展示した。旧石器時代から近世までを生業・信仰などに係わる資料で展示した。館全体を展示スペースと位置づける新しい試みをおこなった。冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村地図－」は、当館が収蔵する地図約2700点の中から皇国地誌作成にあたって付図として作成されたと考えられる明治初期の地図について研究成果の展示であった。平成26年度よりおこなっている長野県測量設計業協会との共同研究「長野県地図図研究会」の成果をベースとした館蔵品展であったが、県下各地域の地図図を展示したことで全県から見学者が訪れ好評であった。

5月 「長野県の遺跡発掘2015」

7月 戦後70年企画「長野県民の1945－疎開・動員体験と上原良司－」

10月 秋季企画展「樹木と人の交渉史－発掘された木製品、樹木信仰にみる3万年の歴史－」

12月 冬季展「地図の明治維新－残された明治初期の町村地図－」

2016年3月 「長野県の遺跡発掘2016」

2016(平成28)年度

笹本正治館長を迎え、「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月には真田氏を取り上げた館主催の連続講座「歴史館ふるさと講座 in 千曲」(5回)を実施、延べ600人の聴講者があった。8月には戦争と平和を考える連続講座「歴史館から考える戦争と平和」(4回)を開催、同様多数の聴講者があった。平成29年1月には長野県ケーブルテレビジョンとの連携協定に調印、情報発信力の強化を図った。

平成28年巡回展・埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」は従来の伊那・安曇野2会場に加え、佐久会場(佐久市近代美術館)での開催を実施した。

企画展示では秋季企画展で木曽地域の歴史を取り上げた。同時期に木曽が日本遺産登録を受けたことで、タイムリーな企画となった。木曽馬や木曽各地の民俗芸能を歴史館に招いたほか、常設展示の各時代にも木曽関連展示コーナーを設けるなど、積極的に木曽文化の発信を図った。

冬季展「信濃国の城と城下町－発掘調査が謎を解く－」は、県内市町村教育委員会との共同研究の成果を発表したものである。

出前講座は121回、9300人ほどが聴講した。昨年の年74回、4300人に比べほぼ倍増であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本に加え、箕輪で実施した。

平成31年度の「開館25年」に合わせて課題の洗い出しが行われ、常設展示のなかに小学生向けの近現代コーナーを設置する方針が決定した。次年度検討を行うこととなった。また、本年度は長野県にとっては「信州学」元年であり、高校生向けの教材も作成された。当館としても歴史を基礎とするオリジナルな信州学テキストの刊行を計画、次年度に編集・刊行を行うこととした。

ブックレットは「水」とテーマとした。

「開館25年」記念展示として、国宝土偶を一堂に展示する企画が立案され、準備に入った。

老朽化した施設の修繕として、屋根防水改修、講堂の空調改修を行った。

3月 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2016」

7月 夏季企画展「夢をのせた信州の鉄道－失われた鉄道の軌跡－」

9月 秋季企画展「木曽の宝－文化の十字路口－」

12月 冬季展「信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー」

2017年3月 「長野県の遺跡発掘 2017」

2017(平成29)年度

平成28年度同様「県民のための歴史館」を目標に、多方面にわたって積極的に広報活動をおこなった。6月から7月には信州の災害史を取り上げた館主催の連続講座「自然と向かい合いくらしを築く」(5回)を実施、延べ900人近い聴講者があった。講座の様子は長野県ケーブルテレビジョンで配信された。

長野県・長野県教育委員会・(一社)長野県環境保全協会等で実行委員会を構成する「信州環境フェア 2017」(7/29・30 於ビックハット)に参加し「戌の満水」の展示を行った。

平成29年巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」は昨年に続き伊那(伊那文化会館)・安曇野(豊科郷土資料館)・佐久(浅間縄文ミュージアム)で実施した。

企画展示では、夏季企画展「長野県誕生!ー公文書・古文書から読みとくー」で長野県の明治維新の歴史を取り上げた。当館が所蔵する豊富な行政文書を核にすえた展示であったが、幕末の混乱期から長野県が成立する明治初期を詳細に辿る企画であったが、期間中に図録が完売するなど、高い評価を受けた。オープニングセレモニーには阿部守一長野県知事が出席した。

秋季企画展「進化する縄文土器〜流れるもようと区画もよう〜」は、平成26年度冬季展「縄文土器展〜デコボコかざりのはじまり〜」に続くもので、縄文時代中期中葉のなかごろ(約5,300〜5,100年前)における縄文土器の飛躍的な進化を取り上げた。図録は館内のみでなく、信毎書籍出版センターから刊行された。

冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」は、飯田出身で「日本における博物館の父」と呼ばれる田中芳男の生涯と業績を取り上げた。昨年度秋季企画展での木曽地域との連携同様、この展示では飯田市および飯田市美術博物館との連携に努めた。オープニングセレモニーには太田寛長野県副知事、牧野光朗飯田市長、上岡美保東京農業大学「食と農」の博物館副館長が出席した。

この展示は歴史館としては初めて特定の人物を取り上げたものであったが、多くの共感を得ることができた。

出前講座は123回、8600人ほどが聴講した。昨年とほぼ同数であった。

「やさしい信濃の歴史講座」の出前は従来の上田・松本、箕輪に加え諏訪で実施した。

館運営に企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を初めて実施した。南信に拠点をおくKOA株式会社の協賛を受け12月16日(土)を「KOAの日」と命名、入館無料とした。約500人が来館した。バックヤード探検、新購入史料(「きそのぐわんしょ」)の公開、プラ板作りなどのイベントを実施した。

文献史料課では8月に新規事業として「ティーンズ古文書講座」を実施した。4日(2.5時間×4日)、中学生から大学生まで19人の参加があった。若年層向けの古文書講座は全国でもまれで、マスコミにも取り上げられた。次年度も継続することとなった。

歴史館版信州学テキスト(『日常生活からひもとく信州』)を信濃毎日新聞社より刊行した。全4巻を予定し、今回は「信州を学ぶ◎足元を探る編」をテーマに、衣食住を特集した。

親子ふれあいコーナーのコンセプトについて検討を行った。

ブックレットは「道」をテーマとした。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2017」

7月 夏季企画展「長野県誕生!ー公文書・古文書から読みとくー」

9月 秋季企画展「縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器〜流れるもようと区画もよう〜」

12月 冬季展「田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新」

2018年3月 「長野県の遺跡発掘 2018」

2018(平成30)年度

「県民により必要とされ、愛される歴史館」を目指して積極的に活動をおこなった。他館との連携強化にむけて、山梨県立博物館と他県博物館と初めてとなる連携協定を10月26日に締結した。

巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」は歴史館の他、県内3箇所で開催した。企画展については、それぞれ独自の視点から展示を行い好評であった。また、ミニ展示として、5月に『「県歌50年」作詞家「浅井淵の書を見る」』、6月に『信州の「野球史 夏」』を行い、タイムリーな企画となった。講座については、信州学講座として歴史館で9回、出前講座として上田・箕輪・諏訪・松本・飯田の5箇所で開催した。

館運営に企業の賛助を得る「歴史館パートナーの日」を昨年のKOA株式会社に加え、長野都市ガスの協賛を受け、入館無料として実施した。

歴史館版信州学テキスト第2巻『広い世界とつながる信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

外壁工事のため7月30日〜9月14日の期間が休館となった。また、講堂の天井改修工事のため11月4日〜3月31日の期間が講堂使用不可となった。

3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2018」

6月 夏季企画展「君は河童を見たか！－水辺の出会い－」

9月 秋季企画展「最古の信州ブランド黒曜石－先史社会の石材獲得と流通－」

12月 冬季展「自然を見つめた田淵行男」

2019年3月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」

2019(令和元)年度

開館 25 周年を迎え、記念事業を実施。特別企画として、「長野県立歴史館の名品」、「戦国 小笠原三代」、「土偶展」を開催し、何れも好評であり来館者より高い評価を受けた。特に 10 月 26 日(土) から 11 月 10 日(日) まで実施した特別企画土偶展 前期展「国宝土偶－縄文文化の多様な個性－」は、現在日本において指定を受けている国宝土偶 5 箇を展示した。入館者数は 15,041 名を数え、非常に盛況であった。

講座は、信州学講座として歴史館で 5 回(2 回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として安曇野・上田・箕輪・諏訪の 4 箇所で実施しいずれも好評であった。

館運営に対して企業等の賛助を得る「歴史館パートナーの日」は KOA 株式会社、千曲市から協賛を受けて実施した。特に千曲市からは特別企画土偶展 前期展開催に向けて多大な支援を頂いた。特別企画土偶展の開催期間中に「千曲市の日」を設け、千曲市民の入館を無料としたところ、711 名の千曲市民の来館があり地域に歴史館を知っていただく絶好の機会となった。

他館との連携強化として、11 月 22 日山梨県立考古博物館、同 23 日群馬県立歴史博物館と連携協定を締結した。

歴史館版信州学テキスト第 3 巻『新たな時代にはばたく信州』を信濃毎日新聞社より刊行した。

4月 巡回展「長野県の遺跡発掘 2019 長野県の考古学－時代を映す“匠”の技－」

7月 収蔵品展「長野県立歴史館の名品」

9月 秋季企画展「戦国 小笠原三代－長時・貞慶・秀政－」

10月 特別企画土偶展 前期展「国宝土偶－縄文文化の多様な個性－」

後期展「中部高地の土偶－暮らしに寄り添う小さな女神－」

2020年3月 春季展「長野県の考古学－いのちをつなぐ技と交流－」

2020(令和2)年度

笹本正治館長は特別館長に役職を改め、引き続き館運営の指導にあたった。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4 月 15 日(水) から 5 月 6 日(水)、さらに延長して 5 月 31 日(日) までの期間を休館とした。また、学校見学、館主催の講座・イベント等については 7 月 31 日(金) まで中止とし、再開後も来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展についてはコロナ禍での影響を受けつつも展示に工夫をして開催し、いずれも好評であった。特に秋季企画展「稲作とクニの誕生－信州と北部九州－」では、国宝の金印を県内初披露する予定だったが、来館者の密集を避けるために断念、また北部九州の資料についても感染拡大地域からの集荷を取りやめてパネル展示に切り替えるなど大幅な変更を余儀なくされたが、県内出土品の充実した展示により、高い評価を得た。

講座は、信州学講座として歴史館で 3 回(3 回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)、出前講座として飯田・木曽・箕輪の 3 箇所で実施しいずれも好評であった。

6 月には地元である千曲市との間で、昨年の特別企画土偶展における連携協力をきっかけとして、県内市町村では初となる連携協定を締結した。また、他館とのさらなる連携強化のため、10 月 27 日新潟県立歴史博物館とも連携協定を締結した

3月 春季展「長野県の考古学－いのちをつなぐ技と交流－」

7月 夏季企画展「地酒王国 信州」

9月 秋季企画展「稲作とクニの誕生－信州と北部九州－」

2021年1月 冬季展「洋画家・書家・コレクター 中村不折－伊那谷から世界へ」

3月 所蔵品展「至宝の名品－学芸員のイチ押し 絵画工芸編－」

2021(令和3)年度

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、9 月 3 日(金) から 9 月 12 日(日) まで臨時休館せざるを得ない状況となった。学校見学や館主催の講座などは、昨年度からの人数制限や事前申込の対応を引き続き行い、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。

企画展については、コロナ禍での影響を受けつつも、資料選定や展示に工夫をして開催することができた。夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州」は、県内すべての教育会の丹念な調査をもとにした新視点からの展示などを行い、日を迫うにつれ来館者が増加するなど高い関心と呼んだ。秋季企画展「全盛期の縄文土

器」では、県外から借用した国宝・重要文化財の展示もあったが、それに劣らぬ県内縄文土器の魅力を発信することに重きを置いた。冬季企画展「郷愁の画家 丸山晩霞」も、本県ゆかりの人物に焦点をあてる目的で平成 29 年度より行っている企画展の一環であり、いずれも県立博物館として、本県の歴史を紐解き県民の文化に寄与することを考えての企画である。すべての企画展で展示図録が期間終了を待たずに完売するなど非常に好評であった。

講座は、信州学講座として歴史館で 6 回、出前講座として上田・安曇野(飯山は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)の 2 箇所で開催した上での実施であったが、いずれも好評であった。

11 月には、県内自治体では昨年の千曲市に続いて 2 例目となる連携協定を、須坂市と締結した。これは当館の基本目標である「県内博物館・文書館等の中核、歴史情報の拠点としての役割充実」活動の一環であり、具体的活動として 11 月 21 日を「須坂市民の日」に設定し、須坂市民観覧料無料、当館所蔵の須坂市関連資料の特別公開などを実施した。多くの須坂市民が来館した。今後は史資料の貸借や人的交流などを行う予定で、これを更なる連携強化を進める上でのモデルケースとしていきたい。

3 月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 絵画工芸編一」

7 月 夏季企画展「青少年義勇軍が見た満州 一創られた大陸の夢」

9 月 秋季企画展「全盛期の縄文土器一圧倒する褶曲文一」

2022 年 1 月 冬季企画展「没後 80 年 郷愁の画家 丸山晩霞 一師友とその時代」

3 月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチオシ 考古資料編一 大地からのメッセージ」

2022 (令和 4) 年度

臨時休館こそなかったが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は大きかった。当館の所在する長野圏域に最大の警戒レベル 5 が発出された際には、閲覧室閉鎖・閲覧業務停止の対応としたが、その日数は、本年度開館日 288 日中 144 日に及んだ。これは、何より来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた結果である。

企画展については、コロナ禍における様々な影響を想定し、資料の借用を早くから計画的に行うなど工夫を重ね、すべて開催することができた。

夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」は、古文書・仏像などに加え、お堂まで展示し、展示室に修験の世界を体感できる空間を作り上げ、非常に好評であった。秋季企画展「諏訪と武田氏」は、本年が 7 年に一度の御柱祭開催という年、冬季企画展「高遠藩の遺産一最後の藩主が残したもの一」は、展示の中心をなした宮田村指定文化財が長野県宝に指定されるなど、タイムリーな展示となった。今年度の企画展は、佐久、諏訪、高遠といずれも県内地域を取り上げ、地元との連携をより深めることができた。県内博物館として、県内地域との連携、県民の文化向上は第一の使命であり、今後も、地域と結びつく活動をさらに続けていく。

当館主催の講座についても、新型コロナウイルス感染症対応として、人数制限・事前申込・検温・消毒などを講じた上で開催した。古文書講座では、募集開始 2 日で定数満杯になる講座があった。信州学講座や企画展講座でも、事前に定数に達するものが多く、いずれも好評であった。コロナ禍においても県民の学習意欲に変わるところはないばかりかむしろ高まったと感じるほどであった。

今後もこういった声に応えるべく、当館で行う企画展や県立歴史館講座の内容をさらに充実させると同時に、外部向けのお出かけ歴史館や職員出前講座、地域展などのアウトリーチ活動を広く周知することで、県立歴史館としての使命・役割を一層果たしていく。

「歴史館パートナーの日」として、6 月 11 日に「Goolight の日」、1 月 21 日に「KOA の日」を実施した。

近年、社会情勢の変化により、近世・近代文書の散逸が進んでいる。県民にとって重要な資料の散逸防止措置の一環として、クラウドファンディングに取り組んだ。12 月 16 日から 2023 年 3 月 15 日までの 90 日間「武田晴信書状購入プロジェクト」を実施し、315 万円の目標設定に対し 334 万円の寄付をいただいた。資料は令和 5 年度に購入し、県民への披露の機会を計画する予定である。

3 月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 考古資料編一 大地からのメッセージ」

7 月 夏季企画展「山伏一佐久の修験 大井法華堂の世界一」

10 月 秋季企画展「諏訪と武田氏」

2023 年 1 月 冬季企画展「高遠藩の遺産 一最後の藩主が残したもの一」

3 月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 古文書編 一読めなくても面白い一」

2023 (令和 5) 年度

今年度は新型コロナウイルス感染症が 5 月 8 日より 5 類感染症へ移行された。歴史館も年度途中より規制を緩和しほぼ通常通りの運営となったが、来館者の安全・安心を第一とした館運営に努めた。企画展については、すべて開催することができた。夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」は、展示室での解説動画上映、森將軍塚古墳をプリントした古墳マットを設置するなど新たな展示手法を取り入れ

た。また、フォトコンテストなど新たなイベント等を通じて現地に残る古墳来訪を促す工夫も取り入れた。秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」は、県内のやきもの資料を集成し、図録を含め、歴史的な側面からまとめることができた点は、大きな成果だった。冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」は、特定の女性にスポットを当てた初めての企画展であった。シルクラベルの展示も好評であった。

「歴史館パートナーの日」として、11月19日に「須坂市民の日」、1月20日に「KOAの日」を実施した。

昨年度実施したクラウドファンディングで購入した「武田晴信書状」を披露するため、8月11日に笹本特別館長の講座と特別閲覧会を行い、好評を博した。

3月 所蔵品展「至宝の名品 一学芸員のイチ押し 古文書編～読めなくても面白い～」

7月 夏季企画展「主張する古墳～新たなシナノの古墳時代像～」

10月 秋季企画展「信州やきもの紀行～江戸から明治～」

2024年1月 冬季企画展「和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～」

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

2024(令和6)年度

今年度は開館30周年を迎え、30周年を冠した企画展を行った。夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～」では立川談慶氏による寄席を行い、好評を博した。手づくりの甲冑を着て「はいチーズ!」や「義仲の花押をなぞってみよう」など体験イベントを行った。また、巴御前の顔出しパネルを作成し自撮りするコーナーを設定するなど趣向をこらした企画を行った。秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」では、「太刀と軍配」を用意し撮影できる場所を設定した。冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」では、書家による書の実演を行い、書道ファンを満足させた。

「歴史館パートナーの日」として、11月23日に「須坂市民の日」、1月18日に「KOAの日」を実施し多くの来館者があった。クラウドファンディングを実施し、「真田昌行書状」を購入した。

3月 所蔵品展「至宝の名品 学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編～長野県民がみた幕末から現代～」

7月 夏季企画展「疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～」

10月 秋季企画展「描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～」

2025年1月 冬季企画展「佐久間象山遺墨展～書は人なり～」

3月 所蔵品展「令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～」

2025(令和7)年度

今年度は祈りをテーマにした企画展を行った。夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」では安曇野地区の仏像を数多く展示し好評を博した。国重要文化財や県・市指定の仏像を露出展示するため耐震対策に細心の注意を払い万全を期した。秋季企画展「疫病退散! 除災祈願の考古学ー木製祭祀具にみる古代の祈りー」では、関連イベントとして古代のボードゲーム「かりうち」を用いた大会や、「人形や馬形の祭祀具」をつくるワークショップコーナーを設けたほか、関連キャラクターのシールを配布するなど新機軸を打ち出した。冬季企画展「霊場小菅ー飯山の遺産と文化ー」では、2回の講演に地元飯山市民をはじめ数多く参加し、熱を帯びた講演会となった。

「歴史館パートナーの日」として、11月8日に「須坂市民の日」、1月17日に「KOAの日」を実施し多くの来館者があった。

3月 所蔵品展「所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～」

7月 夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」

10月 秋季企画展「疫病退散! 除災祈願の考古学ー木製祭祀具にみる古代の祈りー」

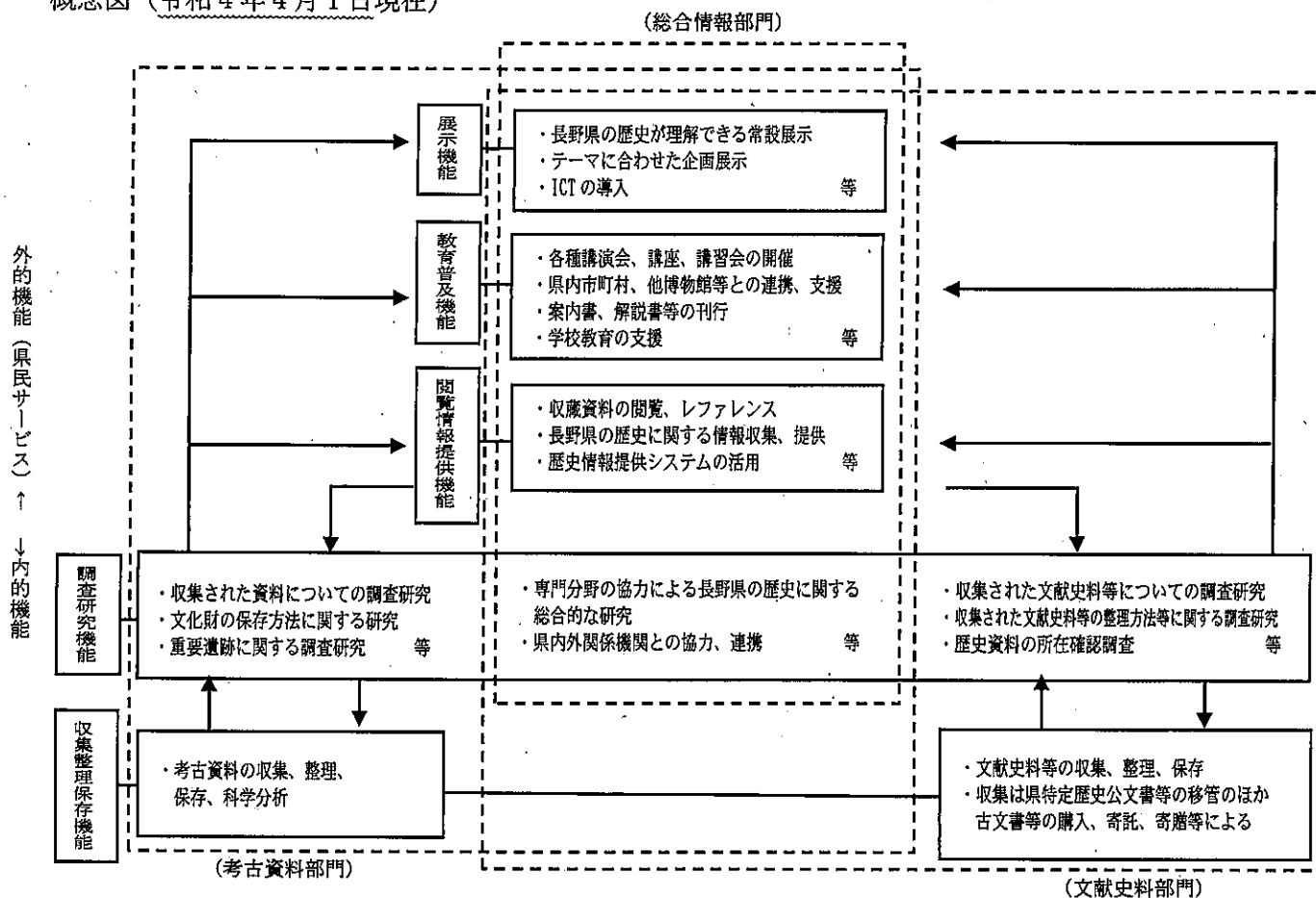
2026年1月 冬季企画展「霊場小菅ー飯山の遺産と文化ー」

3月 所蔵品展「令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発」

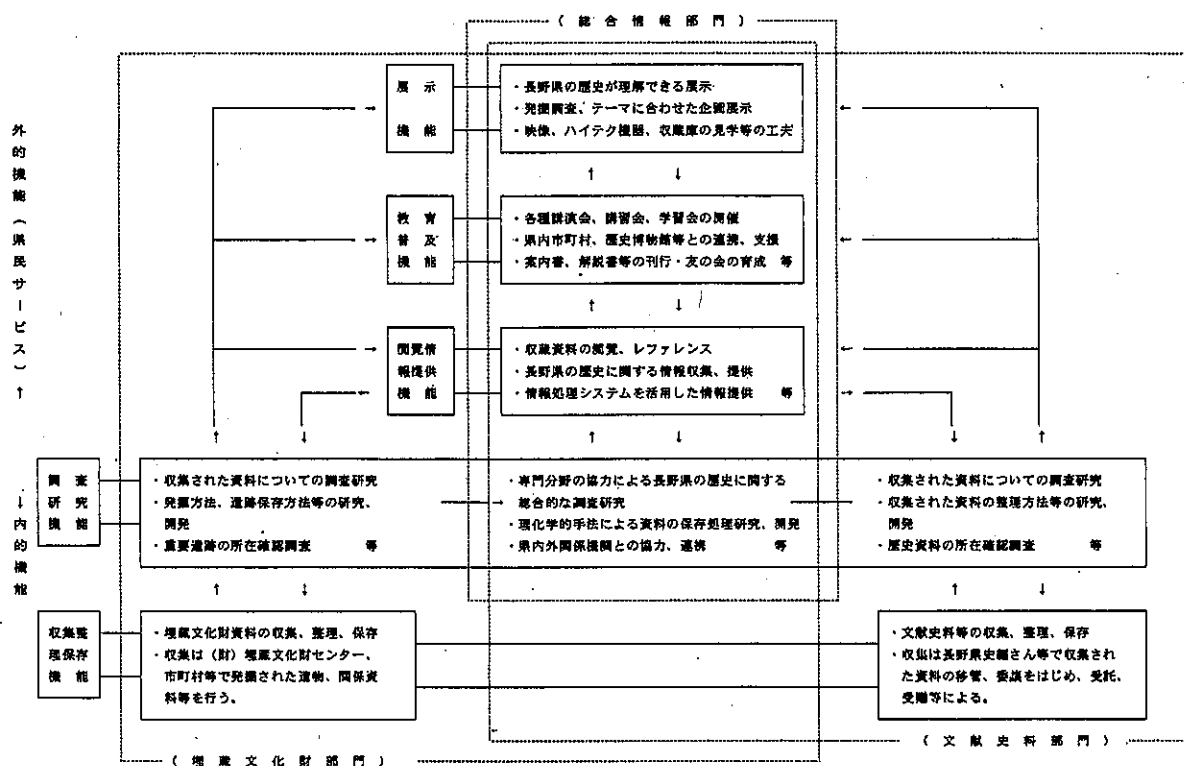
II 機能・組織・運営

1 機能

概念図（令和4年4月1日現在）



<参考> 県立歴史館機能構成図（平成元年7月「文化財に関する施設建設基本構想懇談会報告書」による）



建設基本構想骨子（平成2年11月建設委員会決定）

1 施設の性格

- (1) 発掘調査により出土した埋蔵文化財資料及び歴史的に貴重な行政文書、古文書等の史資料について、収集、整理、保存、調査研究、閲覧、情報提供、教育普及及び展示を行う歴史博物館的施設とする。
- (2) 文化財への親しみと理解が深められるよう、県民の学習ニーズに対応し、歴史学習活動を支援する。

2 設置場所

更埴市大字屋代字清水（森將軍塚古墳付近）

3 館の機能

主要な機能は、「展示」、「教育普及」、「閲覧、情報提供」、「調査研究」及び「収集、整理、保存」で構成する。

(1) 展示

- ア 埋蔵文化財、文献史料等による長野県の歴史が理解できる常設展示を行う。
- イ 発掘調査、テーマ等に合わせた企画展示、特別展示、巡回展示を行う。
- ウ 映像、ハイテク機器等を活用した楽しく興味を持てる展示を行い、館内の整理作業工程、収蔵庫等の見学コースを設定する。

(2) 教育普及

- ア 各種講演会、講習会、学習会を開催する。
- イ 県内の市町村、歴史博物館、歴史民俗資料館等と連携し活動を支援する。

(3) 閲覧、情報提供

- ア 収蔵資料を閲覧に供する。
- イ 長野県に関する情報を収集し、情報処理システムを活用した提供を行う。

(4) 調査研究

- ア 収集された資料について、調査研究を行い、その成果を展示、教育普及、閲覧及び情報提供に反映させる。
- イ 専門分野の協力による長野県の歴史に関する調査研究を行う。
- ウ 発掘調査、保存処理、整理方法等に関する研究、開発を行う。
- エ 重要遺跡、歴史資料の所在調査を行う。

(5) 収集、整理、保存

- ア 長野県に対する埋蔵文化財資料及び行政文書、古文書等の文献史資料を収集し、整理分類して収蔵する。
- イ 資料の収集は、県内外で発掘された遺物、関係資料や県史編さん等で収集された資料の移管、委譲をはじめ、

受託、受贈、購入、複製収集等による。

4 館の組織

主要な組織は、「総合情報部門」、「埋蔵文化財部門」、「文献史料部門」及び「管理部門」で構成する。

(1) 総合情報部門

- ア 展示の企画、開催、教育普及活動等
- イ 長野県の歴史に関する調査研究及び情報の収集、整理、提供

(2) 埋蔵文化財部門

- ア 埋蔵文化財資料の収集、整理、保存
- イ 遺跡、遺物の保存、活用等のための調査研究

(3) 文献史料部門

- ア 行政文書、古文書などの収集、整理、保存
- イ 古文書等の所在確認、収集資料の保存、活用等のための調査研究

(4) 管理部門

- ア 庶務、会計
- イ 施設、設備の管理

5 敷地の概要

取得面積 約 19,500 m²

（用途別内訳）

建物面積 6,500 m²程度

駐車場 4,500 m²程度

外構面積 6,500 m²程度

屋外展示 2,000 m²程度

6 施設の概要

建築面積 6,500 m²程度

延べ床面積 10,000 m²程度

（部門別内訳）

総合情報部門 3,100 m²程度

埋蔵文化財部門 2,750 m²程度

文献史料部門 1,850 m²程度

管理部門 2,300 m²程度

7 建設計画

平成4年 着工

平成5年 完成

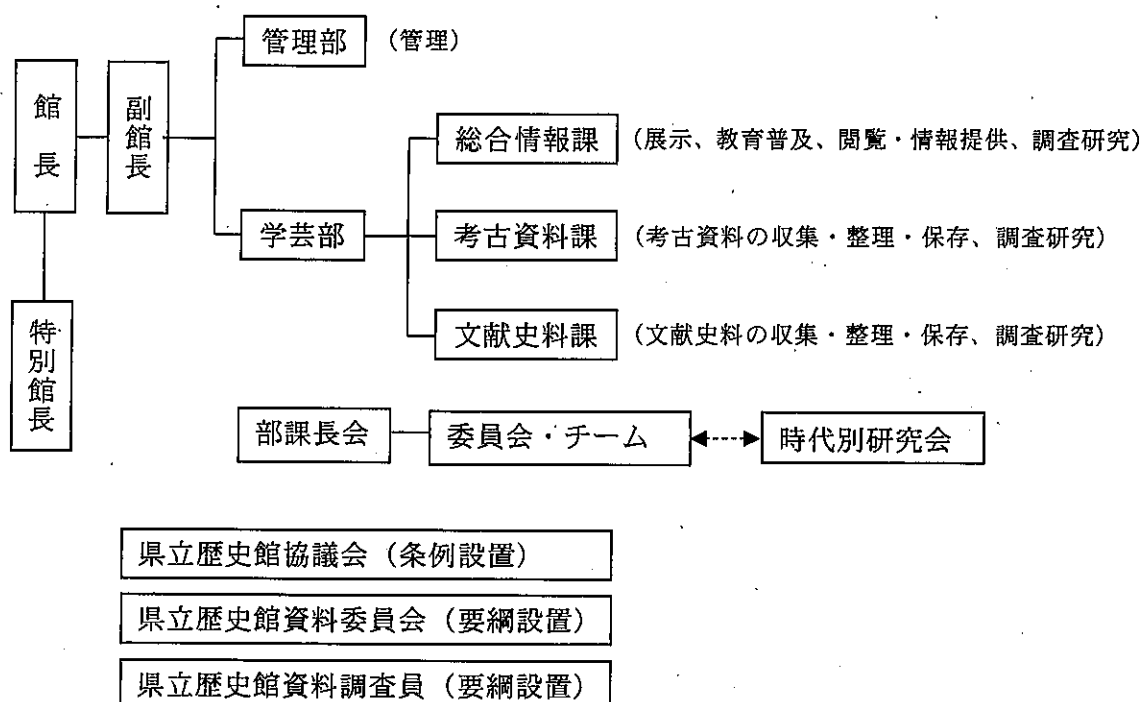
平成6年（春）開館

8 施設建設に伴う留意点

更埴市における歴史公園構想の中核的施設となるため、土地利用・施設外観・展示・植栽計画において整合を図る。

2 組織と分掌

○組織図(令和7年度)



○事務分掌

部 課		分 掌 事 務
学 芸 部	管 理 部	(1) 庶務及び会計に関すること。 (2) 組織及び人事に関すること。 (3) 施設、設備の維持管理に関すること。
	総 合 情 報 課	(1) 歴史的資料（考古資料及び文献史料を除く。）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 歴史に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 図書資料の受入れ、整理及び閲覧に関すること。 (4) 各種刊行物の編集及び出版に関すること。
	考 古 資 料 課	(1) 考古資料の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 考古資料の保存処理及び科学分析に関すること。 (3) 考古資料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (4) 考古資料に関する目録、報告書等の管理に関すること。
	文 献 史 料 課	(1) 文献史料（古文書、行政文書等）の収集、整理、保存及び調査研究並びに展示及び閲覧に関すること。 (2) 文献史料に関する教育普及（講演・講座、研修等）及び情報提供に関すること。 (3) 文献史料に関する目録、報告書等の管理に関すること。

3 運 営

1 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料（古文書、行政文書）、その他の歴史資料を収集、整理、保存及び調査研究し、展示及び閲覧等により県民に公開、情報提供するとともに、県民の文化財に対する理解の促進や歴史学習を支援する役割を担うことにより、県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

2 事業計画の概要

(1) 重点事業

- ア 博物館DXの基礎となる収蔵資料のデジタルアーカイブ化及び活用の推進
- イ 展示の見直し、施設・設備の更新・機能向上や環境整備など、館のリニューアルのあり方の検討及び可能な事項の改善
- ウ 公文書に関する事務の効率的かつ着実な実施
- エ 考古資料保存処理の計画的な推進
- オ 他の博物館や県内市町村等との連携推進

(2) 歴史資料の収集・整理・保存

- ア 信州にゆかりのある歴史資料の収集、整理及び保存
- イ 考古資料の整理・保存処理及び科学分析
- ウ 長野県の行政文書（特定歴史公文書を含む）の整理及び保存

(3) 調査研究

- ア 今後の展示計画も想定した長野県の歴史に関する調査研究
- イ 他団体等との共同研究 ・長野県行政文書研究会 ・長野県青年運動史研究会

(4) 展示・閲覧・情報提供

- ア 展示の充実
 - (7) 常設展示（計画的な展示替え）
 - (i) 企画展示
 - a 所蔵品展 原始「開館 30 年のあゆみ展」(3/15～6/15)
 - b 夏季企画展「安曇野～知られざる里山の祈り～」(7/5～8/24)
 - c 秋季企画展「疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具に見る古代の祈り～」(10/4～11/16)
 - d 冬季企画展「霊場小菅～飯山の遺産と文化～」(1/10～3/1)
- イ 博物館DXの推進（収蔵資料のデータベース化、展示解説アプリの開発）
- ウ 歴史資料の貸出し
- エ 他団体との連携
 - (7) 県内外博物館、県内市町村等との連携協定に基づく事業の推進
 - (i) 信州大学との連携による研究・展示等の充実
 - (ii) 他団体との連携による講座（信濃史学会 信州近世史セミナー 等）の開催
 - (i) 「歴史館パートナーの日」等の開催
- オ 収蔵資料に関するレファレンス
- カ 体験学習及びイベントの開催（歴史館でこどもの日、歴史館で夏休み、開館記念日 等）
- キ 調査研究成果や展示に関する刊行物の発行・発信（展示図録、研究紀要、ブックレット等）
- ク 県立歴史館たより、県立歴史館ホームページ、SNS等を活用した情報提供
- ケ マスコミを通じた歴史情報の発信（信毎コラム「しなの歴史再見」等）

(5) 教育普及（学校教育・生涯学習支援等）

- ア 学校見学の効果的・効率的な実施
- イ おでかけ歴史館（子ども向け、特に南信・木曽地域をはじめとする学校・公民館等の訪問）
- ウ 各種講演・講座の充実
 - 県立歴史館講座（7回）、出前講座（3回）、考古学体験講座（3回）、ティーンズ考古学講座（2回）、古文書探訪会（1回）、古文書講座（25回）、ティーンズ古文書講座（2回）、古文書フォローアップ講座（1回）、古文書入門教室（1回）
 - 県立歴史館出前講座（一般向け・アウトリーチ型）
- エ 地域展示（市町村の博物館・公民館等公共施設）の支援
- オ 技術講習会の実施（考古資料保存技術講習会、文献史料保存活用講習会 等）
- カ 職場体験学習・インターンシップ、博物館実習、教職員研修等

(6) ボランティアの活用・育成

各種事業活動（展示解説、資料整理・保存、図書整理、体験イベント等）の支援

(3) 職員名簿（令和8年3月31日現在）

館長 小松 健一				—— 特別館長 笹本 正治					
副館長 新津 尚治									
管理部長 小松 健一（兼）				学芸部長 新津 尚治（兼）					
管理部				総合情報課		考古資料課		文献史料課	
課長補佐 井上 智		主 任 柳町 紫織		課 長 水澤 教子		課 長 櫻井 秀雄		課 長 村石 正行	
主 事 東福寺 一司		職 員 竹内 順子		主査・学芸員 林 誠		文化財専門員 杉木 有紗		文化財指導主事 花岡 康隆	
職 員 池田 かおり		職 員 宮崎 智子		主 事 竹節 結		文化財専門員 白沢 勝彦		文化財指導主事 新井 寛子	
職 員 中山 真結		職 員 小布施 綾子		文化財専門員 飯島 公子		文化財専門員 大竹 憲昭		文化財指導主事 黒岩 隆	
				文化財指導主事 黒川 稔		研 究 員 水科 汐華		職 員 宮坂 由紀夫	
				文化財指導主事 小林 寿英		職 員 清水 秋子		職 員 土屋 英夫	
				文化財指導主事 中山 敦		職 員 島田 久美		職 員 小山 麻里	
				文化財指導主事 初見 俊輔		職 員 柄澤登紀子		職 員 児玉 武志	
				文化財指導主事 鈴木 幸香		職 員 小松 亜紀		職 員 西澤 美代子	
				文化財指導主事 町田 勝則		職 員 中山 直子		職 員 浅野 浩子	
				職 員 六川 成美		職 員 宮崎 静雄		職 員 山崎 雄治	
				職 員 久保田千絵		職 員 伊堀 由香		職 員 板倉 まゆみ	
								職 員 酒井 亮	

(注)「特別館長」及び「職員」は、「会計年度任用職員」

(4) 長野県立歴史館協議会委員

氏 名	役 職
植田 平	公募
浮貝 貴子	公募
久留島 浩	国立歴史民俗博物館名誉教授
酒井 賢一	千曲市森將軍塚古墳館館長
中澤 聖子	特定非営利活動法人エリアネット理事長
野口 舞子	信州大学教育学部助教
福島 正樹	信濃史学会 会長
矢島 宏雄	長野県考古学会会長
山本 直佳	千曲市立治田小学校校長
若林 直美	千曲市教育委員

(5) 長野県立歴史館資料調査員

氏 名	担 当 範 囲
小須田基弘	佐久市・南佐久郡
牧野 和人	小諸市・北佐久郡
倉澤 正幸	上田市・東御市・小県郡
三上 徹也	岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡
唐木 孝雄	伊那市・駒ヶ根市・上伊那郡
前澤 健	飯田市・下伊那郡
松尾 輝明	木曽郡
遠藤 正教	松本市・塩尻市・東筑摩郡
逸見 大悟	安曇野市・東筑摩郡
荒井今朝一	大町市・北安曇郡
中島 丈晴	千曲市・埴科郡
天野 義孝	須坂市・上高井郡
館林 弘毅	中野市・下高井郡
田玉 徳明	長野市・上水内郡
中村 敦子	長野市・上水内郡
丑山 直美	飯山市・下水内郡

(6) 長野県立歴史館資料選定会議構成員

氏 名	役 職	分 野
浅倉 有子	上越教育大学特任教授	中世・(近世)
石川日出志	明治大学教授	考古
井上 聡	東京大学史料編纂所准教授	中世
織田 顕行	飯田市美術博物館学芸員	美術工芸
原田 和彦	長野市立博物館専門員	古代・中世
樋口 明里	長野市立博物館主査学芸員	民俗

4 関係法規

長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号）

（趣旨）

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）並びに地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、歴史館の設置及びその管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第2条 考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与するため、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）を千曲市に設置する。

（職員）

第3条 歴史館に、博物館法第4条第1項及び第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第4条 歴史館に、博物館法第23条の規定による歴史館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから知事が任命する。

3 協議会の委員の定数は10名以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（使用の許可）

第5条 歴史館を使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

（使用料の納付）

第6条 歴史館の展示資料を観覧する者は、使用料を納付しなければならない。

（使用料の額）

第7条 前条の使用料の額は、観覧1回につき1,000円の範囲内でその都度知事が定める額とする。

（使用料の減免）

第8条 知事は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(1) 児童、生徒及びこれらの引率者が、学校の教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第9条 この条例に定めるもののほか、歴史館の管理及びこの条例の施行に関し必要な事項は、長野県教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

附 則（平成15年7月24日条例第47号）

この条例は、平成15年9月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第37号）

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月22日条例第40号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

令和5年12月25日条例第26号

附 則（令和5年3月20日条例第3号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和5年12月25日条例第26号）

この条例は、平成6年11月3日から施行する。

長野県立歴史館管理規則（平成6年教育委員会規則第5号）

（趣旨）

第1条 この規則は、長野県立歴史館条例（平成6年長野県条例第24号。以下「条例」という。）第9条の規定により、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（休館日）

第2条 歴史館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、知事は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、火曜日）

(2) 休日の翌日

(3) 12月28日から翌年1月3日まで

（開館時間）

第3条 歴史館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、知事は、必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（歴史館協議会）

第4条 条例第4条の規定による歴史館協議会は、歴史館の長が招集する。

2 歴史館協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年1回、臨時会は必要に応じて招集する。

3 歴史館協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

（使用の許可等）

第5条 条例第5条の規定により許可を受けようとする者は、歴史館に保存されている資料を観覧する場合にあつては長野県立歴史館閲覧申込書（様式第1号）を知事に提出し、展示資料を観覧する場合にあつてはその旨を知事に申し出なければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による許可をしたときは、閲覧許可書又は観覧券（様式第2号）を交付するものとする。

（閲覧の制限）

第6条 教育委員会は、歴史館に保存されている資料のうち、次に掲げるものの閲覧を制限することができる。

(1) 法令の定めるところにより公開ができないもの

(2) 個人に関する資料で、他人に知れたくないと認められるもの

(3) 法人その他の団体に関する資料で、閲覧に供することにより当該法人その他の団体に不利益を与えるおそれがあると認められるもの

(4) 資料の傷み等のため保存上支障のあるもの

(5) 資料の整理が完了していないもの

(6) 寄贈者又は寄託者と利用の制限について特約があるもの

(7) 前各号に定めるもののほか、公益上の理由等により閲覧に供することが不適当と認められるもの

(遵守事項)

第7条 歴史館の利用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失しないこと。
- (2) 歴史館内において他人の迷惑になるような行動をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。
- (4) 歴史館内に爆発物、可燃物、銃砲刀剣類等の危険物を持ち込まないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、歴史館の秩序の維持について知事が定める事項。

(入館の制限等)

第8条 知事は、めいていしている者その他歴史館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができる。

(使用許可の取消し等)

第9条 知事は、歴史館の利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可の取消し、使用の停止又は使用条件の変更をすることができる。

- (1) 第7条の規定に違反したとき。
- (2) 使用の許可に付した条件に違反したとき。

(損害の賠償)

第10条 歴史館の利用者は、歴史館の施設、資料等を損傷し、汚損し、又は紛失したときは、遅滞なく知事に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(補則)

第11条 この規則に定めるもののほか、歴史館の管理等について必要な事項は、知事が定める。

附 則

この規則は、平成6年11月3日から施行する。

附 則(平成17年3月28日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日教育委員会規則第5号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(令和6年4月1日交付長野県規則第34号)

この規則は、公布の日から施行する。

長野県組織規則

令和6年3月29日規則第25号

【必要部分のみ抜粋】

(文化振興課)

第14条の3 文化振興課は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 芸術文化に関すること。
- (2) 文化財に関すること。
- (3) 博物館に関すること。
- (4) 銃砲刀剣類の登録及び刀剣類の製作の承認に関すること。
- (5) ユネスコ活動に関すること。
- (6) 文化会館、県立美術館及び県立歴史館に関すること
- (7) 美術館協議会、文化財保護審議会及び銃砲刀剣類登録審査委

員の庶務に関すること。

第56条 法律、政令又は条例の規定に基づき、次の各号に掲げる現地機関を置く。

(33) 長野県立歴史館条例(平成6年長野県条例第24号)による長野県立歴史館

第37目の3 歴史館

追加〔令和6年規則56号〕

(業務)

第146条の9 長野県立歴史館は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、考古資料、歴史的価値を有する文書、その他歴史資料等(第146条の11第3項において「歴史的資料」と総称する。)を収集し、保存して、広く県民の利用に供し、その教養及び文化の振興に寄与することを業務とするところである。

(位置)

第146条の10 長野県立歴史館の位置は、長野県立歴史館条例に規定するところにより、千曲市である。

(内部組織)

第146条の11 長野県立歴史館に、その事務を分掌させるため、管理部及び学芸部を置く。

2 管理部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 庶務及び会計に関すること。
 - (2) 長野県立歴史館協議会の庶務に関すること。
 - (3) その他学芸部の所管に属さないこと。
- 3 学芸部は、次の各号に掲げる事務をつかさどる。
- (1) 歴史的資料の展示及び閲覧に関すること。
 - (2) 歴史に関する各種刊行物の編集に関すること。
 - (3) 考古資料の収集、整理及び保存に関すること。
 - (4) 埋蔵文化財の保存処理及び保存科学に関すること。
 - (5) 埋蔵文化財に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。

- (6) 文献史料(歴史的価値を有する文書その他の記録をいう。以下この項において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (7) 文献史料に関する調査研究及び研修等の実施に関すること。
- (8) 歴史的資料(考古資料及び文献史料を除く。次号において同じ。)の収集、整理及び保存に関すること。
- (9) 歴史的資料に関する調査研究に関すること。
- (10) その他歴史に関する教育の普及、情報の収集及び利用者への提供並びに相談に関すること。

4 学芸部に、その事務を分掌させるため、課を置き、その名称及び分掌事務は、次の表のとおりとする。

名称	分掌事務
総合情報課	前項第1号、第2号及び第8号から第10号までの事項
考古資料課	前項第3号から第5号までの事項
文献史料課	前項第6号及び第7号の事項

長野県立歴史館協議会運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、長野県立歴史館条例（平成6年条例第24号）第4条及び長野県立歴史館管理規則（令和6年長野県規則規則第34号）第4条で規定するもののほか、長野県立歴史館協議会（以下「協議会」という。）の運営に必要な事項を定めるものとする。

（会長及び副会長）

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

（会議）

第3条 協議会の会議は、会長がその議長となる。

2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（庶務）

第4条 協議会の庶務は、長野県立歴史館において処理する。

（委任）

第5条 この細則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この細則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和6年4月1日から施行する。

長野県立歴史館資料選定会議設置要綱

（設置）

第1条 長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）が収集する歴史資料（購入資料または寄贈・寄託を受けた資料をいう。以下同じ。）及び館蔵資料の活用等について意見を聴取するため、歴史館資料選定会議を設置する。

（協議事項）

第2条 会議は、収集する歴史資料の選定、評価及び館蔵資料の活用方策等に関する事項について協議する。

（構成）

第3条 会議の構成員数は、7名以内とする。

2 構成員は、学識経験者のうちから、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

3 構成員の任期は2年とし、再任を妨げない。補欠のため就任した構成員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 館長は、収集しようとする歴史資料について、構成員以外の学識経験者から意見を聴取する必要があると判断した場合は、学識経験者のうちから、臨時的に構成員を委嘱することができる。ただし、委嘱期間は、委嘱した日から当該歴史資料について協議する会議開催日までとする。

（会長及び副会長）

第4条 会議に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、構成員の互選とする。

3 会長は会務を総理し、会議を代表する。

（会議）

第5条 会議は、館長が招集する。

2 会議の議長は、会長が務める。会長に事故があるときは副会長が代行する。

3 館長は、緊急を要する事項について、書面等での回答をもって会議に代えることができる。

（庶務）

第6条 会議の庶務は、歴史館において処理する。

附 則

この要綱は、平成7年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年1月1日から施行する。

長野県立歴史館資料調査員設置要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、長野県立歴史館（以下「歴史館」という。）の資料収集に当たり、県内における資料の所在、分布等の調査を行うため、資料調査員（以下「調査員」という。）の設置について必要な事項を定めるものとする。

（委嘱）

第2条 調査員は、歴史館長（以下「館長」という。）が委嘱する。

2 調査員には、調査員証（様式第1号）を交付する。

3 調査員証は第6条に規定する調査以外に用いてはならない。

（任期）

第3条 調査員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠者の任期は前任者の残任期間とする。

（員数及び調査区域）

第4条 調査員は、16名以内とし、調査区域とその員数は別表のとおりとする。

（調査対象）

第5条 調査対象は、原始から現代に至る歴史的価値ある史料とする。

（調査方法及び報告）

第6条 調査員は、必要に応じて資料所蔵者を訪問して、資料の有無、保存状況、所蔵者の変更その他館長が指示した事項について調査を行い、その調査結果を館長に報告するものとする。

（守秘義務等）

第7条 調査員は、調査に際しては人権を尊重し、プライバシーの保護に配慮するものとし、職務上知り得た秘密を洩らしはならない。

（会議）

第8条 調査員の情報交換、調査事項の指示のため、館長は必要に応じて調査員会議を開催するものとする。

附 則

この要綱は、平成7年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年5月26日から施行する。

Ⅲ 施設

敷地面積 19,396 m²
 建築面積 6,702 m² (延床面積 10,457 m²)
 鉄筋コンクリート造、地上2階

管理部門

事務室、会議室、エントランスホール 等

総合情報部門

常設展示室 (1,278 m²)、企画展示室 (292 m²)、講堂 (238 席)、第一研修室 (実習室) (186 m²)、第二研修室 (148 m²)、閲覧室 (159 m²)、展示準備室、図書室、情報処理室、展示スペース (小展示室) 等

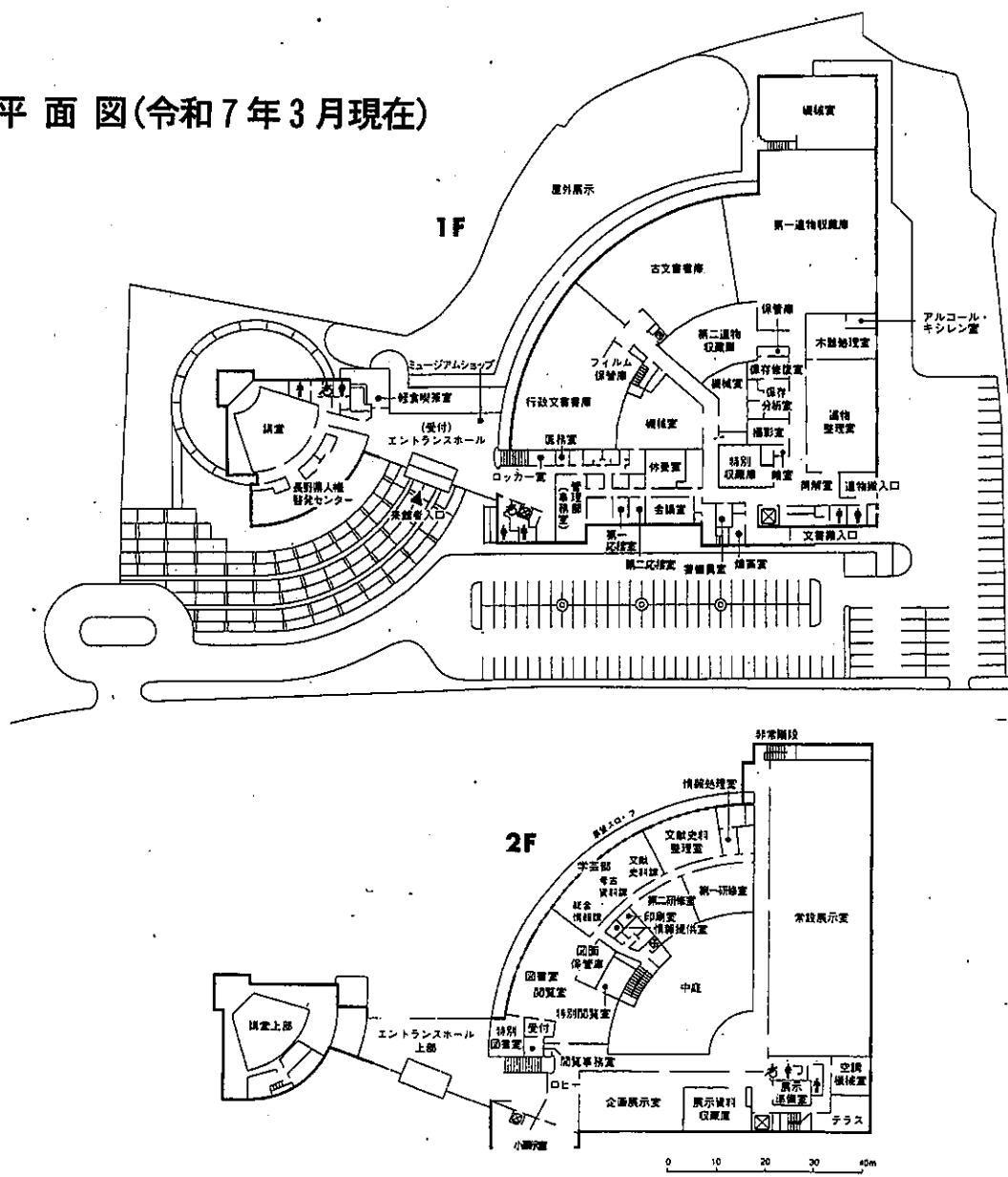
考古資料部門

遺物整理室 (348 m²)、第一遺物収蔵庫 (982 m²)、第二遺物収蔵庫 (215 m²)、木器処理室、保存分析室、保存修復室 等

文献史料部門

文献史料整理室 (145 m²)、行政文書書庫 (592 m²)、古文書書庫 (583 m²)、薫蒸室、フィルム保管庫 等

1 平面図(令和7年3月現在)



2 諸 室

部門	室 名	面積 (㎡)	用 途	備 考
学 芸 部 門	常設展示室	1,278	長野県の歴史についての展示	2 階
	企画展示室	292	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	展示資料収蔵庫	131	考古・文献史料以外の展示資料及び企画展示用資料の収蔵	
	展示準備室	42	展示用機材・備品の保管、展示準備作業スペース	
	閲覧室	159	行政文書・図書等の収蔵資料の閲覧	
	特別閲覧室	42	古文書、絵図等特殊資料の閲覧	
	閲覧事務室	16	閲覧に関する事務、各種問合せ・相談の対応	
	図書室	232	図書資料等保管	
	特別図書室	53	特別図書・貴重図書の保管	
	情報処理室	33	歴史情報の処理、提供	
	小展示室	73	企画展、特別展、巡回展、速報展など短期間の展示	
	第一研修室	186	少人数の各種研修、講習	
	第二研修室	148	少人数の各種研修、講習	
	図面保管室	41	発掘調査関係図面保管	
	文献史料整理室	145	文献史料の分類整理、台帳・目録作成	
	学芸部室	148	学芸部職員の執務	
	講堂	225	多人数の各種講演、講座、映写による歴史学習	1 階
	撮影・現像室	55	資史料撮影、現像	
	遺物整理室	348	遺物の水洗い・注記・接合・復元	
	保存分析室	45	出土遺物類の各種保存処理・分析	
	木器処理室	97	出土木器の保存処理	
	休養室	37	整理作業員等の休憩、昼食	
	保存修復室	39	遺物の修復	
	X線分析室	13	遺物の分析	
	蛍光X線分析室	12	遺物の分析	
	アルコールキシレン室	19	遺物の保存処理	
	第一遺物収蔵庫	982	出土土器・石器類の収蔵	
	第二遺物収蔵庫	215	出土木器の収蔵	
	特別収蔵庫	71	重要な史資料の収蔵	
	行政文書書庫	592	行政文書・行政資料の保管	
	古文書書庫	583	寄贈、寄託等の古文書の保管	
	フィルム保管庫	42	マイクロフィルム、映画フィルム等の保管	
	燻蒸室	19	搬入資料の燻蒸	
	小 計	6,413		
管 理 部 門	事務室	130	管理部門職員の執務	1 階
	会議室	59	諸会議用	
	エントランスホール	431	受付、ミュージアムショップ等	
	その他諸室等	3,236	第一応接室、第二応接室、医務室、機械室、軽食喫茶室、廊下 等	
	小 計	3,856		
	長野県人権啓発センター	188		1 階
	合 計	10,457		

— 事 業 —

I 令和7年度の主な事業実績

事業名		実施時期	利用者数	備考
自主事業	常設展	年間(292日)	28,662	
	所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～	4月1日～6月15日	9,035	10146人(3月～6月) 1054人(3月)
	夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」	7月5日～8月24日	5,609	
	秋季企画展「疫病退散! 除災祈願の考古学ー木製祭祀具にみる古代の祈りー」	10月4日～11月16日	4,961	
	冬季企画展「霊場小菅ー飯山の遺産と文化ー」	1月10日～3月1日	2,886	
	所蔵品展「長野県民の戦後再出発」	3月14日～(3月31日)	715	
	企画展関連講演会等 7回実施	7月～2月	1,020	
	県立歴史館講座 7回実施	5月～3月	682	
	県立歴史館出前講座in箕輪・大桑・阿南	6月～11月	50	
	考古学体験講座 3回 ティーンズ考古学講座	8～12月	41	
	考古資料保存技術講習会2回	1・3月	23	
	古文書講座 34回実施	5月～3月	1,086	ティーンズ、フォローアップ、古文書入門、古文書出版会
	出前講座 29回実施	4月～3月	1,142	
	お出かけ歴史館 4回実施(小中学校・公民館等)	9～2月	186	
	各種講習会・イベント 9回実施	5月～3月	1,354	こどもの日、埋文チャレンジ、夏休み、企業連携、クリスマス映画会
	その他 史資料等の閲覧	4月～3月	2,557	
共催事業等	講演会・講座 考古学セミナー	6・11月	142	長野県考古学会
	近世史セミナー	12月	31	信濃史学会
	長野県史料保存活用連絡協議会講習会 4回実施	5・10・11・1月	110	県史料協
	古文書愛好会 読む会 8回実施 演習 23回実施 総会講演会 探訪会	6～2月	697	古文書愛好会
	信州大学学芸員資格取得講座(博物館展示論・メディア論)	9月・2月	91	信州大学
	博物館関係職員等研修会	2月	115	県博協
	長野県総合教育センター研修	7月	24	県総合教育センター
	地域展他連携展示(中央4県)	2～3月	593	キッセイ文化ホールにて実施
計			61,812	

Ⅱ 展 示

1 常設展示

共通テーマ

「信濃の風土と人びとのくらし」

(1) 常設展示のねらい

長野県は中央高地に位置し、古くから東日本と西日本、太平洋側と日本海側を結ぶ結節点として、さまざまな文化の交流の場となり、独自の風土と文化をはぐくんできた。そうした風土と文化がつくられてきた歴史的背景と変遷を明らかにし、その成果を考古資料と文献史料などを活用した展示を通じて、信濃の歴史に触れ、歴史学習を深められる場を提供する。

① 常設展示を構成する柱

・課題とテーマをもった展示

東アジアや日本列島の歴史のなかにおける信濃の位置と歴史的変遷の大筋を明らかにするとともに、人びとの生活と風土の諸相を具体的に示す。

・時代性を浮きぼりにする展示

時代ごとの人びとの生活を追体験できるような、臨場感あふれるものとする。

・学問のジャンルをこえた学際的展示

信濃の地方史の特徴といわれる学際的、

総合的な歴史研究の成果を生かして、わかりやすく楽しく学び、考えることのできる展示とする。

② 常設展示の方法

常設展示は、歴史館に収蔵される考古資料や文献史料を活用しながら、ローテーション展示など多様な手段を用いた展示とする。

③ 常設展示の内容

・過去を追体験できるメイン展示

原始、古代・中世、近世、近現代の各時代に当時の様子を再現した実物大の環境復原模型を置き、その時代を追体験できるようにする。

・テーマに沿って学習できる周辺展示

各時代の特徴ある史資料を、中テーマと小テーマ、二つのテーマを設けて展示し、より深い学習ができるようにする。

・マルチメディアによる詳しい解説

展示の理解を助けるために、映像と音声と文字情報で詳しい解説をする。

・各時代の植生を再現し、復原された遺構を展示する屋外展示

「縄文の森」「万葉の野」「中世の林」を配置する。

(2) 構成

木曽ヒノキが語る信濃の歴史

中テーマ	展示期間	主な展示資料
赤沢自然休養林と年輪 (実物大環境復原)	令和7年4月～令和8年3月	ヒノキ立林、植生
	令和7年4月～令和8年3月	木曽ヒノキ年輪、信濃の歴史年表

【原始】 信濃の風土がはぐくんだ原始の生活

中テーマ ナウマンゾウと黒曜石

大陸と陸続きだった氷河時代に日本列島にやって来たナウマンゾウは、その後渡ってきた先土器時代(旧石器時代)の人びとと遭遇した。信濃最初の人びとは、現在の北海道なみの寒さのなかで、黒曜石などでつくった道具を使って狩猟生活をおこなっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
最古の狩人	令和7年4月～令和8年3月	ナウマンゾウ模型(実物大環境復原)、ナウマンゾウ第1臼歯模型他
最初に住んだ人びと	令和7年4月～令和8年3月	竹佐中原遺跡(複製)・日向林B遺跡・大久保南遺跡石器 他
発達した狩りの道具	令和7年4月～令和8年3月	神子柴遺跡(複製)、矢出川遺跡石器 他

中テーマ 中央高地の縄文文化

1万6,000年前、食料の採集・狩猟を基礎に、土器を使う縄文文化がはじまった。約5,500～4,500年前の縄文中期、信州は列島最大規模の人口密集地となった。展示前半は草創期から早期、後半は前期・中期、そして後期の順に生活道具の土器・石器や地域間交流を示す黒曜石やヒスイ大珠などを展示した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弓矢と土器の出現	令和7年4月～令和8年3月	星光山荘B遺跡・東裏遺跡他の草創期～早期の尖底土器・石器、栃原岩陰遺跡骨角製装身具(複製) 他
定住のはじまり	令和7年4月～令和8年3月	松原遺跡土器・石器・装身具 大町市藪沢Ⅱ遺跡装身具
華やかな土器文化と生業	令和7年4月～令和8年3月	郷土遺跡土器・石器、屋代遺跡群動物・魚骨、土器・石器、県宝「曾利遺跡水煙文土器」(複製)、「国宝土偶「縄文のビーナス」」(複製) 他
寒冷化する環境の中で	令和7年4月～令和8年3月	国宝土偶「仮面の女神」(複製)、北村遺跡土器・石器、大日ノ木遺跡石器他
縄文のムラ(環境復原)	令和7年4月～令和8年3月	竪穴住居、高床建物、縄文の秋の植栽・動物他

中テーマ 稲をつくった弥生人

3,000年前、大陸から新しい文化と縄文文化の伝統の上に、九州北部では水田稲作をする弥生文化が生まれた。500年後、長野県の地域にも、稲作のくらしがはじまった。令和元年度の「土偶展」から引き続き土偶形容器や人面付き土器などの展示を継続した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
弥生時代のムラ	令和7年4月～令和8年3月	松原遺跡土器、篠ノ井遺跡群土器・石器、森平遺跡石器、他
土偶の変容	令和7年4月～令和8年3月	力石条里遺跡土偶形容器・人形土器、松原遺跡人面付土器他

中テーマ 古墳に葬られた人びと

4世紀ごろ、農業が生み出した富を手にした有力者が、人びとの上に立った。その力は、古墳に示されている。5世紀の有力者は、武人として近畿地方の有力者に結びつき、朝鮮半島との交流もおこなった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
ムラの生活	令和7年4月～令和8年3月	篠ノ井遺跡群・榎田遺跡土器
馬と科野の武人	令和7年4月～令和8年3月	清水製鉄1号墳土器 米山一政寄贈資料他
朝鮮半島からの文化	令和7年4月～令和8年3月	大室古墳（複製）、天冠（複製）、帯金具（複製）他

古代 信濃国のなりたちと人びとのくらし

中テーマ 条里と水田

人々は自然を開発し、調和を保ちながら農業を営んできた。土地に刻まれている農業の歴史が、ほりだされた水田の跡から読み取れる。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
水田の跡を掘る	令和7年4月～令和8年3月	石川条里遺跡の土層
水田と農具の変化	令和7年4月～令和8年3月	石器（石斧、敲石）
条里水田	令和7年4月～令和8年3月	グラフィックパネル

中テーマ 都と信濃

7世紀ごろ法律をよりどころとする律令政治が始まった。全国は60以上の国ぐにからなり、国のもとに郡が置かれた。信濃国は10郡に分かれ、人びとはそれまでより都を意識したくらしをおくるようになった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
古代の文字と印の世界	令和7年4月～令和8年3月	藤原宮木簡、平城京木簡、長屋王家木簡、長岡京木簡、信濃国印、屋代遺跡群出土刻書土器「上」等、清水山窯跡出土刻書土器「佐久郡」

古代の布	令和7年4月～令和8年3月	正倉院白布、布袴、製作過程
古代の役所	令和7年4月～令和8年3月 ※木簡は通年	屋代遺跡群出土木簡・木製祭祀具（複製）、屋代遺跡群⑥区発掘調査模型

中テーマ 平安時代の村の暮らし

多くの農民が貧しくくらす一方で、豊かな農民があらわれた。彼らは、11～12世紀、武力をたくわえて領主へと成長する。古文書などではわからない彼らのくらしの実態を、発掘調査が明らかにしている。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
富裕農民の世界	令和7年4月～令和8年3月	須恵器大甕、銅印（複製）、円面硯、帯金具、墨書土器
	令和7年4月～令和8年3月	吉田川西遺跡出土緑釉碗・緑釉皿・土師器皿（重要文化財）
	令和7年10月～令和8年3月 ※六角宝灯（複製）10月～	貞観寺田地目録（複製）、極楽寺鰐口・馨（複製）六角宝灯（複製）

中世 信濃武士と百姓の暮らし

中テーマ 武士の争乱と信濃

領主としての武士は、貴族などと結んで荘園や牧をひらき、騎馬戦を得意とする武装集団となった。しかし、信濃は大名が育たないまま、隣国大名の奪い合う場となっていた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
大塔合戦から川中島へ	令和7年4月～令和7年6月	市河文書（足利義満御教書）（斯波義種感状）、大塔物語、大文字の旗
木曾義仲と荘園	令和7年7月～令和7年10月	木曾義仲合戦図屏風（右・左隻約2か月）、源頼朝下文複製、市河文書（義仲下文）複製市
武将の顔と花押・印	令和7年11月～令和8年3月	武田晴信書状（室賀家文書）、武田家印判状（夜間瀬家文書）、武田信玄画像、④市河助房到着状（小笠原貞宗証判）複製、小笠原貞宗画像 複製

中テーマ 鎌倉時代の善光寺門前

鎌倉時代には、土地の開発がすすんだ。しかし、災害・飢え・伝染病が絶えなかった。善光寺門前の日常生活とはなやかな仏の世界。ここでは現世と来世、地獄と極楽が隣りあっていた。

テーマ	展示期間	主な展示資料
善光寺と中世の祈り	令和7年10月～令和8年3月	善光寺仏中尊像、密教法具、一遍聖絵（複製）、一遍上人絵伝（複製）
鎌倉時代の善光寺門前 （実物大環境復原）	令和7年10月～令和8年3月	棚店、在家、仏師屋、寺庵

中テーマ 交通と流通

信濃の武士や寺院・神社は、日本各地や中国・朝鮮と交流し、たくさんの品物や文化をとりいれた。寺社の門前や人の集まるところには市が立って、商業がさかんになり交通も発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
商人と市	令和7年10月～令和8年3月 下線部は～9月まで	宋銭・明銭、常滑焼、 <u>薄葉景光地頭職請文</u> 、 <u>市河盛房置文</u>
東アジアと信濃	令和7年10月～令和8年3月	青磁花瓶、青磁盤、宋銭・明銭、常滑焼、湖亭春望図（複製）

近世 江戸時代の町と村の暮らし

中テーマ 領主と町・村

江戸時代になると武士は城下町に住み、役人として俸禄を得る官僚的な制度が確立し、文書によって広い地域を統一的に支配した。村には検地を受けて百姓身分となった人びとが住んだ。村では、大庄屋や番所の番人などの役目を果たした村役人もいた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
武士の家宝	令和7年3月～8月	梨子地紋散卓、戸田家紋付大盃、螺鈿卓
善光寺参り	令和7年9月～令和8年2月	善光寺如来縁起、善光寺如来東漸録
正保信濃国絵図	令和7年3月～令和8年2月	正保の信濃国絵図（複製）

中テーマ 庶民生活の高まり

農家のくらしは、18世紀に大きく変わった。農業技術が進んで収穫が増し、商品作物の栽培や諸かせぎも発達して収入を得、麻から木綿へ、1日2食から3食へなど、衣食住が向上し、村の社会生活も変わりはじめた。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
くらしの高まり	令和7年3月～8月	パネル「木綿と染色」「機織り機の変遷」、大麻・カラムシ等の実物
江戸時代の農家	令和7年9月～令和8年2月	江戸前期中層農家（実物大環境復原）、農家で使った生活用品や作業用具

中テーマ 中馬と地場産業の発達

貨幣経済の発達により、信濃国を通る中山道や北国街道などの街道を、さまざまな人や物が流通した。信濃では馬の背に荷物を積んで直接相手先へとどける中馬といわれる輸送手段が発達した。この中馬の活動と結びあって、信濃各地の地場産業が発達した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
中馬と塩の道	令和7年4月～令和8年2月	ランドサット図
信州中馬	令和7年4月～令和8年2月	中馬装束模型、映像「信州中馬」

水と村	令和7年3月～8月	拾ヶ堰絵図、拾ヶ堰航空写真、世界かんがい遺産パネル
職人尽図	令和7年9月～令和8年2月	職人尽図、鞠

中テーマ 信州文化と民衆意識

江戸時代後半になると、庶民の手による庶民のための文化が各地で発達し、生活が豊かになっていった。本を購入し、本から学ぶことも増えた。酒屋が誕生し、宿場や村でも酒が消費された。松代藩士佐久間象山などが外国の進んだ技術を学んだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
文書の世界の広がり	令和7年3月～8月	黒船来航図、異国船渡来関係絵図
近世の興業	令和7年3月～8月	相撲番付、雷電手形、相撲絵、すごろく
和宮通行と庶民	令和7年9月～令和8年2月	和宮行列図、和宮様御下向之節御道堅絵図面
近世の学問	令和7年9月～令和8年2月	寺子屋教具、手本類、書見台、信州根津之三童席書之図
祭りの人形芝居	令和7年4月～令和8年2月	黒田人形、映像「黒田人形『鎌倉三代記』」

近現代 世界につながる県民の暮らし

中テーマ 蚕糸王国長野県

江戸時代末から明治初めにかけて外国との交流が始まると、長野県はいち早く器械製糸をとりいれた。繭・蚕種・生糸などの生産の近代化をはかった結果、日本一の「蚕糸王国」となった。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の誕生	令和7年4月～令和8年3月	五榜の掲示、筑摩県長野県設置布告、筑摩県絵図、筑摩県の印章、旧筑摩県下大区改正に付達指令（全）、旧筑摩県引継書（一、二）、筑摩県博覧会錦絵、信濃国神社宝物古器物古文書目録、西南戦争関係（「長野県西南出征戦死人等取調」など）
お蚕さま	令和7年4月～令和8年3月	蚕の発育順序模型、蚕種原紙、生糸製糸組合奉納絵馬、蚕玉様の押絵
世界につながる蚕糸業	令和7年4月～令和8年3月	「蚕と桑からの産物」の掛図、器械製糸生糸、シルクラベル
近代の製糸工場	令和7年4月～令和8年3月	富岡製糸場錦絵、埴科郡西条邑六工製糸場之図、工女募集告諭書、横浜開港之図、繰糸鍋

工女の生活	令和7年4月～令和8年3月	製糸工女の服装、教婦の服装、工女の食事
近代の製糸工場（実物大環境復原）	令和7年4月～令和8年3月	ボイラー、水車、繰糸器
長野県の近代化遺産	令和7年4月～令和8年3月	近代化遺産写真パネル

中テーマ 長野県の大正時代

「国会を開き人民の代表を送ろう、政党をつくろう」という自由民権運動を長野県は全国に先がけてくり広げた。大正に入ると、デモクラシーの時代風潮をうけて個人を尊重する教育や、人権を尊重する運動を展開した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
信州教育	令和7年4月～令和8年3月	黒板、児童用二人掛け机、算盤（五つ玉）、農民美術作品、織物標本
おもちゃ（トピックス）	令和7年4月～令和8年3月	出世双六、キューピー人形、たこ、戦争おもちゃ
戦前の観光信州	令和7年4月～令和8年3月	鳥瞰図『長野電鉄沿線温泉名所案内』 『諏訪大観』 ・観光パンフレット資料・中山晋平作曲集

中テーマ 昭和恐慌と満洲移民

蚕糸王国長野県は昭和初めの大恐慌で大打撃を受けた。そこから抜け出すため県は満洲（中国東北区）移民を積極的にすすめた。移民者や兵士たちの尊い命が奪われ「銃後」の県民も苦しんだ。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
様々な戦争体験	令和7年4月～令和8年3月	黒台信濃村からの手紙、満洲愛川村風景写真、満洲補充読本、開拓画報、満蒙開拓青少年義勇軍、満洲物産図、拓け満蒙、満洲信濃村建設の栞、満洲信濃村建設概況全国旅行案内地図、被弾した卓袱台、満洲更級郷開拓団の様子（スケッチ）、陸軍3式戦闘機キ61「飛燕」模型

中テーマ 地域とくらしの変化

1945年、終戦を機に日本は民主主義の国として再出発した。1960年代から経済は大いに発展し、生活も向上した。

小テーマ	展示期間	主な展示資料
長野県の高度経済成長	令和7年4月～令和8年3月	扇風機、蓄音機、真空管式ステレオ、球体洗濯機、攪拌式洗濯機、一槽式洗濯機、足踏み式ミシン、木製冷蔵庫、電気冷蔵庫、ナショナルホームラジオ、4号電話機、腕時計、長野県の平成史パネル、

マルチメディア 「マルチメディア 長野県の歴史散歩」

リース契約を更新した。昨年度に引き続き感染対策（手指消毒用アルコールの設置）を講じ、運用。

一次メニュー	二次メニュー
各時代をみる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を映像と解説でみて調べる
各時代をくらべる	原始・古代・中世・近世・近現代の衣食住を比較しながらその違いを学習する
歴史クイズ	原始・古代・中世・近世・近現代コーナーと全時代から歴史クイズを出題
歴史ビデオ	大地に歴史を掘る 古代高速道・東山道 木曾式伐木運材図絵 犀川線のあゆみ
唱歌・童謡のふるさと信州	県内を代表的する唱歌・童謡の歌詞 楽しく学べる童謡・唱歌クイズ

屋外展示 歴史のこみち

中テーマ	展示期間	主な展示資料
縄文の森	令和7年4月～令和8年3月	植栽
5,000～6,000年前、縄文人が生活の舞台とした森は、クリ、コナラ、クヌギなどの木の実をもたらし、縄文人はこれら森の資源を積極的に活用し、アケ（シブ）をぬいたりして食べた。また、漆を使って木器や土器を美しく仕上げた。		敷石住居跡 石棺墓の石組み
万葉の野	令和7年4月～令和8年3月	植栽
古代の野は、原則としてだれもが自由に利用できる地であり、その動植物は人びとの生活にとってかかせないものであった。人びとの心情は、万葉集の数多くの歌に詠まれている。		竪穴式石室
中世の林	令和7年4月～令和8年3月	植栽
中世では、屋敷のまわりに柿・梨・胡桃・柘榴・唐桃などの果物類が植えてあった。村のあちこちには栗林や竹林もあった。 枯死した柳を伐採した。		五輪塔群

- (3) 新規小テーマ
今年度なし

2 企画展示等

●令和7年所蔵品展

「原始～開館30年のあゆみ展～」

令和7年(2025年)3月15日(土)～
6月15日(日)(開催日数78日)10,089
人(前年度3月15日～3月30日観覧
者数1,054人)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野
総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長
野支局・産経新聞社長野支局・中日新
聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・
市民新聞グループ(7紙)・長野日報
社・南信州新聞社・NHK長野放送局、
SBC信越放送、NBS長野放送、T
SBテレビ信州、abn長野朝日放送、
(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、
FM長野、FMぜんこうじ・屋代有線
放送電話農業協同組合・(公財)八十二
文化財団

〈展示趣旨〉

当館が30年間に収集した考古資料を
対象とし、これまで展示の機会が少な
かった所蔵品を中心に展示する。また長野
県史(考古資料編)刊行後36年が経過し、
長野県が蓄積した成果を総括する。

〈主な展示資料〉 全て当館蔵

信濃町日向林B遺跡台形石器、斧形石
器、佐久市下茂内遺跡槍先形尖頭器接合
資料、信濃町東裏遺跡土器・石器、宮田
村中越遺跡土器・石器、長野市松原遺跡
土器・石器、塩尻市吉田向井遺跡土器、
小諸市郷土遺跡土器・石器、小諸市岩下
遺跡石器、安曇野市北村遺跡出土人骨、
高森町北原遺跡土器・石器、長野市東町
遺跡土器、長野市榎田遺跡石器、長野市
篠ノ井遺跡群土器・鉄器・青銅器、飯田
市殿原遺跡土器・石器、長野県石川条里

遺跡土器・石製品、坂城町東平古墳埴輪、
上田市陣馬塚古墳直刀、伊那市富県出土
鉄馬、飯田市神送塚古墳陶馬、長野市大
室古墳群土馬、清水原古墳土馬、阿智村
神坂峠玉類、立科町雨飾峠馬具、軽井沢
町入山峠玉類、正倉院白布(レプリカ)、
「信濃国印」(復元)など

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

3月14日(金)15:00～17:00

企画展示室前

来賓：山岸喜昭、荒井武志、竹内正美
(長野県議会議員)

※15:00～16:00は報道関係者を対象
に内覧会を実施

〈印刷物〉

ポスターB2判片面カラー 2,100部

チラシA4判両面カラー 18,000部

招待券 カラー 3,000部

「歴史館まなび隊」 6,000部

〈担当〉

主管課長 水澤教子

総合情報課 町田勝則 初見俊輔

飯島公子

考古資料課 杉木有紗 大竹憲昭

文献史料課 花岡康隆

原始時代別研究会会員

●夏季企画展

「安曇野～知られざる里山の祈り～」

令和7年(2025年)7月5日(土)～8
月24日(日)(開催日数44日)

観覧者数 5,609人

主催 長野県立歴史館

協力 安曇野市、池田町、大町市、松川
村、松本市

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総
局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支

局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業共同組合、(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

安曇野から連想される豊かな水、広々とした田園風景、常念岳や北アルプスが望める自然。そんな多くの方がイメージする安曇野ができあがるまでの歴史についてはあまり知られていない。本企画展で安曇野の里山にあった祈りの世界を知っていただくことによって安曇野の知られざる魅力について感じていただく展示としたい。

安曇野の里山には中世の寺院が多くみられる。当時の里山寺院の姿を仏像・絵馬・絵画・文書を中心に展示する。安曇野には有力領主の祈祷寺とともに、民衆の信仰に支えられた里山寺院が存在していたことを示したい。それらを通して地方に仏教信仰がどのように位置づいていたのかについて考える機会とする。

今回展示した仏像・絵馬等は今日まで寺院を守り続けてきたからこそ今私たちは当時の祈りの世界を感じることができる。安曇野に残された寺院の仏像等を足がかりに、県民の皆様があらためて文化財について関心を深め、郷土を見つめ直し、地域全体で保存に取り組んでいこうとする契機としていきたい。

〈展示構成〉

《企画展示室》

- 1 いにしへの安曇野～祈りの原形～
- 2 中近世の安曇野～祈りの広がり～

3 近世以降の安曇野

《第2展示室》

「長野県人の戦争体験～戦中のスケッチブック・日記が語るもの～」

《廊下展示》

妙海作の仏像パネル、道祖神、十王石仏等

〈主な展示資料〉

- ・トロトロ石器(県宝)・縄文土器3点(県宝)・銅造菩薩半跏像(重文)・明科廃寺瓦、鬼瓦・満願寺「絵馬」「信長朱印状」、「勸進状」・明王院正福寺「不動明王立像」・泉福寺「武田信玄禁制」・毘沙門堂「毘沙門天像」(安曇野市指定)・穂高組絵図(当館蔵)・松川道文祈願文・松尾寺「鬼の面」
- ・光久寺「日光・月光両菩薩像」(県宝)
- ・真光寺「阿弥陀如来」「勢至菩薩」「観音菩薩」(重文)・覚音寺「千手観音菩薩」「多聞天立像」(重文)など

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

7月4日(金) 15:30～16:30

企画展示室前

来賓: 覚音寺・真光寺・泉福寺各住職、
依田明善(長野県議会議長) 荒井武志、
竹内正美(長野県議会議員)

(2) 第2回長野県立歴史館講座

演題「安曇野～知られざる里山の祈り～」

講師 小林寿英(当館文化財指導主事)

日時 7月5日(土) 13:30～15:00

参加者 88名

(3) 講演会

①演題「安曇野の寺院と仏たち」

講師 武笠朗(実践女子大学教授)

日時 7月12日(土) 13:30～15:00

参加者 102名

②演題「安曇野の中世」

講師 逸見大悟(安曇野市教育委員会)

文化財課)

日時 7月19日(土) 13:30~15:00

参加者 102名

(4) 企画展主担当職員によるギャラリー
トーク+映画上映

内容 企画展示解説+「RYO と彩の安
曇野水物語」

日時 8月9日(土) 10:00~12:00

講師 小林寿英(当館文化財指導主事)

(5) ギャラリートーク

日時 7月26日(土)、8月16日(土)

13:00~14:00

講師 小林寿英(当館文化財指導主事)

(6) 体験イベント 「仏像スケッチコン
テスト」

〈印刷物〉

図録A4判 96頁 1,300部

ポスター 2,100枚

チラシ 18,000枚

招待券 3,500枚

〈担当者〉

主管課長 水澤教子

総合情報課 小林寿英、林誠、
中山敦、鈴木幸香、
久保田千絵、竹節鮎

●秋季企画展

「疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭
祀具にみる古代の祈り～」

令和7年10月4日(土)～11月16日(日)

(開催日数 38日)

観覧者数 4,961人

主催 長野県立歴史館

特別協力 国立文化財機構文化財活用
センター、奈良文化財研究所

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総
局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、

産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市
民新聞社、市民タイムス、市民新聞グルー
プ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長
野放送局、SBC信越放送、NBS長野放
送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放
送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、
FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送
電話農業協同組合、(公財)八十二文化財
団

〈展示趣旨〉

相次ぐ災害の発生や感染症等が蔓延した
飛鳥・奈良時代。こうした災厄に向き合う
一つの方法として、人びとは祭祀を行い、
疫病退散や除災を祈願した。千曲市屋代遺
跡群では、木の板を加工した馬や人の形代
や斎串などの祭祀具が多量にみつき、地
方での祭祀の様子が明らかとなってきた。
飯田市恒川官衙遺跡など長野県内の出土資
料のほか、藤原京・平城京の木製祭祀具も
展示し、古代の祈りについて考える。
あわせて、古墳時代中期に遡る祭祀や中世
の呪符木簡、現代に続く祓いの行事なども
扱い、除災祈願の歴史をたどる。

〈展示構成〉

《企画展示室》

プロローグ 屋代遺跡群の水辺の祭祀

- 1 古代の人々を襲った災厄と祭祀
- 2 古墳時代の祈り～水辺の祭祀と蛇行剣
- 3 飛鳥時代の祈り～蛇形に託した祈り
- 4 奈良時代の祈り～穢れや災いを祓う人
形

5 中世の祈り～呪術と願いを込めた木簡

エピローグ 現代の祈り～今も続く厄祓い

《小展示室》

- ・かなんばれ／恒川清水ビデオ
- ・木製品の保存処理について
- ・現代の災厄

〈主な展示資料〉

藤原宮跡・平城宮跡出土木製祭祀具・土馬
(奈良文化財研究所蔵)、千曲市屋代遺跡
群出土木簡(長野県宝・当館蔵)、同遺跡
群出土木製祭祀具(当館蔵)、飯田市辻前
遺跡・恒川官衙遺跡群出土木製祭祀具(飯
田市教育委員会蔵)、諏訪市フネ古墳出土
蛇行剣他(長野県宝・諏訪市博物館蔵)、
千曲市東條遺跡出土呪符木簡(当館蔵)、
長野市石川条里遺跡出土呪符木簡(当館蔵)
飯山市釜淵遺跡出土呪符木簡他(飯山市教
育委員会蔵)、「蘇民将来符」(上田市立
信濃国分寺資料館蔵)、「かなんばれ」人
形(北相木村立北相木小学校蔵)など

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

10月3日(金) 15:30~16:00

企画展示室前

来賓: 浦蓉子(奈良文化財研究所主任研
究員)、矢島宏雄(長野県考古学会会長)、
栗林えり子(北相木村立北相木小学校校
長)

(2) 企画展講演会

演題 「古代の人形に込められた祈りと
呪いー平城宮出土資料を中心に」

講師 浦蓉子(奈良文化財研究所主任研
究員)

日時 10月4日(土) 13:30~15:00

参加者 75名

(3) 企画展講座

①演題「屋代遺跡群の調査と木製祭祀具」

講師 水沢教子(当館総合情報課長)

日時 10月25日(土) 13:30~15:00

参加者 54名

②演題「諏訪市フネ古墳と蛇行剣」

講師 児玉利一(諏訪市博物館主査・学
芸員)

日時 11月9日(日) 13:30~15:00

参加者 66名

③演題「現代につづく祓いの行事」

講師 櫻井秀雄(当館考古資料課長)

日時 11月15日(土) 13:30~15:00

参加者 60名

(4) 関連イベント

「古代のボードゲーム「かりうち」大会」

日時 10月19日(土) 13:30~15:00

参加者 10名

(7) ワークショップ

「人形や馬形の祭祀具をつくろう」

日時 11月8日(土) 9:00~16:00

参加者 37名

(8) 考古学体験講座

①「木製祭祀具にさわってみよう 赤外線カ
メラでみてみよう」

日時 10月11日(土) 13:30~15:00

参加者 8名

②「木製祭祀具にさわってみよう 記録をと
ってみよう」

日時 11月1日(土) 13:30~15:00

参加人数 10名

〈印刷物〉

図録 A4判カラー96頁 1,300部
ポスターB2判片面カラー 2,050枚
チラシ A4判両面カラー 18,000枚
招待券 カラー 3,000枚

〈担当〉

主管課長 櫻井秀雄

考古資料課 杉木有紗 大竹憲昭

白沢勝彦

総合情報課 水沢教子 町田勝則

●冬季企画展

「霊場小菅〜飯山の遺産と文化〜」

令和8年(2026年)1月10日(土)~3
月1日(日)(開催日数40日)

観覧者数 2,886人

主催 長野県立歴史館

協力 飯山市、飯山市教育委員会、一般社団法人信州いいやま観光局、

後援 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

小菅は飯山盆地の東中腹に位置する中間山地の農村集落で、かつては戸隠・飯綱と並ぶ長野県北信地域における三大霊場の一角をなしていた。

その歴史は古く、7世紀後半に修験道の開祖である役行者が、小菅権現(馬頭観世音)をはじめとした八所権現(熊野・金峯・白山・立山・山王・走湯・戸隠)を祀ったのが始まりとされる。後に建立された元隆寺は中世において隆盛を極めるが、川中島合戦の戦禍が小菅にもおよび、堂宇のほとんどが焼失したという。近世までに修復が進められ、明治2年の神仏分離令によって改称することとなり、現在は小菅神社として地域の信仰の場となっている。

このような経過の中で、小菅には建造物をはじめ信仰に関わる美術品や祭りなど、さまざまな種類の文化財が伝え残されている。そして、小菅の集落は穏やかな山村の原風景を感じさせる一方、民家とともに集落に点在する宗教建築、集落の中央を貫く参道、石積みを用いた計画的な地割などが現在でも残る。人々の日常的な暮らしの場と宗教空間の共存という小菅の特徴的な風景は、「小菅の里及び小菅山の文化的景観」として平成27年に国の重要文化的景観に選定(県内2例目)

され、次世代へと引き継いでいくことが求められている。

今回の展示では、長野県でも数少ない特徴的な景観と貴重な文化財を有する小菅を取り上げ、北信濃に残された霊場の様子を紹介するとともに、今後残していくべき地域の在り方を考えるきっかけにさせていただく。

《企画展示室》

プロローグ小菅の信仰の始まり／第1章隆盛を極めた中世の小菅／第2章元隆寺の復興／第3章宗教空間小菅の姿／エピローグ小菅の景観と文化

《第2展示室》

小菅の祭り【柱松柴燈神事(重要無形民俗文化財)】／飯山市の名所案内

〈主な借用先〉

飯山市教育委員会、小菅神社、菩提院、小菅区、個人蔵

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

1月9日(金) 15:00~16:00

企画展示室前

来賓: 新田恭士(長野県副知事)、江沢岸生(飯山市長)、島崎紀明(飯山市教育委員会文化振興部長)、望月静雄(飯山市ふるさと館長)、藤木栄子(飯山市教育委員会文化財係長) 丑山直美(飯山市教育委員会学芸員) 三井哲(八十二文化財団専務理事)、内山恵美子(八十二文化財団)、

(2) 講演会

演題「小菅の魅力」

講師 笹本正治(長野県立歴史館特別館長)

日時 1月17日(土) 13:30~15:00

参加者 250名

(3) 講座

演題「小菅の遺跡から」

講師 丑山直美氏(飯山市教育委員会)

日時 2月14日(土) 13:30~15:00

入場者 183名

(4) ギャラリートーク

1月24日(土) 入場者 24名

2月28日(土)入場者71名
(5)体験イベント

絵馬体験145名参加

日時 会期中

内容 企画展示室前で絵馬に願いを書き、廊下に飾る。

〈印刷物〉

図録 A4判カラー96ページ 1,300部
ポスター B2判カラー 2,100部
チラシ A4判両面カラー 23,000部
招待券 210×75ミリカラー 3,500部

〈担当〉

主管課長：水澤教子

主担当：黒川稔、飯島公子、小林寿英

●令和8年所蔵品展

「長野県民の戦後再出発」

令和8年(2026年)3月14日(土)～6月14日(日)(開館79日)

観覧者数715人(3月14日～3月31日)

主催 長野県立歴史館

後援 信濃毎日新聞社・朝日新聞長野総局・読売新聞長野支局・毎日新聞長野支局・産経新聞社長野支局・中日新聞社・長野市民新聞社・市民タイムス・市民新聞グループ(7紙)・長野日報社・南信州新聞社・NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ・屋代有線放送電話農業協同組合・(公財)八十二文化財団

〈展示趣旨〉

2025年(令和7年)は、終戦から80年の節目の年であった。だが戦後も戦争の影響を大きく受けながら、人々はそれぞれの場所で新しい時代に向き合い、懸命に歩みを進めた。本企画展では、当館所蔵の初公開史資料を中心に、戦中から戦

後の長野県民の姿を浮かび上がらせる展示としたい。

〈主な展示資料〉 全て当館蔵

信濃海外協会関係史料(ありあんさ移住地渡航者関係書類・北原地価造写真頁)、竹内家資料(弾倉マッパ立て)、町田守衛資料(陣中日誌)、満洲国協和会関係資料、米軍投下ビラ、下高井教育会満洲視察関係資料、長野県開拓自興会資料(外套・リュック等)、大林作三『終戦の記』、坂本家資料・アルミ製鍋、戦後ブラジル移民関係史料、終戦詔書、赤羽刀、長野県行政文書(GHQ返還文書)、長野県連合青年団関係資料(「県連青の胎動から結成まで」、信州青年の歌(楽譜)、団旗・カップ等)、歌謡曲ノート(東京ブギウギ、リンゴの唄等)、日本国憲法/日本国憲法普及資料、児玉勝子史料(日記、新憲法草案に対する声明書のうつし)、長野県連合青年団関係資料(浅間演習地問題、反対署名)、長野県行政文書(提出請願・陳情書)、雑誌創刊号コレクション(しつぴつ)、町田守衛資料(流れ旗)、石川与四郎収集資料(寮友会誌、名簿)、窪田家資料(ゼロ戦のバケツ)、戦闘機疾風の車輪、16mmフィルム、35mmフィルムの従来の保管ケースとフィルム、デジタル化した映像記録上映「遠山地方の霜月祭り」「おらうちの嫁」

〈行事〉

(1) オープニングセレモニー

日時 3月13日(金)16:00～17:00

場所 企画展示室前

来賓 荒井武志、竹内正美(長野県議会議員)

〈印刷物〉

ポスター B2判片面カラー 2,050部
チラシ A4判両面カラー 18,000部
招待券 カラー 3,000部

〈担当〉

主管課長 水澤教子
総合情報課 鈴木幸香 林誠
文献史料課 花岡康隆 黒岩隆
近現代時代別研究会会員

Ⅲ 教育普及公開

1 学校・団体見学 実施記録

(1) 学校見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	児童数	引率数	学級数	グループ数	解説
4	9	水	10:40-11:50	屋代高等学校附属中学校1年	80	5	2	1	有
4	15	火	10:40-11:50	東御市立和小学校6年	58	4	2	2	有
4	18	金	9:10-10:20	長野市立南部小学校6年	89	3	3	3	有
4	22	火	10:50-12:00	長野市立昭和小学校6年	98	4	3	3	有
4	24	木	13:00-14:10	長野市立川中島小学校6年	88	5	3	3	有
4	25	金	9:10-10:20	長野市立古里小学校6年	75	4	3	3	有
5	1	木	9:10-10:20	佐久市立中佐都小学校6年	51	4	2	2	有
5	1	木	10:40-11:50	飯山市立秋津小学校6年	12	2	1	1	有
5	1	木	13:00-14:10	軽井沢町立軽井沢東部小学校6年	21	3	1	1	有
5	2	金	9:10-10:20	長野市立塩崎小学校6年	37	3	2	2	有
5	2	金	10:40-11:50	千曲市立東小学校6年	44	2	2	2	有
5	8	木	9:10-10:20	長野市立川田小学校6年	28	2	1	1	有
5	8	木	10:40-11:50	長野市立通明小学校6年	118	6	4	4	有
5	8	木	13:00-14:10	上田市立西小学校6年	59	3	2	2	有
5	9	金	9:10-10:20	千曲市立上山田小学校6年	22	3	1	1	有
5	9	金	9:10-10:20	軽井沢町立軽井沢中部小学校6年	70	4	3	3	有
5	9	金	10:40-11:50	長野市立三本柳小学校6年	113	5	4	4	有
5	9	金	13:00-14:10	東御市立滋野小学校6年	41	5	2	2	有
5	9	金	13:00-14:10	長野市立城山小学校6年	55	5	2	2	有
5	11	日	9:00-10:00	愛知県立大学歴史文化学科	42	5	1	1	有
			10:00-11:00		33	5	1	1	有
5	13	火	10:40-11:50	長野市立信里小学校6年	7	2	1	1	有
5	13	火	10:40-11:50	須坂市立仁礼小学校6年	32	2	1	1	有
5	13	火	10:40-11:50	飯綱町立幸礼小学校6年	47	3	2	2	有
5	13	火	13:00-14:10	長野市立裾花小学校6年	78	4	3	3	有
5	14	水	9:10-10:20	長野市立朝陽小学校6年	91	6	3	3	有
5	14	水	10:40-11:50	長野市立中条小学校6年	25	7	4	2	有
5	14	水		長野市立七二会小学校6年					
5	14	水		長野市立信州新町小学校6年					
5	14	水		小川村立小川小学校6年					
5	14	水	10:40-11:50	長野俊英高校1年	52	4	2	2	有
5	14	水	13:00-14:10		90	4	3	3	有
5	15	木	9:10-10:20	長野市立柳原小学校6年	51	3	2	2	有
5	15	木	10:50-12:00	長野市立共和小学校6年	46	5	2	2	有
5	15	木	10:40-11:50	中野市立高丘小学校6年	23	2	1	1	有
5	16	金	9:10-10:20	上田市立神川小学校6年	82	4	3	3	有
5	16	金	10:40-11:50	千曲市立五加小学校6年	50	4	2	2	有
5	16	金	10:40-11:50	須坂市立日野小学校6年	58	4	2	2	有
5	16	金	13:00-14:10	安曇野市立穂高北小学校6年	113	6	4	4	有
5	20	火	9:10-10:20	池田町立池田小学校6年	34	2	1	1	有
5	20	火	9:10-10:20	長野市立若槻小学校6年	76	4	3	3	有
5	20	火	14:00-15:15	東京都大田区立響谷小学校6年	122	10	4	4	有
5	23	金	9:10-10:20	安曇野市立豊科東小学校6年	34	4	1	1	有
5	23	金	9:10-10:20	池田町立会染小学校6年	37	3	1	1	有
5	23	金	10:40-11:50	大町市立大町東小学校	24	3	1	1	有
5	27	火	10:40-11:50	上田市立川西小学校6年	43	3	2	2	有
5	27	火	10:40-11:50	東京都大田区立相生小学校6年	49	8	2	2	有
5	27	火	13:00-14:10	東京都練馬区立北町西小学校6年	79	9	3	3	有
5	28	水	10:40-11:50	東京都練馬区立大泉学園緑小学校6年	80	10	3	3	有
5	29	木	9:10-10:20	群馬県長野原町立長野原中央小学校6年	10	4	1	1	有
5	29	木	10:40-11:50	長野市湯谷小学校6年	60	5	2	2	有
5	30	金	9:10-10:20	松川村立松川小学校	70	5	3	3	有
5	30	金	10:40-11:50	飯綱町立三水小学校6年	37	3	2	2	有
5	30	金	13:00-14:10	上田市立傍陽小学校6年	12	2	1	1	有
6	3	火	9:10-10:20	長野市立綿内小学校6年	46	3	2	2	有
6	3	火	13:00-14:10	小布施町立栗ヶ丘小学校6年	102	6	3	3	有
6	3	火	13:00-14:10	長野市立保科小学校6年	11	2	1	1	有
6	5	木	9:10-10:20	大町市立大町北小学校6年	32	3	1	1	有
6	5	木	9:10-10:20	松本市立二子小学校6年	33	3	1	1	有
6	5	木	9:10-10:20	白馬村立白馬南小学校6年	12	2	1	1	有
6	5	木	10:40-11:50	坂城町立村上小学校6年	29	2	1	1	有
6	5	木	13:00-14:10	安曇野市立豊科南小6年	119	5	4	4	有
6	6	金	9:10-10:20	安曇野市立豊科北小学校6年	87	6	3	3	有
6	6	金	9:10-10:20	千曲市立更級小学校6年	22	2	1	1	有
6	6	金	10:40-11:50	上田市立北小学校6年	49	5	2	2	有
6	6	金	10:40-11:50	生坂村立生坂小学校6年	13	2	1	1	有

6	6	金	13:00-14:10	長野市立浅川小学校6年	43	4	2	2	有
6	6	金	13:00-14:10	長野市立松ヶ丘小学校6年	18	3	1	1	有
6	10	火	9:10-10:20	長野市立豊野東小学校6年	20	2	1	1	有
6	10	火	9:05-9:55	長野市立三輪小学校6年	60	4	2	2	有
6	10	火	10:40-11:50	長野市立吉田小学校6年	116	10	4	4	有
6	10	火	13:00-14:10	青木村立青木小学校6年	21	2	1	1	有
6	11	水	10:40-11:50	千曲市立屋代小学校6年	57	2	2	2	有
6	11	水	10:40-11:50	麻績村立麻績小学校6年	12	2	1	1	有
6	12	木	9:10-10:20	上田市立川辺小学校6年	95	6	3	3	有
6	12	木	10:40-11:50	須坂市立井上小学校6年	39	4	2	2	有
6	12	木	10:40-11:50	上田市立本原小学校6年	38	3	2	2	有
6	12	木	13:00-14:10	千曲市立埴生小学校6年	88	6	3	3	有
6	12	木	13:00-14:10	大町市立美麻小中学校6年	14	2	1	1	有
6	13	金	9:10-10:20	長野市立篠ノ井西小学校6年	90	6	3	3	有
6	13	金	10:40-11:50	長野市立松代小学校6年	53	3	2	2	有
6	13	金	10:40-11:50	佐久市立中込小学校6年	59	3	2	2	有
6	13	金	13:00-14:10	上田市立丸子中央小学校6年	86	4	3	3	有
6	13	金	13:00-14:10	安曇野市立明南小学校6年	28	3	1	1	有
6	17	火	9:10-10:20	信濃町立信濃小中学校6年	35	4	2	2	有
6	17	火	9:10-10:20	東御市立祢津小学校6年	32	3	1	1	有
6	17	火	10:40-11:50	長野市立下氷鉋小学校6年	83	5	3	3	有
6	17	火	10:40-11:50	山ノ内町立東小学校6年	31	3	1	1	有
6	17	火	13:00-14:10	佐久市立東小学校6年	44	4	2	2	有
6	18	水	10:40-11:50	信州大学附属長野小学校6年	36	2	1	1	有
6	18	水	10:00-11:00	長野市立西条小学校4年	10	2	1	1	有
6	18	水	13:00-14:10	東京都練馬区立光が丘春の風小学校6年	92	11	3	3	有
6	19	木	9:10-10:20	安曇野市立堀金小学校6年	65	5	2	2	有
6	19	木	10:40-11:50	長野日本大学小学校5年	29	2	1	1	有
6	19	木	13:00-14:10	上田市立塩川小学校6年	20	5	1	1	有
6	19	木	13:00-14:10	長野市立鍋屋田小学校6年	30	2	1	1	有
6	20	金	9:10-10:20	松本市立源池小学校6年	41	3	2	2	有
6	20	金	10:40-11:50	上田市立清明小学校6年	47	3	2	2	有
6	20	金	10:40-11:50	松本市立島立小学校6年	46	4	2	2	有
6	20	金	13:00-13:45	筑北村立筑北小学校6年	19	2	1	1	有
6	20	金	13:00-14:10	北相木村立北相木小学校6年	21	3	2	1	有
6	20	金	13:00-14:10	南相木村立南相木小学校6年					
6	20	金	13:00-14:10	上田市立神科小学校6年	107	4	3	3	有
6	21	土	9:20-10:00	清泉大学短期大学部	6	1	1	1	有
6	24	火	9:10-10:20	松本市立本郷小学校6年	52	5	2	2	有
6	24	火	9:10-10:20	松本市立岡田小学校6年	61	5	2	2	有
6	24	火	10:40-11:50	坂城町立坂城小学校6年	28	2	1	1	有
6	24	火	10:40-11:50	長野市立加茂小学校6年					
6	24	火	10:40-11:50	長野市立芋井小学校6年	42	3	3	2	有
6	24	火	10:40-11:50	長野市立鬼無里小学校6年					
6	24	火	10:40-11:50	長野市立大岡小学校6年	5	1	1	1	有
6	24	火	13:00-14:10	飯山市立飯山小学校6年	46	4	2	2	有
6	24	火	13:00-14:10	東京都大田区立矢口東小学校6年	42	6	2	2	有
6	25	水	9:10-10:20	松本市立芝沢小学校6年	61	5	2	2	有
6	25	水	9:10-10:20	長野市立寺尾小学校6年	26	2	1	1	有
6	25	水	10:40-11:50	木島平村立木島平小学校6年	26	2	1	1	有
6	26	木	9:10-10:20	小諸市立東小学校6年	67	4	3	3	有
6	26	木	10:40-11:50	南牧村立南牧北小学校6年	11	5	1	1	有
6	26	木	10:40-11:50	南牧村立南牧南小学校6年					
6	26	木	10:40-11:50	安曇野市立明北小学校6年	13	3	1	1	有
6	26	木	10:40-11:50	松本市立田川小学校6年	43	3	2	2	有
6	26	木	13:40-15:10	伊那市立美簗小学校4年	46	6	2	2	有
6	27	金	9:10-10:20	須坂市立豊洲小学校6年	23	2	1	1	有
6	27	金	9:10-10:20	松本市立梓川小学校6年	104	5	3	3	有
6	27	金	10:40-11:50	朝日村立朝日小学校6年	26	4	1	1	有
6	27	金	10:40-11:50	須坂市立旭ヶ丘小学校6年	36	3	1	1	有
6	27	金	10:40-11:50	東京都大田区立田園調布小学校6年	89	8	3	3	有
6	27	金	13:00-14:10	長野市立徳間小学校6年	99	6	3	3	有
7	1	火	9:10-10:20	千曲市立治田小学校6年	45	3	2	2	有
7	1	火	10:40-11:50	須坂市立豊丘小学校6年	8	2	1	1	有
7	1	火	10:40-11:50	中野市立中野小学校6年	67	3	2	2	有
7	1	火	13:00-14:10		66	3	2	2	有
7	2	水	9:10-10:20	小諸市立坂の上小学校6年	43	4	2	2	有
7	2	水	10:40-11:50	東京都大田区立糞谷小学校	70	9	3	3	有
7	2	水	10:40-11:50	Summit Academy Elementary School 佐久	28	2	1	1	有
7	2	水	12:40-13:30	才教学園小学校6年	39	3	2	2	有
7	3	木	10:40-11:50	佐久市立岸野小学校6年	20	2	1	1	有
7	3	木	10:40-11:50	東京都大田区立東六郷小学校6年	71	9	3	3	有
7	3	木	12:50-14:00	長野市立城東小学校6年	47	3	2	2	有

7	4	金	9:10-10:20	立科町立立科小学校6年	39	4	2	2	有
7	4	金	10:40-11:50	佐久穂町立佐久穂小学校6年	84	6	3	3	有
7	4	金	13:00-14:10	安曇野市立三郷小学校6年	132	7	4	4	有
7	4	金	14:30-15:40	諏訪市立上諏訪小学校4年	66	6	2	2	有
7	8	火	13:00-14:10	東京都大田区立赤松小学校6年	57	8	2	2	有
7	9	水	9:30-10:40	東京都練馬区立橋戸小学校6年	47	9	2	2	有
7	10	木	10:40-11:50	東京都大田区立中萩中小学校6年	59	7	2	2	有
7	11	金	10:40-11:50	上田市立武石小学校6年	23	2	1	1	有
7	11	金	10:40-11:50	小海町立小海小学校6年	22	3	1	1	有
7	11	金	13:00-14:10	松本市立芳川小学校6年	135	8	4	4	有
7	15	火	10:40-11:50	千曲市立戸倉小学校6年	49	4	2	2	有
7	18	金	9:10-10:20	御代田町立御代田南小学校6年	90	5	3	3	有
7	18	金	13:00-14:10	東御市立田中小学校6年	62	3	2	2	有
7	27	日	10:00-12:00	松本県ヶ丘高校1年	2	0	0	1	有
7	30	水	9:30-10:40	長野日本大学小学校1～6年	29	3	0	3	有
8	8	金	9:10-10:20	東海大学人文学部3年	5	1	1	1	有
8	28	木	9:10-10:20	佐久市立白田小学校6年	106	6	3	3	有
8	28	木	10:40-11:50	中野市立延徳小学校6年	20	3	2	1	有
8	28	木	10:40-11:50	中野市立日野小学校6年	16	4			有
8	28	木	10:40-11:50	筑北村立聖南中学校2年	19	3	1	1	有
8	28	木	13:00-14:10	小諸市立千曲小学校6年	22	2	1	1	有
8	28	木	14:30-15:40	佐久市立浅科小学校6年	41	5	2	2	有
9	4	木	9:10-10:20	上田市立浦里小学校6年	7	2	1	1	有
9	5	金	9:10-10:20	上田市立塩尻小学校6年	30	2	1	1	有
9	5	金	10:40-11:50	上田市立丸子北小学校6年	47	5	2	2	有
9	5	金	10:40-11:50	長野市立豊野西小学校6年	45	3	2	2	有
9	5	金	13:00-14:10	軽井沢町立軽井沢西部小6年	51	4	2	2	有
9	19	金	9:10-10:20	須坂市立森上小学校6年	44	3	2	2	有
9	19	金	9:10-10:20	東京都大田区立東桃谷小学校6年	60	8	2	2	有
9	19	金	10:40-11:50	山ノ内町立西小学校6年	23	2	1	1	有
9	19	金	10:40-11:50	須坂市立小山小学校6年	60	4	2	2	有
9	23	火	10:40-11:50	東京都大田区立都南小学校6年	60	7	2	2	有
9	23	火	13:00-14:00	東京都大田区立池上第二小学校6年	73	9	3	3	有
9	26	金	10:40-11:50	長野市立安茂里小学校6年	41	3	2	2	有
9	30	火	9:30-10:40	東京都大田区立馬込第二小学校6年	76	8	3	3	有
9	30	火	10:40-11:50	須坂市立高甫小学校6年	22	2	1	1	有
9	30	火	13:00-14:10	東御市立北御牧小学校6年	31	3	1	1	有
10	3	金	9:10-10:20	長野市立緑ヶ丘小学校5年	88	6	3	3	有
10	3	金	9:10-10:20	箕輪町立箕輪東小学校4年	24	4	1	1	有
10	3	金	10:40-11:50	須坂市立日滝小学校6年	50	2	2	2	有
10	7	火	10:00-11:10	栄村立栄小学校6年	12	4	1	1	有
10	8	水	10:40-11:50	東京都練馬区立光が丘夏の雲小学校6年	89	12	3	3	有
10	9	木	9:10-10:20	中野市立平野小学校6年	80	5	3	3	有
10	9	木	10:40-11:50	上田市立南小学校6年	103	6	4	4	有
10	10	金	10:40-11:50	山ノ内町立南小学校6年	14	2	1	1	有
10	13	月	13:30-14:10	東京都大田区立池雪小学校6年	59	5	3	3	有
10	13	月	14:20-15:00		90	6	2	2	有
10	15	水	11:00-12:00	東京都練馬区立光が丘秋の陽小学校5年	62	9	2	2	有
10	17	金	10:25-11:55	松本市立鎌田小学校6年	85	4	3	3	有
10	17	金	13:00-14:30		60	4	2	2	有
10	22	水	10:00-10:30	青木島保育園	80	14	3	3	有
10	23	木	10:30-11:30	東京都大田区立矢口西小学校6年	106	11	4	4	有
10	23	木	13:00-14:10	高山村立高山小学校6年	43	4	2	2	有
10	23	木	14:30-15:40	東京都大田区立洗足池小学校6年	64	7	2	2	有
10	24	金	9:10-10:20	長野市立芹田小学校6年	105	5	3	3	有
10	29	水	9:10-10:20	西部保育園	59	10	3	3	有
10	30	木	9:10-10:20	上田市立塩田西小学校6年	31	3	1	1	有
10	30	木	9:10-10:20	阿智村立阿智第一小学校4年	20	5	1	1	有
10	31	金	10:40-11:50	長野市立山王小学校6年	31	3	1	1	有
10	31	金	13:00-14:10	千曲市立八幡小学校6年	32	2	1	1	有
10	31	金	14:30-15:40	飯田市立座光寺小学校4年	42	4	2	2	有
11	6	木	9:10-10:20	大町西小学校6年	30	3	1	1	有
11	6	木	10:20-11:30	城北小学校6年	58	4	2	2	有
11	7	金	9:10-10:20	宮田小学校4年	74	8	3	3	有
11	7	金	10:40-11:50	青木島小学校6年	82	4	3	3	有
11	7	金	13:00-14:10	坂城町立南条小学校6年	41	4	2	2	有
11	7	金	13:00-14:10	望月小学校6年	52	3	2	2	有
11	9	日	10:50-12:30	法政大学文学部日本考古学ゼミ(小倉淳一先生)	12	1	1	1	有
11	13	木	9:10-10:20	東条小学校6年	36	3	2	2	有
11	13	木	10:40-11:50	美南ガ丘小学校6年	105	6	4	4	有
11	14	金	9:10-10:20	高社小学校6年	60	3	2	2	有
11	18	火	10:40-11:50	野沢温泉小学校6年	20	2	1	1	有
11	21	金	9:10-10:20	長小学校6年	17	2	1	1	有

11	21	金	10:40-11:50	東小学校6年	85	3	3	3	有
12	5	金	13:30-14:30	諏訪二葉高校1年	36	1	1	1	無
12	13	土	10:00-11:00	長野大学1年	17	1	1	1	有
12	23	火	11:15-12:30	長野県更級農業高校	18	1	1	1	無
1	10	土	10:00～	長野県清泉大学	18	1	1	1	有
1	27	火	10:00-12:00	長野県飯山高等学校	64	5	2	2	有
2	10	火	10:00-15:00	信州大学工学部博物館学	18	1	1	1	有
2	13	金	9:30-16:00	信州大学人文学部博物館学	44	1	1	2	有
学校数計:215					10693	880	413	412	
合計									

(2) 教育関係機関視察及び見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	人数	引率数	グループ数	解説
4	24	木	13:30-14:10	東京都練馬区教育委員会移動教室実地踏査	49	—	2	有
7	25	金	10:00-11:00	東京都大田区教育委員会移動教室実地踏査	67	—	2	有
8	21	木	14:00～	千曲市立東小学校職員	12	—	1	有
11	12	水	14:30-16:00	更埴教育会(全郡研究)	31	—	1	有
合計					159	0	6	

(3) 一般団体見学 実施記録

月	日	曜	時 間	団 体 名	人数	引率数	グループ数	解説
4	3	木	10:30-11:30	三潁寮さんきつずやしま	5	3	1	無
5	20	火	10:40-11:50	みのり会(青木島老人会)	15	—	1	有
5	20	火	16:00-16:50	飯伊行政相談委員協議会	12	—	1	無
5	22	木	13:00-14:00	福岡県福岡市九州古代史の会	7	—	1	有
5	31	土	10:00～	森將軍塚古墳ボランティア	10	—	1	有
6	12	木	10:40-11:30	平出遺跡サポートどんぐりの会	10	—	1	有
6	19	木	14:30-15:30	上田市上野が丘公民館	9	—	1	有
6	27	金	10:30～	上田市身体障害者福祉協会	24	—	1	無
7	1	火	14:30-15:40	上田市高齢者福祉センター	36	3	1	有
7	3	木	13:20-13:50	松本市波田公民館	19	—	1	有
7	11	金	11:10-12:10	上田市人権啓発推進委員会	23	—	1	有
7	19	土	15:30-16:30	北信濃歴史研究会	16	—	1	有
7	20	日	10:00-12:00	光久寺バスツアー	24	—	1	有
7	30	水	14:50-16:20	坂城男女共同みんなの会	14	—	1	有
8	1	金	10:30-11:30	さんきつずやしま	6	4	1	無
8	5	火	14:00-15:00	ひふみ長野石渡教室	12	7	1	無
8	20	水	10:10-11:20	松川村観光協会、松川村教育委員会	28	—	1	有
8	20	水	15:30～	長野県庁	2	—	1	有
8	21	木	10:30-11:30	安曇誕生の系譜を語る会	17	—	1	有
8	21	木	9:45-10:45	県庁国際交流課	8	—	1	有
8	27	水	13:50-14:40	松本市歴史の里あゆみの会	12	—	1	無
8	29	金	10:35-11:30	屋代公民館(北信公民館運営協議会)	62	—	2	有
9	4	木	9:30-11:00	長野地域振興局管内の新規採用研修	38	—	2	有
9	30	火	11:30-12:30	松本市岡田公民館	15	—	1	有
9	30	火	10:30-11:30	スターズ38(染谷丘高クラス会)	11	—	1	有
10	9	木	11:10-11:50	埼玉県東松山市自治会連合会平野支部	10	—	1	有
10	15	水	10:00-11:00	上田市上野が丘公民館	20	—	1	有
10	16	木	9:30-11:00	篠ノ井老人福祉センター	29	6	1	有
10	21	火	10:00-15:00	シニア大学長野学部①	43	4	2	有
10	21	火	10:20-11:00	下諏訪町観光ガイド	11	—	1	有
10	22	水	10:00-15:00	シニア大学長野学部②	28	2	2	有
10	23	木	9:00-10:30	シニア大学佐久学部	28	—	2	有
10	23	木	9:30-11:30	坂木宿ふれあいガイド	6	—	1	有
10	28	火	9:10-10:30	坂城町児童館職員会	14	—	1	有
10	29	水	10:20-11:10	富山県小矢部川流域下水道工場排水受入協議会	18	1	1	有
10	30	木	12:50-13:30	就労センターいりどり松代	17	6	2	有
10	31	金	11:00-12:00	小田切交流センター	9	—	1	有
10	31	金	11:30-12:30	クラブツーリズム歴史への旅	22	—	1	無
11	5	水	14:00-15:00	熊谷人権擁護委員協議会本庄部会・児玉郡部会	23	—	1	無
11	14	金	15:00-16:30	篠ノ井歴史の会	16	—	1	有
12	9	火	14:30-15:30	群馬県立日本絹の里	15	—	1	有
12	23	火	13:35-14:35	松原地区人権啓発推進協議会	11	—	1	有
2	7	土	10:30-12:30	ハーモニー桃の郷	11	—	1	無
3	1	日	9:30-11:00	飯山市バスツアー	28	—	1	無
3	7	土	9:30-11:30	森將軍塚ボランティア	28	—	1	有
3	26	木	13:00-14:00	放課後等デイサービスはびねす若里	9	3	1	無
合計					831	39	52	

2 企画展関連講演会等

月 日	テーマ	講 師	参加 人数
5月10日 (土)	【所蔵品展関連】 所蔵品展講演会 「考古資料 30 年のあゆみ」	水澤教子 総合情報課長	84
7月12日 (土)	【夏季企画展関連】 企画展講演会① 「安曇野の寺院と仏たち」	武笠 朗 氏 (実践女子大学文学 部教授)	102
7月19日 (土)	企画展講演会② 「中世安曇平の信仰を支えた人々」	逸見 大悟 氏 (安曇野市教育委 員会文化財課)	102
8月9日 (土)	企画展映画上映会 「RYO と彩の安曇野水物語」		34
10月4日 (土)	【秋季企画展関連】 企画展講演会 「古代の人形(ひとがた)に込められた 祈りと呪いー平城宮出土資料を中心に ー」	浦 蓉子 氏 (奈良文化財研究所 都城発掘調査部)	75
10月19日 (日)	企画展イベント 古代のボードゲーム「かりうち大会」		10
10月25日 (土)	企画展講座① 「屋代遺跡群の調査と木製祭祀具」	水澤教子 総合情報課長	54
11月9日 (土)	企画展講座② 「諏訪市フネ古墳と蛇行剣」	児玉 利一 氏 (諏訪市博物館主 査・学芸員)	60
11月15日 (土)	企画展講座③ 「諏訪市フネ古墳と蛇行剣」	櫻井秀雄 考古資料課長	66
1月17日 (土)	【冬季企画展関連】 特別講演会 「小菅の魅力」	笹本正治特別館長	250
2月14日 (土)	企画展講演会 「遺跡からみた小菅」	丑山直美 氏 (飯山市教育委員会 学芸員)	183

計 1,020

3 講座

(1) 県立歴史館講座①館内

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月7日(土)	今、信州の旧石器が面白い！	大竹 憲昭 (当館学芸部考古資料課)	70
7月5日(土)	令和7年度企画展 安曇野ー知られざる里山の祈りー	小林 寿英 (当館学芸部総合情報課)	88
8月11日(月)	真田昌幸書状	笹本 正治 (当館特別館長)	84
9月6日(土)	信州の旧石器を掘る！	鶴田 典昭 氏 (おぶせミュージアム・中島千波館長)	63
12月13日(土)	館蔵品 原始ー開館30年のあゆみⅡー	町田 勝則 (当館学芸部総合情報課)	53
1月31日(土)	丸山晩霞と日本の水彩画	林 誠 (当館学芸部総合情報課)	75
2月21日(土)	日本列島最古の石刃石器群ー佐久市香坂山遺跡ー	久保 浩一郎 氏 (佐久市教育委員会文化振興課)	121
3月14日(土)	縄文時代の社会を考えるージェンダー、階層、そして戦争と平和ー	水澤 教子 (当館学芸部総合情報課長)	128

計 682人

②県立歴史館出前講座 in 箕輪

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
6月28日(土)	箕輪町郷土博物館	古代道路の構造と長野県内の遺構	白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課)	23

③県立歴史館出前講座 in 大桑

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
9月27日(土)	大桑町歴史民俗資料館	観光パンフレットにみる昭和戦前の信州	林 誠 (当館学芸部総合情報課)	15

④県立歴史館出前講座 in 阿南

月 日	場所	テーマ	講 師	参加者数
11月1日(土)	阿南町化石展示館	南信州の原始・古代ー阿南町編ー	町田 勝則 (当館学芸部総合情報課)	12

計 50人

(2) 考古資料課関連講座

①ティーンズ考古学講座（土器や石器など考古資料に興味がある学生）

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
8月7日(木)	1日目 考古資料の観察の仕方など、考古学を初歩から学びます	櫻井 秀雄 (当館学芸部考古資料課長)	11

		杉木 有紗 (当館学芸部考古資料課) 白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課) 大竹 憲昭 (当館学芸部考古資料課)	1
8月8日(金)	2日目 考古資料の観察の仕方など、考古学を初歩から学びます	櫻井 秀雄 (当館学芸部考古資料課長) 杉木 有紗 (当館学芸部考古資料課) 白沢 勝彦 (当館学芸部考古資料課) 大竹 憲昭 (当館学芸部考古資料課)	5

計 16人

②考古学体験講座 「考古資料を見て、触れて、～考古資料の保存、保管～」

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
10月11日(土)	木製祭祀具にさわってみよう ～木製品を赤外線カメラ観察実習～	白沢 勝彦 他 (当館学芸部考古資料課)	8
11月1日(土)	木製祭祀具にさわってみよう ～木製品の記録実習～	杉木 有紗 他 (当館学芸部考古資料課)	10
12月14日(日)	黒曜石にさわってみよう ～黒曜石石器の観察と簡易実測と蛍光X線分析～	大竹 憲昭 他 (当館学芸部考古資料課)	7

計 25人

(3) 古文書講座

①初級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 5月18日(日) B: 5月15日(木)	古文書の学習をスタートしよう ～浮浪士追討御印状巡廻文写帳～	新井 寛子 (当館学芸部文献史料課)	41 47
A: 6月22日(日) B: 6月19日(木)	変体仮名に親しもう ～十返舎一九『続膝栗毛』を読む～	花岡 康隆 (当館学芸部文献史料課)	39 47
A: 7月20日(日) B: 7月17日(木)	近現代の書簡を読んでみよう ～考古学者・藤森栄一の書簡と原稿～	黒岩 隆 (当館学芸部文献史料課)	37 41
A: 8月31日(日) B: 8月28日(木)	江戸時代の地方文書を読もう① ～和田峠砥澤口戦闘日記～	新井 寛子 (当館学芸部文献史料課)	37 40
A: 10月19日(日) B: 10月16日(木)	江戸時代の地方文書を読もう② ～和田峠砥澤口戦闘日記～		34 36

計 399人

②中級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
A: 5月17日(土) B: 5月15日(木)	真田信之 書き初めを書く	村石正行 (当館学芸部文献史料課)	35 47
A: 6月21日(土) B: 6月19日(木)	江戸時代の農村と鉄炮の文書①		34 47
A: 7月19日(土) B: 7月17日(木)	江戸時代の農村と鉄炮の文書②		30 44

A: 8月30日(土)	藩政史料を読もう	中山 敦 (当館学芸部総合情報)	33
B: 8月28日(木)	～松本城請取一通覚書～		35
A: 10月18日(土)	関連文書を読もう		28
B: 10月16日(木)	～松本水野家大變次第書～		38

計 371 人

③上級

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月24日(土)	正徳五年上田城下町問屋日記(抄)	尾崎行也 氏 (元長野県史料刊行会常任幹事)	10
6月28日(土)	正徳五年上田城下町問屋日記(抄)		9
7月26日(土)	正徳五年上田城下町問屋日記(抄)		10
8月23日(土)	正徳五年上田城下町問屋日記(抄)		10
9月27日(土)	正徳五年上田城下町問屋日記(抄)		8

計 47 人

④ティーンズ

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
8月1日(金)	文字を読む前に形に注目してみよう!	村石正行	10
2日(土)	ヘンタイ仮名の世界を読もう	(当館学芸部文献史料課員)	10

計 20 人

⑤古文書フォローアップ講座

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
11月8日(土)	百姓「騒動記」の魅力と価値	樋口和雄 (元県立歴史館文献史料課長)	80

⑥古文書入門教室

月 日	テ ー マ	講 師	参加者数
3月20日(金)	はじめての古文書学習	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	16

⑦古文書出前講座(諏訪市博物館)

日 時	テ ー マ	講 師	参加者数
5月25日(日)	古文書の学習をスタートしよう ～浮浪士追討御印状巡廻文写帳～	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	35
6月29日(日)	変体仮名に親しもう ～十返舎一九『続膝栗毛』を読む～	花岡康隆 (当館学芸部文献史料課)	33
7月27日(日)	近現代の書簡を読んでみよう ～考古学者・藤森栄一の書簡と原稿～	黒岩 隆 (当館学芸部文献史料課)	29
8月24日(日)	江戸時代の地方文書を読もう① ～和田峠砥澤口戦闘日記～	新井寛子 (当館学芸部文献史料課)	30
10月26日(日)	江戸時代の地方文書を読もう② ～和田峠砥澤口戦闘日記～		26

計 153 人

古文書講座 計 1,086 人

4 考古学セミナー

考古学セミナーは、長野県考古学会との共催事業と位置付けられている。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
令和7年6月1日 (日) 13:30～15:30	考古学セミナー1 講演会 「考古学の可能性を探るー岐阜県立 関高等学校の授業とフィールドワー ク」 パネルディスカッション 「地域で考古学をともに学ぶ」	林 直樹 氏 (岐阜県立関高校教諭) 林 直樹 氏 大竹 幸恵 氏 (日本考古学協会副会長) 堤 隆 氏 (長野県考古学会副会長・日本旧石器学会長)	70

本考古学セミナーは、長野県考古学会、明治大学黒耀石研究センターと共催。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
令和7年11月30日 (日) 13:30～15:30	考古学セミナー2 弥生講座「弥生時代研究の最前 線！」 講演会 「今、ここが面白い 弥生時代の信 州」 パネルディスカッション	石川 日出志 氏 (明治大学名誉教授、日本考古学協会会長) 石川 日出志 氏 馬場 伸一郎 氏 (長野県埋蔵文化財センター調査第二課長) 堤 隆 氏 (長野県考古学会副会長、明治大学特任教授)	72

計 142人

5 近世史セミナー

信濃史学会、信州近世史セミナー、長野県立歴史館の主催として実施。「近世の由緒」をテーマに、2名の発表があった。

日 時	テーマ	講 師	参加者数
12月6日(土) 13:10～14:00	研究発表 1 「武士の家宝」を伝える「由緒」	山崎 会理 氏 (須坂市立墨坂中学校教諭)	31
12月7日(土) 14:05～15:25	研究発表 2 「市河家による系図の作成と文書群の継承」	西川 広平 氏 (中央大学教授)	

計 31人

6 講習会

(1) 考古資料保存技術講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
第1回 1月28日(水)	『考古資料の整理・収納に向けた、 取り扱いと保管・管理方法』	杉木 有紗 白沢 勝彦 (当館学芸部 考古資料課)	第1回
第2回 3月6日(金)			9
いずれも 10:00～15:00			第2回 14

計 23 人

(2) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会

月 日	テーマ	講 師	参加者数
6月19日 12:40～15:30	第1回講習会:駒の里ふれあいセンター テーマ「中山道望月宿の町並みについて」 講演会「中山道望月宿の町並みについて」 巡見 望月宿	福島 邦男 氏 (元佐久市教育委員会)	46
10月25日(金) 13:00～16:00	第2回講習会:長野県立歴史会議室 テーマ「市町村における映像資料の保存と公開」 基調講演「市町村における映像資料の保存と公開」 事例報告「安曇野市文書館の映像資料の保存について」	相川 陽一 氏 (長野大学教授) 松澤 果穂 氏 (安曇野市文書館)	33
1月29日(木) ・30日(金) 各10:00～15:00	第3回講習会:長野県立歴史館遺物整理室 テーマ「和本四ツ目綴じの修復実習」 実技講習「和本四ツ目綴じのメモ帳づくり」	柳沢 磨三代 氏 (県立長野図書館) 酒井 田鶴子 氏 (県立長野高校図書館司書)	31

計 110人

7 イベント

日時	テーマ	内 容	参加者数
5月5日	歴史館でこどもの日	プラ板マスコットづくり	147
8月1日	考古学チャレンジ教室	縄文人になろう	38
8月3日	歴史館で夏休み	縄文人になろう	83
		歴史発見隊☆これ、なーんだ？	104
11月23日	須坂市民の日関連	長野電鉄沿線図の鳥瞰図	75
12月1日	縄文風クリスマスリースを作ろう	クリスマスリースづくり	27
1月18日	KOAの日関連	プラ板マスコットづくり	25
		縄文人になろう	181
3月20日	親子映画会	「金太郎」「宝の下駄」ほか	269
3月21日		「桃太郎」「豆つぶころころ」ほか	124
3月22日		「三年寝太郎」「ひょうたん長者」ほか	281
合計			1,354

8 展示解説

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
学校数	6	46	74	25	7	15	22	13	3	2	2	0	215
一般団体数	2	4	3	7	9	3	13	3	2	0	1	3	50
計	8	50	77	32	16	18	35	16	5	2	3	3	265

9 学校との連携

(1) 長野県総合教育センターへの研修協力（7月8日）

- ・研修講座〔地域素材の教材化Ⅱ～県立歴史館を活用した教材研究～〕
- ・演習「県立歴史館の資料を用いた地域の歴史の教材化」で教材化の相談に応じた。
- ・受講者 24 名。

(2) 信州大学学芸員資格取得講座の開設（9月5日、2月10日、2月13日）

- ・9月4日博物館資料論（工学部）29名、2月10日博物館資料保存論（工学部）18名、2月13日博物館情報・メディア論（人文・理・工学部）44名。

(3) お出かけ歴史館事業の実施

- ・実施した学校数：2校3講座、公民館数1館1講座、実施人数186名。詳細は以下の通り。

① 令和7年9月5日 阿南第一中学校

対象：中学校1年生 26名

内容：縄文人になろう

担当：町田、中山

② 令和7年10月26日 木祖村文化祭

対象：一般 120名

内容：縄文人になろう

担当：町田、初見

③ 令和7年12月18日 阿智第一小学校

対象：小学生4年生 20名

内容：縄文人になろう

担当：町田、小林

④ 令和8年2月6日 阿智第一小学校

対象：小学生6年生 20名

内容：縄文人になろう

担当：町田、黒川

10 博物館実習

- ・実習期間

8月22日(木)～9月2日(火)

*8月25日(月)、9月1日(月)を除く10日間

- ・実習生 8名

- ・内 容 考古資料の収集・整理・保存、文献史料の収集・整理・保存、展示の実務、文化財の取り扱い、展示の設計、展示解説、広報、資料閲覧・図書の実務、特別館長講話、課題討論「期待する長野県立歴史館像」
他

11 インターンシップ

本年度は申し込み無し。

12 職場体験学習

(1) 中学生による職場体験学習 (3校、5名)

○ 7月3日、4日(2日間) 千曲市立更埴西中学校2年生(1名)

○ 7月29日、30日(2日間) 長野市立川中島中学校2年生(2名)

○ 10月10日(1日間) 長野市立篠ノ井西中学校2年生(2名)

(2) 高校生による就業体験学習 (2校、7名)

○ 7月31日(1日間) 長野県屋代高等学校1年生(5名)

○ 8月7日、8日(2日間) 長野県屋代南高等学校2年生(2名)

(3) 社会人研修 (2校、2名)

○ 7月29日、30日(2日間) 千曲市立東小学校教員キャリアアップ研修Ⅱ(1名)

○ 9月25日、26日(2日間) 長野県飯山高等学校教員キャリアアップ研修Ⅱ(1名)

13 サークル育成活動

○ 古文書愛好会 (1)～(5)参加合計 697名

(1) 特別講演会

①日時 4月26日(土)

②内容 「人生の楽しみに古文書を！～読みたいあなたへの処方箋～」

講師 村石正行(文献史料課長)

③参加者数 82人

(2) 館蔵文書を読む会

①日時 5月29日(木) 33名 6月26日(木) 33名 7月24日(木) 31名

8月21日(木) 31名 9月25日(木) 32名 10月23日(木) 31名
11月20日(木) 24名 12月18日(木) 29名

- ②内容 関川千代丸収集文書
「松前記行漫録 戊・己」
③参加者数(延べ人数) 244名

(3) 古文書探訪会

- ①日 時 10月9日(木)
②テーマ 「中山道・宿場を巡る旅」
③目的地 望月歴史民俗資料館・大澤酒造民俗資料館・一福処濱屋・和田宿本陣
④参加者数 28名

(4) 古文書演習

- ①演習史料 佐久郡長土呂村角田家資料
②演習Ⅰ 夏季(13:00～16:00)
5月24日(土) 20名 6月28日(土) 15名 7月26日(土) 18名
8月23日(土) 19名 9月27日(土) 13名
③演習Ⅱ 冬季(9:30～15:30)
令和8年(2026年) 1月16日(金) 15名 17日(土) 14名 18日(日) 14名
23日(金) 11名 24日(土) 13名 25日(日) 11名 30日(金) 10人
31日(土) 13名 2月1日(日) 12名 6日(金) 12名 7日(土) 14名
8日(日) 14名 13日(金) 8名 14日(土) 19名 15日(日) 15名
20日(金) 10名 21日(土) 12名 22日(日) 13名
④参加者数(延べ人数) 演習Ⅰ 85名 演習Ⅱ 230名

(5) 総会・研修講演会

- ①日 時 2月22日(土)
②総会議題
・令和7年度古文書愛好会事業報告・同古文書愛好会会計報告
・令和8年度古文書愛好会事業計画案・同古文書愛好会予算案
③研修講演会 「更埴地域の和歌文化―西の羽柴千句・東の三十六歌仙板絵―」
講師 千曲市歴史文化財センター 中島丈晴氏
④参加者数 28名

14 ボランティア活動

(1) 全体的な活動等

- ① 総会の開催 開催。
② 保険の加入 5回にわたり手続きした。保険適用は無かった。
③ 募 集 ホームページ、エントランスにちらし設置等
④ 名簿作成 ボランティア会員数

		体験	解説	作業	合計(延数)	実数
年度当初数(人)	4/1	25	14	44	83	59
年度末数(人)	3/31	27	14	51	92	72

⑤ 招待券等の送付

例年、会員への内覧会を秋企画展より再開し始めた。

⑥ ボランティアルームの管理

(2) 解説ボランティア活動

① 一般客への展示解説 「日曜解説」

- ・実施日 毎週日曜日と祝日（通年）72日（実施日数）
- ・実施時間 午前 10:30～12:30 午後 1:30～3:30（1～2月 は 1:00～3:00）
- ・解説人数 午前・午後ともに 1～2 名
- ・解説方法 展示室で適宜声がけをしながら行った。

② イベント時における展示解説と監視

歴史館で子どもの日・歴史館で夏休み・須坂市民の日・企業協賛の日（KOA の日）は、監視も兼ねて解説をしていただいた。

③ 研修 日曜解説研修（研修者の都合に合わせて実施）、自主研修ほか。

(3) 体験ボランティア活動

- ・こどもの日のプラ板づくり、歴史館で夏休みの日のプラ板づくり、クリスマスリースづくり、KOAの日のプラ板づくりで活動を行った。
- ・コロナ感染症等の拡大防止を考慮し、今年度も参加者が密になる勾玉づくりは行わなかったが、来年度より歴史館で子どもの日に再開できるよう準備する。

(4) 作業ボランティア活動

① 活動内容 ※開館日に活動

- ・木製品保存処理 ※実施日（延べ人数）：135日（4月～3月） 実会員：19名
- ・文献史料整理（目録作成のパソコン入力やラベル貼り）
※実施日（延べ人数）：221日（4月～3月） 実会員：21名
- ・図書整理 ※実施日（延べ人数）：38日（4月～3月） 実会員：5名

② 運営等 それぞれ考古資料課、文献史料課、総合情報課で連携し、運営した。
参加者の減が見られ、新登録者も単年で辞められる方が一定数いる。

15 博物館関係職員等研修会

1 趣 旨

博物館等の運営に携わる職員等を対象に博物館が直面する諸問題について研修を行い、関係職員の資質の向上と交流を図り、県内博物館活動の促進に資する。

2 主 催

長野県県民文化部文化振興課、長野県博物館協議会

3 期 日

令和8年2月19日（木）・2月20日（金）

4 会 場

長野県立歴史館

5 参加対象者

博物館（公立・私立博物館、歴史民俗資料館、考古資料館）等職員
県民文化部文化振興課職員

市町村文化財博物館担当職員

県文化振興事業団職員（埋蔵文化財センター、創造館、文化会館等）

6 内容・日程

令和8年2月19日（木） 1日目

内容

・講演会①

演題 「魅力的な展示とDXの事例」

講師 石河 孝浩 氏（株式会社丹青社 デザインセンター文化・交流空間デザイン局
名古屋デザイングループ グループ長）

・連絡説明

演題 「登録博物館、公開承認施設、県政150周年」

講師 布施 直樹 氏（長野県県民文化部文化振興課文化企画係係長）

令和8年2月20日（金） 2日目

・講演会②

演題 「地域のなかの博物館～美濃加茂市民ミュージアムの事例から～」

講師 可児 光生 氏（美濃加茂市民ミュージアム館長）

・物味湯産手形について

講師 森本忠則 氏（一社 長野県観光機構）

・実務研修

A グループ 古文書・軸に関わる講義・実務 場所：第1研修室、休憩室

講師 長野県立歴史館職員（村石正行、林誠）

B グループ 土器・石器の扱い実務 場所：遺物整理室

講師 長野県立歴史館職員（町田勝則）

7 参加者数

1日目 68名（含む県文振課3名、丹青社3名、当館職員7名）

2日目 62名（含む県文振課1名、丹青社2名、当館職員8名）

計 130名

IV 共催事業等

月 日	共催事業	共催団体	参加者数
6月1日, 11月30日	考古学セミナー	長野県考古学会	142
12月6日	近世史セミナー	信濃史学会, 近世史セミナー	31
6月19日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会①	長野県史料保存活用連絡協議会	46
10月31日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会②	長野県史料保存活用連絡協議会	33
1月29・30日	長野県史料保存活用連絡協議会講習会③	長野県史料保存活用連絡協議会	31
5月～12月	古文書愛好会 館蔵文書を読む会 (8回)	古文書愛好会	244
10月9日	古文書愛好会 古文書探訪会	古文書愛好会	28
5月～2月	古文書愛好会 古文書演習 (23回)	古文書愛好会	315
4月26日	古文書愛好会 講演会	古文書愛好会	82
2月22日	古文書愛好会 総会講演会	古文書愛好会	28
7月8日	総合教育センター研修	長野県総合教育センター	24
9月4日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館資料論)	信州大学	29
2月10日・21日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館資料保存論)	信州大学	18
2月13日	信州大学学芸員資格取得講座 (博物館情報・メディア論)	信州大学	44
2月19・20日	博物館関係職員等研修会	長野県博物館協議会	115
2月7日～3月8日	中央日本4県文化財交流展示	長野県・山梨県・静岡県・新潟県	593

1, 803

16 出前講座

(1)県立歴史館出前講座 ※再掲 p42参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
6月28日	箕輪町郷土博物館	古代道路の構造と長野県内の遺構	23	白沢勝彦
9月27日	大桑町歴史民俗資料館	観光パンフレットにみる昭和戦前の信州	15	林誠
11月1日	阿南町化石展示館	南信州の原始・古代～阿南町編～	12	町田勝則

50

(2)お出かけ歴史館事業 ※再掲 p48参照

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
9月5日	阿南第一中学校	縄文人になろう	26	町田・中山
10月26日	木祖村社会体育館	縄文人になろう	120	町田・初見
12月18日	阿智第一小学校	縄文人になろう	20	町田・小林
2月6日	阿智第一小学校	縄文人になろう	20	町田・黒川

186

(3)その他

月 日	派遣先	内 容	参加者数	職員
4月19日	長野市若穂支所	室町・戦国時代の河東地域における武士の動向について	60	花岡康隆
5月8日	市立長野高校	黒曜石に焦点をあてて紐解く縄文時代	33	大竹憲昭
5月27日	長野ホテル犀北館	考古資料で紐解く信州の原始社会	37	水澤教子
6月6日	松代公民館	南北朝動乱期の北信濃	31	花岡康隆
6月19日	市立長野高校	平安時代	27	黒川稔
7月10日	市立長野高校	戦国時代	32	花岡康隆
8月1日	長野市松代公民館	高野辰之のふるさと	28	鈴木幸香
9月20日	上田図書館	南北朝動乱と東・北信地域	35	花岡康隆
9月27日	永昌寺	民衆たちの戦国合戦	24	花岡康隆
10月10日	若槻公民館	観光パンフレットによる戦前の信州	40	林誠
10月18日	上田図書館	室町・戦国時代における海野氏の動向について	37	花岡康隆
10月18日	安曇野市豊科交流学习センター	三郷の自然を学び楽しもう！黒沢洞合自然公園・調整池・リンゴ	46	小林寿英
10月21日	長野市若穂公民館	江戸時代の武士像	14	中山敦
10月24日	松山株式会社本社ホール	150年前の長野県	130	新井寛子
10月26日	永昌寺	村上義清の実像	28	村石正行
10月30日	氷鉋老人福祉センター	屏風にみる川中島合戦	19	黒川稔

11月3日	森將軍塚古墳	シナノの古墳	30	櫻井秀雄
11月15日	座光寺公民館	室町～戦国時代の座光寺氏-松岡氏との関係を再考する-	55	花岡康隆
11月15日	豊科交流学習センター	播磨上人を槍ヶ岳に案内した南小倉の中田又重	40	小林寿英
11月24日	安曇野市穂高会館	謎の善光寺仏師・妙海を追う	50	小林寿英
12月5日	ゆーぱれあ	弥生時代の玉つくり-北信濃での可能性-	6	黒岩隆
12月21日	豊科交流学習センター	安曇野の郷土料理やしょうまを作って食べよう	49	小林寿英
12月20日	望月駒の里ふれあいセンター	ラクダが岩村田宿を通る～文政7年源海日記をひ	44	村石正行
1月14日	上田市立第四中学校	学芸員の仕事を学ぼう	16	初見俊輔 町田勝則
2月19日	あがたの森	小笠原氏から見る松本の歴史-鎌倉～戦国期-	20	花岡康隆
2月21日	森將軍塚古墳館	古墳時代の祈り	40	櫻井秀雄
2月21日	静岡労政会館ホール	仙石秀久の生涯	98	村石正行
3月15日	追分郷土館図書室	古典落語と日記	22	村石正行
3月26日	圓山荘	縄文時代の千曲川のサケ・マス漁	51	水澤教子

1, 142

V 出版

1 長野県立歴史館たより

- (1) 夏号 vol. 123 表紙 県宝 妙海「月光菩薩像」(安曇野市光久寺蔵)

令和7年6月1日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：

「夏季企画展 安曇野～知られざる里山の祈り～」、「常設展示紹介」、「研究の窓 土器文様に見られる地域性」、「研究に窓 新出 織田信長朱印状と大塚又一郎」、「インフォメーション 2025年6月～9月の行事予定」、「行事アルバム」

- (2) 秋号 vol. 124 表紙 千曲市屋代遺跡群の木製人形(当館蔵)

令和7年8月28日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：

「秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具にみる古代の祈り～」、「文献史料をよむ 水戸浪士追討軍と信州の人々～「浮浪士追討御印状并廻文写帳」、「考古資料をよむ 黒曜石の表面に観察された「運搬痕」、「夏季展 安曇野～知られざる里山の祈り～をふりかえって」、「冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～」、「インフォメーション 2025年(令和7年)9月～12月の行事予定」、「行事アルバム」

- (3) 冬号 vol. 125 表紙 小菅神社 奥社入口鳥居

令和7年11月28日発行 A4判、84頁(オールカラー)

主な内容：

「冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～」、「考古資料を読む 米山一雅寄贈資料の紹介－長野市松代 竹原笹塚古墳出土の馬具について－」、「文献史料を読む 渡辺直樹収集日本農民組合・連合青年団関係資料より 二百万人の勝利－浅間山米軍演習地化反対運動史－「浅間山米軍演習地化絶対反対署名」」、「研究の窓 2026年(令和8年)長野県立歴史館所蔵品展 長野県民の戦後再出発」、「長野立歴史館のボランティア活動について」、「インフォメーション 2025年12～2026年3月の行事予定」、「行事アルバム」

- (4) 春号 vol. 126 表紙 東京ブギウギ SPレコード・戦争放棄(新しい憲法のはなし)・信州青年の歌・児玉勝子の日記・ゼロ戦スピナー転用バケツ・米軍投下ビラ①②(全て当館蔵)

令和8年2月13日発行 A4判、8頁(オールカラー)

主な内容：

「令和8年を迎えて」、「考古資料を読む 壺Gと分類される須恵器の謎」、「令和8年長野県立歴史館所蔵品展 長野県民の再出発」、「研究の窓 県宝「長野県行政文書」にみる近代長野県における稟議書の成立」、「インフォメーション 2026年3月～6月の行事予定」、「行事アルバム」、「開館カレンダー、イベント・講座、企画展示」

2 研究紀要

『長野県立歴史館研究紀要』第32号 令和8年3月31日発行、A4判、178頁、PDF

<内容>

口絵・資料紹介

松本藩士野々山家文書

村石 正行

◇研究報告

竜神としての師子頭－水神の役割を負う師子－

笹本 正治

長野県域出土耳環の集成

水科 汐華

仙石秀久発給文書の基礎的研究

村石 正行

明治四一年の長野県庁火災と公文書

花岡 康隆

壺形土器の胎土分析

水沢 教子

◇研究ノート

鎌倉～室町期における信濃香坂氏の動向について

花岡 康隆

『長野県史』掲載の「伝入山峠出土」の子持勾玉について－「伝入山峠出土」の子持勾玉は存在しなかった－

櫻井 秀雄

◇資料紹介

小諸市宮ノ反 A 遺跡群出土の動物骨

櫻井 秀雄

千曲市更埴条里遺跡の竪穴住居跡から出土した牛歯について

櫻井 秀雄

職員執筆抄・研究活動

<内容>

はじめに（笹本正治）、原伊市のスケッチブック（鈴木幸香）、両沢充子日記（鈴木幸香）、満洲国協和会関係資料（花岡康隆）、戦後ブラジル移民関係史料（鈴木実）、赤羽刀（林誠）、GHQ返還文書（花岡康隆）、長野県連合青年団関係資料①（黒岩隆）、長野県連合青年団関係資料②（鈴木実）、児玉勝子史料（鈴木幸香）、主要参考文献一覧

3 ブックレット

(1) 『信濃の風土と歴史 30』

長野県立歴史館所蔵品選 第2弾 第2巻

近現代 長野県民の戦中・戦後』

令和8年3月6日発行、B5判、40頁、500円

VI 閲覧・情報提供

1 図書等資料

(1) 図書資料数 ※

(単位：冊)

区 分	図書	逐次刊行物	図録	県内遺跡報告書	小計
自館制作	1	4	3	0	8
購 入	44	228	1	0	273
寄 贈	314	860	392	51	1,617
令和7年度計	359	1,092	396	51	1,898
図書資料数(累計)	42,854	51,526	8,582	26,622	129,584

※年次別図書資料数は受入数を計上

(2) 公開用雑誌製本

雑誌製本 8件 改装製本1件

(3) 映像資料

購入DVD 0本、寄贈DVD 7本

寄贈CD-ROM 0本

累計 137本

2 情報提供

(1) レファレンス

178 件(お問い合わせフォーム・電話・閲覧室)

(2) ホームページアクセス数

106,319 件

VII 調査研究

1 調査研究の体制と内容

(1) 趣 旨

歴史館の運営及び事業を行うため、歴史館職員として必要な専門的な知識・技術等の向上を図ることを目的とする。

(2) 体 制

学芸部全職員による学芸研究会および原始、古代・中世、近世、近現代の各時代担当者による時代別研究会によって構成する。

(3) 内 容

史資料の収集・整理、常設展示・企画展示、本館主催の各種講座等の実施に関わる事項および今後の歴史館の運営及び事業を行うために必要と思われる事項について調査研究を進める。

2 学芸研究会

歴史館学芸部職員の職務能力の向上をはかるため、下記のとおり学芸研究会をおこなった。

第1回（5月28日）

○特別館長講話 歴史研究の方法 「長野県の獅子と役割」 笹本 正治

第2回（6月18日）

○各自研究テーマ発表

第3回（7月31日）

○各自研究テーマ発表

○なぜ私たちは「史料」を集めるのか～県立歴史館の立ち位置とこれから～ 村石 正行

第4回（8月27日）

○明治41年の長野県庁舎火災と公文書 花岡 康隆

第5回（10月30日）

○野尻湖遺跡群における後期旧石器時代初頭期の石器群について 大竹 憲昭

第6回（10月29日）

○弥生時代中期の北信濃における玉づくりの可能性

～中野市南大原遺跡の事例を中心として～

黒岩 隆

○長野県域における古墳時代後期の耳環出土状況

～集成からみた地域的特徴～

水科 汐華

第7回（11月26日）

○霊場小菅の歴史と景観

黒川 稔

○水戸浪士追討軍の動向と民衆

新井 寛子

第8回（12月17日）

○中山晋平と竹久夢二によるピース楽譜

林 誠

○石造建造物および青銅器の保存修復から考えること

～カンボジア・アンコール遺跡群／中国・三星堆遺跡群の事例

白沢 勝彦

第9回（1月29日）

○R8 冬季企画展「古代人の役人と庶民 こうだったんじゃないか信濃の国」にむけて

町田 勝則
櫻井 秀雄

○「伝入山峠出土」の子持勾玉を探して

第10回(2月25日)

○長野県の冬のスポーツについて

初見 俊輔

○歴史館における企画展運営について

中山 敦

小林 寿英

第11回(3月18日)

○奥信濃の祭り～野沢温泉村 道祖神祭りのこれから～

鈴木 幸香

○壺形土器の胎土分析とその課題

水澤 教子

3 時代別研究会

(1) 令和7年度 時代別所属者名(●代表 ○主管)

	学芸部長	総合情報課	考古資料課	文献史料課
原 始		●町田 勝則 初見 俊輔 水澤 教子	○櫻井 秀雄 大竹 憲昭	
古 代 中 世		○水澤 教子 飯島 公子 ●黒川 稔	杉木 有紗	花岡 康隆 村石 正行
近 世		中山 敦 ●小林 寿英	白沢 勝彦	○村石 正行 新井 寛子
近現代	○新津 尚治	●林 誠 鈴木 幸香		黒岩 隆 花岡 康隆

(2) 時代別研究会の主な業務

- ① 常設展示内容の検討
- ② 常設展示のリニューアルに向けての検討
- ③ 講座発表の検討
- ④ 企画展に関する検討
- ⑤ 収蔵史資料の調査・研究
- ⑥ ブックレット原稿の検討

VII 資料の収集・整理・保存

1 資料収集の方針

(平成3年6月建設委員会決定)

(1) 資料収集の基本方針

資料収集は歴史館にとって基本的な機能であり、その規模と質が歴史館の機能を左右することにつながっている。したがって、資料収集は長期的計画的に行うとともに、開館にむけて短期的課題として集中的な対応が必要である。

次の諸点に留意し、資料収集に当たるものとする。

① 資料保存体制の整備

歴史館は埋蔵文化財資料と文献史料を収集保存し、調査研究と活用を図る機関である。そのためには、県内の資料保存問題に深く留意するとともに、資料の分布調査、整理、保存、公開等のための措置と体制を長期的計画的に整備する必要がある。

② 既存諸機関との関係

県内市町村の歴史資料館等既存の類似施設や諸機関は、それぞれ歴史的背景をもち、多くの成果をあげている。歴史館はこれらの諸機関を十分尊重し、友誼的關係を結び、相互に協力しつつ資料保存整備に当たることが重要である。

③ 資料所蔵者との関係

資料は、県民の理解を得て寄贈寄託を図ることが望ましい。その際、所蔵者との信頼関係を長期にわたり維持発展させていくことが重要である。なお、商品として市場にある資料などは、必要なものを機を失せず購入することが望ましい。

④ 歴史情報システムの整備

歴史館は、郷土や地域の歴史についての情報の収集、提供を行う。そのため、収蔵資料情報以外にも、県内外資料情報、歴史情報、各種目録等を長期的計画的に収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る必要がある。

(2) 資料収集の具体的方針

① 収集資料の種類

(a) 保存用資料

埋蔵文化財資料、行政文書、古文書など歴史的に重要であり、保存、収蔵していること自体に意味があるもの。歴史館としての評価はこの部分の規模と質によって決まる。

埋蔵文化財調査及び、県史編纂の過程で収集した資料を中核としながら、寄贈、寄託、購入などによっても収集を図る。

(b) 展示用資料

常設展示や企画、巡回、特別展示などに必要な資料

で、歴史館所有保管にならないものも含み、借用、複製、購入などによって収集を図る。

(c) 研究用資料

教育普及、情報提供や長野県の歴史、郷土に関する調査研究など、館内または外部研究者、来館者の学習、研究上必要な資料を収集する。

(d) 歴史情報資料

諸学会、研究団体、歴史民族資料館などが所有する地域史史料の情報、地域史研究に関わる歴史情報などを収集し、総合的、有機的に利用できるよう、コンピュータによるデータベース化を図る。

② 収集資料の範囲

(a) 歴史館は、考古館及び文書館施設としての性格をもった歴史博物館の施設である。従って収集対象とする資料の時代的範囲は、原始から現代に及ぶものとする。

(b) 収集資料の地域的範囲は、おおむね現在の県域を中心とする。しかし、長野県は東西文化の結節点に位置し、東西交流はもとより太平洋側と日本海側を縦断する南北交通の要衝にあり、本県に関連する重要資料は、全国に存在しているため必要に応じて全国的視野からの収集を考慮する。

(c) 歴史館は、長野県に関する埋蔵文化財資料及び文献史料の収集を主とするが、それ以外にも下記のような展示、調査研究等に活用できるものを中心に可能な限り収集する。

ア 信濃の歴史的変遷や生活風土の諸相を示す資料

イ 美術工芸品で長野県に関係が深く展示テーマに合致する資料

ウ 各時代の生活の特色を示す生活民俗資料

エ 地域史研究に役立つ文献以外の諸資料（地名、地図、伝承、風俗、地割等）

③ 資料収集の方法

(a) 資料は、埋蔵文化財センター、信濃史料刊行会、長野県史料刊行会、長野県立図書館などで収集された資料の移管、委譲をはじめ、県民の理解を得て寄贈、寄託が望ましい。そのため、早くから広報活動を行い、必要な資料については、購入、複製収集などに当たる。

(b) 寄贈、寄託、購入などに当たっては必要に応じ専門家の意見を聞くものとし、取扱いについては別途定める。

(c) 本館の活動が、県内市町村の歴史資料館等類似施設の活動に不安を与えることのないように配慮する。資料は、現地保存、現地公開、現地利用を原則とし、寄贈、寄託等を受けるに当たっては、所蔵者との交渉のみならず市町村の了解を得ることが望ましい。これらの諸機関との友誼的關係にたつて収集に当たる。特に歴史的価値が高いもので、

ア 市町村において保存、整理、公開の対応ができないもの

イ 資料散逸の危機性が高く、早急な対応が必要なもの

については優先的に対応する。

(d) 資料収集は、県内の所在資料について詳細な調査を進めるとともに、県外所在資料についても順次調査を行う中で系統的長期的に行う。資料の選択と評価にあたっては、個人的、時代的な価値判断に陥らないよう、十分留意するものとする。

(e) 県内における文献史料の所在、分布調査等を行うため、資料調査員制度を設ける。

(f) 歴史的に重要な行政文書等の収集・保存を組織的系統的に行う。

(3) 寄贈・寄託

なし

2 展示資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	製作・購入	移管	寄贈	寄託	計
令和7年	1	0	1	0	2

(2) 製作・購入・移管資料の内訳

満願寺蔵「十王石仏」背面銘拓本 1幅 近世（1626年）

(3) 寄贈

品名	員数	時代	備考
昭和十三年六月 関西関東方面修 学旅行便覧 上 田中学校	1冊	近現代	戦前の旧制中学校の修学 旅行資料

(4) 寄託

なし

(5) 修復

なし

3 考古資料

(1) 収集資料数（件）

区 分	購入	移管	寄贈	寄託	計
令和7年	0	0	0	0	0

(2) 購入・移管資料

なし

(4) 保存処理・修復・科学分析

- ・館蔵脆弱資料のうち劣化が深刻な資料に対して、集中的な保存処理を継続実施。
- ・当県の歴史の研究のために、当館の設備を用いて必要とされる科学分析を実施した。
- ・県内市町村教育委員会、並びに長野県埋蔵文化財センター（今年度、研修派遣職員1名の実働）への必要な技術協力を行った。

項 目		内 容		件 名 ・ 資 料 名	処理点数	状 況	所 管
木 器	保存 処理	大型 木器等 PEG処理 槽一括 処理	P E G 法※1	第39シリーズ (川田条里遺跡他)	154	完 了	当 館
				第40シリーズ (川田条里遺跡)	332	完 了	当 館
				第41シリーズ (川田条里遺跡)	303	継 続	当 館
				第42シリーズ (川田条里遺跡他)	302	継 続	当 館
				第43シリーズ (川田条里遺跡)	311	継 続	当 館
				第44シリーズ (川田条里遺跡)	308	継 続	当 館
			(トレハロース法)	榎田遺跡	2	継 続	当 館
		合 計				1,712	
土 器 ・ 金 属 器	保存処理・修復		下り松遺跡出土縄文土器（技術協力）	1	完 了	中川村歴史民俗資料館	
			外不動五号墳・大道上遺跡出土金属器 (技術協力)	8	完 了	小布施町歴史民俗資料館	
			松本市真光寺遺跡出土鉄器（技術協力）	65	完 了 (研修派遣職員)	長野県埋蔵文化財センター	
			大室古墳・中原遺跡出土金属器(再処理)	80	継 続	当 館	
科 学 分 析	赤外線観察		江戸期碁石壺底面の墨書	1	完 了	長野市立博物館	
			板絵著色観音三十三身図（墨線）	15	完 了	当館総合情報課	
	X線透過観察		芳泉寺阿弥陀如来立像	1	完 了	上田市教育委員会	
			西塚田遺跡出土鹿角装小刀	1	完 了	佐久市文化財係	
			穂高古墳群A6・G1号墳 出土馬具（鉄地金銅張り）	4	完 了	安曇野市教育委員会	
			松本市：[真光寺・南栗・安塚]遺跡 長野市：長沼城跡・川田条里遺跡 中野市：南大原遺跡 飯田市：川原遺跡 <7遺跡出土金属器>	1,057	完 了 (研修派遣職員)	長野県埋蔵文化財センター	
		蛍光X線分析		穂高古墳群A6・G1号墳 出土馬具（鉄地金銅張り）	4	完 了	安曇野市教育委員会
			外不動五号墳出土土金具類	1	完 了	小布施町歴史民俗資料館	
	分 析 合 計				1,084		
脆弱資料の取り上げ			屋地遺跡出土鹿角製品（技術協力）	1	完 了	長野市埋蔵文化財センター	
			水内坐一元神社遺跡出土 弥生人骨・中世曲物（技術協力）	3			
保存処理・観察・分析・修復・環境管理等の問合せへの回答					26件	17 市町村・県埋蔵文化財センター	

※1 ポリエチレングリコール処理を実施したもの（最終的にポリエチレングリコールを100%まで浸漬）。

4 文献史料

(1) 行政文書

① 収集

ア 特定歴史文書 情報公開・法務課より

2025年度移管分 665件819冊(紙:800冊 電子:19冊)

2024年度廃棄不適当分 266件277冊(紙:277冊 電子:なし)

イ 行政資料 268件458冊(長野県の行政刊行物等)

ウ 県報 122件(令和7年1月～令和7年12月分を製本)

② 整理数・整理作業

ア 整理数 行政文書 3,390冊 行政資料 277冊

イ 整理作業 保存箱作成、金属除去、ラベル貼り

③ 公開

ア 特定歴史公文書

2024年度移管分 3,401冊(うち利用制限なし630冊 要審査2,771冊)

イ 行政資料(2024年度移管分) 290冊

ウ 県報 6冊120件(令和6年1月～12月)

エ その他

官報 139冊(昭和12年～昭和22年)

議事録(帝国議会・国会) 268冊(明治24年～昭和42年)

英文議事録(帝国議会・国会) 14冊(昭和21年～23年)

官報資料版 41冊(昭和39年～平成15年)

⑤ 行政利用(行政職員等による行政文書の利用)

特定歴史公文書 11人13件91冊

⑥ 特定歴史公文書の利用請求 なし

⑦ その他

ア 近代行政文書のデジタル撮影(業者委託) 50冊(明治6年:37冊、昭和元年:13冊)

(2) 近現代資料

① 収集・整理

G-70「熊谷家資料(追加分)」など12件を収集(受贈対応)した。

資料番号	資料名	点数
G 70	熊谷家資料(追加分)	26点
G 72	窪田家資料(追加分)	(一括)
G 76	黒田家史料	8点
G 77	長野県近代史研究会資料	62点
G 78	松本市丸山次夫資料	(一括)
G 79	武田家資料	57点
G 80	南佐久傷痕軍人会会計資料	(一括)
G 81	長野県短期大学資料 : 提供	(一括)
G 9	蚕業センター資料(追加分) : 移譲	33点
G 82	諏訪郡湊村濱家資料	(一括)
G 83	諏訪郡富士見村小川家資料	(一括)
G 84	西山克己寄贈資料	(一式)
G 85	軽井沢大日向戦後開拓坂本家資料	(一括)

聞き取り調査

長野県現代史（行政分野・文化分野）の証言、2件の調査を行なった。

分類	対象者・話者	立場・職等	内容	調査日	録音
証言	丸山徹一郎氏	元高校教諭・長野県教育委員会事務局文化課指導主事・埋蔵文化財係長・長野県埋蔵文化財センター調査部長ほか	高度経済成長期・長野オリンピック前の高速交通網整備期の長野県の文化財行政について。	11/13	有
証言	関 孝一氏	元高校教諭・長野県教育委員会事務局埋蔵文化財係指導主事・係長・長野県埋蔵文化財センター中野調査事務所長・長野県立歴史館学芸部長	高度経済成長期・長野オリンピック前の高速交通網整備期の長野県の文化財行政、長野県初の歴史系博物館の黎明期について。	2/26	有

目録の公開

近現代資料で12件（うち、昨年度以前整理済6件）15,565点の目録を公開した。

資料番号	資料名	入力点数
G0 8	若林忠一史料	(2009・09 寄贈) 1,441点
G 5	日本農民組合長野県連合会資料	(1997 寄贈) 368点
G 9	蚕業センター資料	(2007 寄贈) 4,466点 (2025 移譲) 33点
G 10	養蚕・製糸関係資料	(2007 寄贈) 319点
G 51	日本測定器株式会社疎開資料（追加分）	(2025 寄贈) 2点
G 54	鎌田廣忠収集資料	(2022 寄贈) 194点
G 62	旧望月町社会教育・住民運動関係資料	(2023 寄贈) 53点
G 64	宮入芳春資料	(1996 寄贈) 171点
G 67	渡辺直樹収集日本農民組合・連合青年団関係資料	(1997 寄贈) 8,422点
G 70	熊谷家資料（2025 追加分含む）	(2025 寄贈) 26点
G 76	黒田家史料	(2025 寄贈) 8点
G 77	長野県近代史研究会資料	(2025 寄贈) 62点

計 15,565点

（うち昨年度以前整理済6,959点）

② 保存

ア 長野県史写真等 35mm モノクロフィルムの原版クリーニング・複製製作
 継続事業（業者委託） 諏訪郡 No.2393～No.2475（複製作成 83本）
 上伊那郡No.1～421 （複製作成 421本）
（計 504本）

イ 長野県立歴史館所蔵 16mm フィルムのデジタル化
 新規事業（業者委託） 30本、追加20本 計50本

(3) 古文書

① 収集 (*＝概数) 17,054 点

文 書 名	内 容
寄 贈	
佐久郡平原村名主小林家文書 *9,000 点	佐久郡平原村名主小林家に伝来する村方文書
筑摩郡北新村長岡家文書 86 点	長岡家に由来する村方文書
長澤久江氏寄贈資料 6 点	当館所蔵「清水家文書」の一部（全て封筒）
松本藩士野々山家文書 37 点	今川氏や徳川家康の判物を含む史料
佐久郡若宮神社神官柏原家文書 80 点	初期小諸藩に関わる史料
埴科郡打沢村市川家文書 *100 点	打沢村名主由来の史料
樋口氏収集文書 4 点	樋口氏が収集した信州に関わる資料。
埴科郡土口村北村家文書 *200 点	漢籍類や漢字辞典など教科書的な和本類
佐久郡小平村吉沢家文書 *4,000 点	小平村名主吉沢家に伝来する村方文書
佐久郡春日村竹花家文書 *800 点	春日村の名主竹花家に伝来する村方文書。
長野高校図書館移管資料 *400 点	長野高校社会科資料室にあった資料群。
11 件 計 14,713 点	
寄 託	
龍洞院文書 *200 点	天正年間から江戸時代にかけての文書
1 件 計 200 点	
購 入	
真田信之朱印状 1 点	大坂の陣に出陣した真田信之に関わる文書
上杉景勝書状 1 点	夜交左近助宛の書状
徳川十六将図 1 点	家康の老年期の神格化されている画像
林基春子供遊図 1 点	寺子屋での子供の学びや風俗が記された画
更級郡郡村文書 *1,000 点	村役人桜井家文書と推察
高遠藩者頭内藤家文書 36 点	内藤与兵衛旧蔵の職務関係の文書
埴科郡東条村桜井家文書 *500 点	東条村北組名主桜井家由来の文書
安曇郡大町村栗林家文書 *600 点	大町村名主栗林家の文書
8 件 計 2,140 点	

② 寄託から寄贈へ変更

文 書 名	内 容
該当なし	

③ 整理 (*＝継続整理中)

文 書 名	点数 (点)
佐久郡長土呂村角田家資料 *	3,160
北安曇郡沢渡村篠崎家文書 *	57
佐久郡伴野村木内家文書	1,965
筑摩郡北新村長岡家文書	86
筑摩郡上神林村野口庄三郎家文書	721
飯山市稲田家収集文書	8
安曇郡上長尾村文書 (上條氏寄託資料)	330
筑摩郡下西条村文書	353
樋口氏収集文書	4
長野県諏訪郡豊平村郵便局関係資料 *	1,507
松本藩士野々山家文書	34
真田信之朱印状	1
上杉景勝書状	1

徳川十六将図	1
林基春子供遊図	1
小県郡辰口村飯島家文書(上條氏寄託資料)	34
小県郡和田宿原組長井家文書(上條氏寄託資料)	83
埴科郡杭瀬下村青木家資料(上條氏寄託資料)	45
高遠藩者頭内藤家文書	36
更級郡田野口村小林家文書	70
筑摩郡安曇郡地方文書(上條氏寄託資料) 追加分	47
諏訪郡小六新田村五味家文書(上條氏寄託資料)	5
更級郡稲荷山町荒井家文書	14
水内郡地方文書(上條氏寄託資料) 追加分	15
埴科郡児玉家資料	202
長澤久江氏寄贈資料	6
佐久郡若宮八幡宮神官柏原家文書	191
小県郡神川村尾崎家文書(盛信文庫) *	936
埴科郡下戸倉村坂井家文書 *	228
登録有形文化財小林家住宅史料 *	708
水内郡妻科村宮大工山嵜家資料 *	53
埴科郡生萱村文書 *	383
32 件	合計 11,281

④ 公開 (WEBも含めて)

番号 (地区・通番)	文 書 名	点数 (点)
1 - 24	小県郡辰口村飯島家文書 (00)	62
5 - 87	松本藩土野々山家文書	34
1 - 25	小県郡和田宿原組長井家文書 (00)	83
7 - 69	埴科郡杭瀬下村青木家資料 (00)	45
4 - 51	高遠藩者頭内藤家文書	36
7 - 70	更級郡田野口村小林家文書	70
5 - 58	筑摩郡安曇郡地方文書 (00) 追加分	47
3 - 38	諏訪郡小六新田村五味家文書 (00)	5
7 - 72	更級郡稲荷山町荒井家文書	14
9 - 40	水内郡地方文書 (00) 追加分	15
7 - 67	埴科郡児玉家資料	202
5 - 88	長澤久江氏寄贈資料	6
2 - 45	佐久郡若宮八幡宮神官柏原家文書	191
0 - 99-3	真田信之朱印状	1
0 - 99-3	上杉景勝書状	1
0 - 99-3	徳川十六将図	1
0 - 99-3	林基春子供遊図	1
2 - 37	佐久郡伴野村木内家文書	3123
5 - 89	筑摩郡北新村長岡家文書	106
5 - 86	筑摩郡上神林村野口庄三郎家文書	756
9 - 50	飯山市稲田家収集文書	8
5 - 82	安曇郡上長尾村文書(上條氏寄託資料)	361
5 - 85	筑摩郡下西条村文書	375
0 - 34	樋口氏収集文書	4
24 件	合計	5,356

⑥ 古文書のマイクロ化・紙焼き・製本

マイクロ	佐久郡大井法華堂文書	1,160 カット (継続)
紙焼・製本	佐久郡大井法華堂文書	1,160 カット (継続)

(4) その他

- ① 燻蒸釜による燻蒸10回 行政文書、行政資料、古文書、展示資料など

Ⅹ 広 報

1 広告・案内

当館の紹介や企画展示・関連行事・講座等で実施した主な広報は以下の通りである。下記以外に千曲市内および長野市内の諸機関等への手配りチラシ広報を実施している。また、各報道機関への案内・当館及び県博協、日博協などのホームページの情報更新も適宜行っている。

月	掲載・掲示	内 容	規 格	備 考
4月	信濃毎日新聞 市報千曲4月号 朝日新聞 読売新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞	2025年所蔵品展「原始～開館30年のあゆみ展～」 県立歴史館所蔵品展 関連講演会 開館30周年記念 令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～ 令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～ 開館30周年記念 令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～ 県立歴史館古文書愛好会講演会 歴史館でこどもの日	新聞 広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	展覧会情報 催し物 広告 美術館・博物館情報 広告 イベントガイド インフォメーション
5月	市報千曲5月号 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	県立歴史館5月のイベント 開館30周年記念 令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～ 長野県立歴史館 presents 「信州を学ぶ」 シリーズ全3巻 好評発売中 長野県立歴史館「令和7年所蔵品展 原始～開館30年のあゆみ展～」 考古学セミナー	広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞	催し物 広告 広告 美術館・博物館情報 イベントガイド
6月	市報千曲6月号	県立歴史館7月のイベント	広報誌	催し物
7月	八十二文化財団催しのご案内 市報千曲7月号 信濃毎日新聞 全国高等学校野球選手権長野大会冊子 信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 朝日新聞 毎日新聞 信濃毎日新聞	開館30周年記念令和7年度夏季企画展「安曇野」～知られざる里山の折り～ 歴史館で夏休み 安曇野知られざる里山の折り 令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の折り～ 千曲市【県立歴史館企画展講座】 令和7年度夏季企画展安曇野～知られざる里山の折り～ 令和7年度夏季企画展安曇野～知られざる里山の折り～ 企画展講演会 令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の折り～ 令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の折り～ 安曇野～知られざる里山の折り～ 映画「RYOと彩の安曇野水物語」上映会、歴史館で夏休み	広報紙 広報誌 新聞 大会冊子 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞 新聞	美術館・博物館での催し 催し物 イベントガイド 有料広告☆ イベントガイド 有料広告 有料広告 有料広告☆ 有料広告 情報プラザ イベントガイド
8月	市報千曲8月号 上田ケーブルテレビ	県立歴史館イベント 県立歴史館講座第2回「令和7年度夏季企画展安曇野～知られざる里山の折り～」	広報誌 新聞	催し物 広告

	信濃毎日新聞 朝日新聞 毎日新聞	令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の祈り～ 令和7年度夏季企画展 安曇野～知られざる里山の祈り～ 「真田昌幸書状」一般公開	新聞 新聞 新聞	有料広告 有料広告 情報プラザ
9月	千曲市報9月号 信濃毎日新聞 読売新聞 博物館研究10月号	県立歴史館9月のお知らせ 県立歴史館講座 県立歴史館講座 疫病退散！除災祈願の考古学	広報誌 新聞 新聞 会報	催し物 イベントガイド イベントガイド 行事報告
10月	千曲市報10月号 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 歴史人 歴史街道 読売新聞 八十二文化財団催しのご案内 信濃毎日新聞	県立歴史館秋季企画展「疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具にみる古代の祈り～」 疫病退散！除災祈願の考古学 令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学 長野県立歴史館 ミュージアムショップ 新作入荷 長野県立歴史館 秋季・冬季企画展 令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学 令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学 令和7年度秋季企画展 講座「屋代遺跡の調査と木製祭祀具」	広報誌 新聞 新聞 雑誌 雑誌 新聞 広報誌 新聞	インフォメーション イベントガイド 有料広告 有料広告 有料広告 イベントガイド 美術館・博物館の催し イベントガイド
11月	市報千曲11月 読売新聞 信濃毎日新聞 毎日新聞 読売新聞	県立歴史館11月のイベント 令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学 令和7年度秋季企画展 疫病退散！除災祈願の考古学 疫病退散！除災祈願の考古学 縄文風 クリスマスリースを作ろう！	広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞	催し物 イベントガイド 有料広告 情報プラザ イベントガイド
12月	市報千曲12月号 信濃毎日新聞 八十二文化財団催しのご案内 博物館研究12月号	県立歴史館12月のイベント 県立歴史館講座(知の連携、近世史セミナー) 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～	広報誌 新聞 広報誌 広報誌	催し物 イベントガイド 美術館・博物館の催し 行事月間報告
1月	市報千曲1月号 ちくま未来新聞第72号 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 博物館研究1月号 信濃毎日新聞	県立歴史館1月のイベント 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ ウィークエンド飯山 県立歴史館講演会『小菅の魅力』 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ 県立歴史館講座	広報誌 新聞 新聞 新聞 新聞 広報誌 新聞	催し物 イベントガイド 有料広告 イベントガイド 北信 行事月間報告 イベントガイド
2月	市報千曲2月号 信濃毎日新聞 八十二文化財団催しのご案内 信濃毎日新聞	県立歴史館2月のイベント 令和7年度冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～ 令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発 県立歴史館講座	広報誌 新聞 広報誌 新聞	催し物 有料広告 美術館・博物館の催し 週刊ガイド

3月	市報千曲3月号	県立歴史館3月のイベント	広報誌	催し物
	長野県広報紙「県からのたより」	Topics！ 令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発	新聞	トピックス
	ほっとバル手箱	令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発	新聞	とっておきスポット
	朝日新聞	縄文時代の社会を考える	新聞	インフォメーション
	フリーペーパー道の駅	長野県立歴史館	広報紙	有料広告
	信濃毎日新聞	県立歴史館講座	新聞	週刊ガイド
	信濃毎日新聞	令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発	新聞	有料広告
	読売新聞	令和8年所蔵品展 長野県民の戦後再出発	新聞	イベントガイド

2 記事・報道

当館に関する主な記事・番組等は以下のとおりである。ケーブルテレビ局と有線放送局作成番組については、提携各局において随時放送されている。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞	千曲 県立歴史館の古文書愛好会有志が冊子	記事	古文書愛好会
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 仏像の胎内にあった紙背文書 裏面にも重要な情報が	コラム	古文書講座
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 黒色安山岩・黒曜石・輝緑岩 石器を支えた「信州ブランド」	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	県立歴史館 30 周年 時を刻む所蔵品たち 9 銀象嵌大刀	記事	開館 30 周年
	ちくま未来新聞	長野県立歴史館令和7年所蔵展 原始～開館30年のあゆみ展～	記事	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 山河の風化が生み出した「粘土」 良質、第2の信州ブランド	コラム	所蔵品展「原始」
	中日新聞	県内出土石器 北と南で比較 県立歴史館 所蔵品中心に769点紹介	記事	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 象嵌装飾を施した大刀 ヤマト王権と強い結び付き	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	歴史に触れて家族でGO 千曲の県立歴史館「こどもの日」入館料一律無料	記事	体験イベント
5月	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 野尻湖の日向林B遺跡 出土石器、逸品ばかり	コラム	県立歴史館講座
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 縄文土器文様 直接的から間接的に 推測される「役割」の変化	コラム	県立歴史館講座
	信濃毎日新聞	創業者が設立 須坂へ疎開した「日本測定器」ソニーの源流 信州で触れる	記事	所蔵品
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 松原遺跡のアクセサリ 縄文の「最先端」が信州に	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 佐久・香坂山と飯田・竹佐中原 日本の礎につながる遺跡	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 徳永哲秀氏が再現「赤い土器」 製作技術や背後の社会探究	コラム	所蔵品展「原始」
6月	信濃毎日新聞	高校で考古学指導 千曲で可能性語る	記事	考古学セミナー
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 律令制下で使用、現存しない「信濃国印」 中央にのみ込めたシナノ思う	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 長野県、馬具の出土数全国3位 愛しい馬の存在、多様に残す	コラム	所蔵品展「原始」
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 中山晋平と竹久夢二 楽譜と表紙絵で共演	コラム	常設展示
	中日新聞	古文書の散逸 増加傾向	記事	古文書
	信濃毎日新聞	日本人の精神の根元にある信仰 安曇野の里山「折り」の痕跡	コラム	夏季企画展
7月	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 守り継がれた安曇野の仏像 被災しても信仰続く限りは	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 安曇平で信仰集めた満願寺 死者の魂、返ってくる場所	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 日光・月光菩薩を鎌倉時代に建立 「後野氏女」込めた折りとは	コラム	夏季企画展
	信濃毎日新聞	県内最古の仏像 ぐるっと間近で	記事	夏季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 妙海の光久寺像、制作年が明らかに 仏師の歩みに迫る手がかり	コラム	夏季企画展

	読売新聞	学芸員のおススメ!! 優しい微笑み 優雅な姿	コラム	夏季企画展
8月	信濃毎日新聞 ちくま未来新聞 週刊長野 中外日報 信濃毎日新聞 読売新聞 信濃毎日新聞 中日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見 女学生がつづった戦争の日々 敗戦時の偽りなき思い記す 長野県立歴史館令和7年度夏季企画展 安曇野〜知られざる里山の祈り〜 祈りの世界に焦点 県立歴史館で「安曇野」展 長野県立歴史館 安曇野の魅力寺宝で伝える しなの歴史再見 クラウドファンディングで戻った真田昌幸警状 流された土地から上田に影響力 夏季企画展「安曇野〜知られざる里山の祈り〜」穏やかな表情 平安の特徴 真田信之 行方不明の朱印状発見 彫物希釈の中で残った仏像紹介 しなの歴史再見 覚音寺・千手観音像の胎内納入 安曇野と京の結び付き示す しなの歴史再見 二代歌川広重作「諸国名所百景」 神社参詣、道中楽しむ旅へ しなの歴史再見 日向林B遺跡で出土の有孔石製品 旧石器人の「美」につながるか	コラム 記事 記事 記事 コラム コラム 記事 記事 コラム コラム コラム	夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 夏季企画展 常設展示(期間限定) 夏季企画展 特別展示 夏季企画展 夏季企画展 常設展示 県立歴史館講座
9月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見 安曇野・北村遺跡出土の縄文人骨 約300体「20世紀最大の発見」 しなの歴史再見 西南戦争で死亡の長野県出身者 理不尽、国民に強いた徴兵制 しなの歴史再見 大祓の儀式。中央から地方へ 人形に込めた思いや祈り	コラム コラム コラム	常設展示 常設展示 秋季企画展
10月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 月刊 かみいな	しなの歴史再見 千曲市東條遺跡の木簡 県内最古の「蘇民将来符」 しなの歴史再見 屋代遺跡群出土の祭祀具、人形 西から迫る疫病 緊急の祓い しなの歴史再見 日常の土器巡る穢れと祓い 縄文人の心、知る手段に ヤブオクに秀吉や政宗の真筆93件 取引実績からAI抽出、識者確認 しなの歴史再見 出土した木製品。形状保つ処理 自然な仕上がりを目指して 古墳時代から現代まで 「疫病退散」「除災」資料展示 しなの歴史再見 諏訪のフネ古墳と蛇行剣 七支刀との関連考える好機 博物館浴のススメ 長野県立歴史館	コラム コラム コラム 新聞 コラム 記事 コラム 記事	秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 その他 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 その他
11月	長野市民新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	県立歴史館 奈良時代のボードゲーム『かりうち』体験会 県立歴史館スケッチブックコンテスト 子どもたちの入賞作 多彩な木製祭祀具 県立歴史館で堪能 しなの歴史再見 北相木に伝わる行事「かなんんがけ」 「祓い」願う児童の姿に胸熱く しなの歴史再見 「布手」墨書の木簡、屋代遺跡群から出土 麻布の織り手、祭祀の道具も? しなの歴史再見 和宮降嫁の行列と地域への負担 幕末-世の変革臨む契機に しなの歴史再見 大きく変わった信州の弥生時代観 北と南、二つの「文化の型」	記事 記事 記事 コラム コラム コラム コラム	秋季企画展 夏季企画展 秋季企画展 秋季企画展 秋季企画展 その他 常設展示
12月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	しなの歴史再見 豊かさの象徴 電気冷蔵庫 暮らしのあり方 大きく変化 しなの歴史再見 孤立して見える後期古墳 築造を支えた地域を探る しなの歴史再見 高梨政盛が参内した安堵状 「父子二頭体制」実像浮かぶ しなの歴史再見 飯田藩主・脇坂安元 家老への通達 外様大名の悲哀 物語る三箇条 文化の森へ 戦争の記憶次代へ 動き活発	コラム コラム コラム コラム 記事	常設展示 常設展示 研究紀要 研究紀要 夏季企画展
1月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	弥生中期の「最先端」中野に鉄製玉錐 しなの歴史再見 「修験の里」で知られる小菅集落 暮らしと信仰の場が共存 しなの歴史再見 修験道の開祖・役小角ゆかり 神仏両道、栄えた飯山・小菅山	記事 コラム コラム	その他 冬季企画展 冬季企画展

	信濃毎日新聞	信仰の地「飯山の小菅」紹介 千曲の県立歴史館	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 飯山・小菅神社に奉納 花鳥之図 震災復興への協力に感謝	コラム	冬季企画展
	中外日報	北信州の三大霊場 「小菅」の宝物展覧	記事	冬季企画展
	週刊長野	北信濃の三大修験霊場の一つ 飯山・小菅の遺産と文化 県立歴史館で企画展	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 日本の風景 英画の技法で 渡米の晩餐ら、水彩画展成功	コラム	県立歴史館講座
2月	ちくま未来新聞	冬季企画展 霊場小菅～飯山の遺産と文化～	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 時代により変化した霊場小菅 修験信仰や豊かな暮らし物語る出土品	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 国内最古の歴史跡 佐久の香坂山修験跡 祖先のはるかな旅を感じる石刃	コラム	その他
	読売新聞	冬季企画展「霊場小菅～飯山の遺産と文化～」謙信 追っ手阻む綱切り	コラム	冬季企画展
	長野市民新聞	霊場小菅(飯山)の企画展 仏像や絵図50点並ぶ	記事	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 聖地・小菅はいつ燃えた? 長尾景虎の願書で謎解き	コラム	冬季企画展
	読売新聞	密教絵画 色の対比鮮やか	コラム	冬季企画展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 「板絵着色観音三十三身図」往時の小菅の観音信仰 今に	コラム	冬季企画展
3月	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 縄文時代に「嫁入り」はあったのか 土器政製作の検証がヒントに	コラム	その他・所蔵品展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 婦人運動に尽力 児玉勝子さん 初の投票、感懐つづった日記	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	千曲の県立歴史館 初公開主体 所蔵品展 実物が語る県民の苦難と再起	記事	所蔵品展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 時代に左右された県連合青年団 戦後再結成、平和運動に尽力	コラム	所蔵品展
	信濃毎日新聞	しなの歴史再見 満洲で拾い「沈淪から煮炊きまで」戦後の一家現れた「新京鍋」	コラム	所蔵品展
	中日新聞	旧満州 命か財の引き揚げ 県立歴史館7割初公開、日記や道具展示	記事	所蔵品展

一 資料一

I 資料利用

(点)

資料利用	展示資料 (復元・模型等)	考古資料 (一括資料も1点)	文献史料 (文書・絵図等)	全件数
貸出	6	21	9	36
掲載	24	22	47	93
複製(資料・写真)	1	0	3	4

II 閲覧利用・情報利用

月	閲覧者数 右=1日平均		閲覧者数の内訳							複写 件数	撮影 件数	レファレン ス件数	HP アク セス数	図書登 録数	逐次刊行物 等の登録数
			図 書	歴史 情報	映像 情報	行政 文書	古文書	考古 資料	その他						
4	215	9	177	51	0	10	14	0	6	51	619	9	9,026	72	384
5	311	12	248	50	0	16	19	4	8	50	1,199	14	9,993	33	238
6	273	11	214	328	0	18	16	2	8	328	1,243	15	10,056	38	216
7	293	11	224	63	0	12	20	18	9	63	1,725	23	9,710	19	146
8	310	11	220	94	0	18	40	8	12	94	370	15	10,850	20	46
9	121	8	76	61	0	11	14	1	12	61	298	26	7,818	12	86
10	214	8	132	137	0	7	21	11	23	137	717	21	8,325	23	104
11	172	7	114	67	0	12	21	2	12	67	449	11	7,380	4	67
12	135	6	77	43	0	12	9	13	14	43	164	9	6,376	19	69
1	185	8	144	54	0	9	11	1	14	54	190	10	8,955	27	64
2	156	8	127	31	0	6	11	0	6	31	287	9	9,432	38	76
3	172	7	105	32	0	12	21	11	11	32	372	16	8,398	50	50
計	2,557	9	1,858	133	0	143	217	71	135	1,011	7,633	178	106,319	355	1,546

III 利用者

令和7年度利用者

月	常設展示室		企画展示室		講演会・講座等		閲覧室		出前講座		地域展		利用者 計
	観覧者 数	日数	観覧者 数	日数	受講者 等数	日数	閲覧者 数	日数	受講者 数	日数	閲覧者 数	延べ 日数	
4	1,991	25	1,867	25	82	1	215	25	60	1	0	0	4,215
5	4,786	27	4,701	27	499	10	311	27	70	2	0	0	10,367
6	4,397	25	2,467	13	466	12	273	25	58	2	0	0	7,661
7	2,995	27	2,526	23	556	12	293	27	32	1	0	0	6,402
8	3,531	27	3,083	21	614	17	310	27	28	1	0	0	7,566
9	1,258	15	0	0	186	7	121	15	59	2	0	0	1,624
10	2,840	27	2,696	24	521	13	214	27	314	7	0	0	6,585
11	2,800	26	2,265	14	389	9	172	26	175	4	0	0	5,801
12	447	23	0	0	177	6	135	23	99	3	0	0	858
1	898	24	1,264	19	672	17	185	24	16	1	0	0	3,035
2	1,208	20	1,440	20	658	19	156	20	158	3	593	26	4,213
3	1,511	26	897	16	832	6	172	26	73	2	0	0	3,485
計	28,662	292	23,206	202	5,652	129	2,557	292	1,142	30	593	26	61,812
					・出前講座・地域 展を除く				・p53 その他出 前講座に同じ				

入館者数等推移

区分 年度	常設展示室	企画展示室	講演講座等 (出前講座含む)	閲覧室	合計
平成6年度	50,375	34,685	1,033	6,797	92,890
7年度	99,478	23,470	3,086	11,887	137,921
8年度	74,438	21,029	2,299	10,466	108,232
9年度	59,968	15,585	3,133	8,067	86,753
10年度	53,651	32,586	3,608	8,362	98,207
11年度	53,814	30,392	3,617	8,461	96,284
12年度	47,604	25,781	3,540	9,355	86,280
13年度	46,303	34,352	4,346	7,573	92,574
14年度	45,106	33,887	6,384	7,566	92,943
15年度	43,813	33,400	12,952	7,070	97,235
16年度	43,889	32,797	12,429	6,287	95,402
17年度	44,855	33,585	12,263	8,232	98,935
18年度	46,362	37,866	14,360	13,642	112,230
19年度	46,874	42,691	15,217	12,454	117,236
20年度	41,790	32,316	13,089	10,815	98,010
21年度	41,089	32,507	14,774	10,002	98,372
22年度	40,839	29,969	12,175	9,916	92,899
23年度	43,383	33,676	11,057	6,118	94,234
24年度	42,154	37,674	11,953	7,201	98,982
25年度	39,323	32,603	13,091	7,205	92,222
26年度	39,897	34,614	21,004	7,855	103,370
27年度	41,609	31,886	24,536	6,963	104,994
28年度	44,673	32,199	31,424	4,094	112,390
29年度	40,765	25,780	32,263	4,244	103,052
30年度	40,002	26,848	30,743	3,731	101,324
令和元年度	54,247	40,950	23,095	4,024	122,316
令和2年度	21,764	16,127	3,364	2,523	43,778
令和3年度	25,831	22,162	30,649	2,419	81,061
令和4年度	25,689	18,929	19,048	1,513	65,179
令和5年度	24,493	16,847	22,747	2,446	66,533
令和6年度	29,159	21,503	9,262	2,618	62,542
令和7年度	28,662	23,206	7,387	2,557	61,812
合計	1,421,899	941,902	429,928	222,463	3,016,192

※常設展示室は巡回展の人数を含む。

企画展等入館者数

企＝企画展

季＝季節展

区分 年度	名 称	期 日	入館者数
平成6年度 企画展	開館記念 赤い土器のクニ	11/3～12/11 38日	29,848
平成7年度 夏企	絵図にみる信濃－江戸時代の村や町－	7/15～8/20 32日	7,095
秋企	信濃における戦国争乱の世界	10/21～11/26 30日	10,873
平成8年度 夏企	縄文人の一生－北村遺跡に生きた人びと－	7/20～8/25 32日	8,228
秋企	木簡が語る古代の信濃－掘り出された地方行政と暮らし－	10/5～11/10 31日	8,450
平成9年度 夏企	殖産興業と万国博覧会－明治期における長野県と世界の交流－	7/19～8/24 32日	5,538
秋企	長野県にみる世界の文化－シルクの歴史と文化－	10/12～11/16 31日	7,011
館蔵品展	平成9年度新指定の県宝をみよう	1/31～3/1 29日	1,174
平成10年度 特別展示	屋代木簡展	6/5～6/20 14日	-

夏企	古代シナノの武器と馬具 -古墳時代の武人のすがた-	7/18~8/23	32日	5,950
秋企	諏訪信仰の祭りと文化	10/17~11/23	33日	7,912
平成11年度 館蔵品展	館蔵品展	4/4~5/9	33日	9,866
夏企	信濃名宝展 -鎌倉時代の文化財-	7/16~8/22	38日	7,458
秋企	蘭学万華鏡 -江戸時代 信濃の科学技術-	10/9~11/14	32日	7,321
考古資料特別公開	運動する縄文土器・里帰りした信州の出土品-重文新指定時代田町川原田遺跡出土品とその周辺-	1/15~2/27	38日	3,719
平成12年度 夏企	千曲川歴史紀行 -ともに生きた人びとの記録-	7/22~8/27	32日	4,443
秋企	歴史の宝庫・秋葉みち -信濃古道をたどる-	10/5~11/12	34日	7,807
長野県20世紀展・	信州に生きた20世紀の女たち	12/12~1/28	36日	2,117
平成13年度 館蔵品展	屏風の世界	5/29~7/1	30日	5,096
夏企	阿久遺跡と縄文人の世界	7/20~9/2	40日	4,935
秋企	文人墨客がつどう -十九世紀北信濃の文芸ネットワーク-	10/2~11/11	36日	9,332
特別展示	雛人形と雛道具『天下の糸平』田中家コレクション	1/26~3/3	32日	3,431
平成14年度テーマ	北村縄文人の時代 -仮面土偶をつくった人びと-	5/25~6/30	32日	7,671
夏企	世界と地域を見つめた長野県教育 -信山育材-	7/20~9/1	39日	3,113
秋企	開設四百年 中山道 -信濃二十六宿と問宿-	10/5~11/17	38日	9,318
特別公開	雛人形と雛道具 -田中平八コレクションと北信濃の雛人形-	1/25~3/2	31日	3,545
平成15年度 テーマ	おらが善光寺さん・秘仏の寺ものがたり-	5/16~6/22	33日	6,579
夏企	SOSふるさと文化財をすくえ-伝えたい古人の心と技-	7/15~8/24	36日	4,287
原爆展	ヒロシマ・ナガサキ巡回原爆展-風化させではない歴史-	9/27~10/26	26日	-
秋企	もみじ 夕焼け 里の秋 -唱歌・童謡のふるさと信州-	9/27~11/9	38日	9,426
特別公開	重要文化財神子柴遺跡の石器群 -石の時代の槍と斧-	1/10~2/29	43日	3,944
特別公開	雛人形と雛道具 -子どもの祝い-	1/10~2/29	43日	3,944
平成16年度 春季	神がみへの願い 人びとの祈り -古代のまつり-	5/22~6/27	32日	4,386
夏季	善光寺道 -街道を行き来した人・物・文化-	7/17~8/29	38日	4,860
秋季	中世信濃武士意外伝 -義仲から幸村まで-	10/2~11/14	38日	10,543
新春特別公開	新春屏風絵図展	1/1~1/16	14日	462
冬季	天下の糸平ゆかりの雛人形 -横浜を目指した信州の生糸商人たち-	1/29~3/6	32日	2,954
平成17年度特別展	里帰りした赤羽刀 -GHQ接收刀剣の輝き-	5/21~6/26	37日	4,057
夏企	地下4mの「縄文伝説」-屋代遺跡群 愛と出会いの4千年-	7/16~9/4	45日	5,012
秋企	信州舞台物語-団十郎も須磨子もやってきた-	10/1~11/13	38日	8,877
特別公開	六角木桶 極楽浄土への道しるべ	11/19~1/15	42日	2,867
特別公開	雛人形と雛道具 -身だしなみとよそおい-	1/28~3/5	32日	3,498
平成18年度 春季	古瓦からみた信濃の古代-神津墓・米山-政寄贈資料を中心に-	5/19~6/25	33日	6,979
夏企	幕末の信州 -時代を駆けた草莽たち-	7/22~8/27	32日	4,212
秋企	戦時下の子どもたち -信州の一五年戦争-	9/30~11/12	33日	10,004
冬季	信州の歴史遺産Ⅰ -新指定長野県宝と歴史館のお宝-	11/25~1/8	35日	2,434
平成19年度 春季	埋もれていた信州遺産の発見-長野県埋蔵文化財センター25年の歩みから	5/19~7/1	38日	5,962
夏季	絵地図の魅力 -私の城下町-	7/21~8/19	27日	3,374
文巡回展	発掘された日本列島2007 -新発見考古速報展-	9/1~9/30	26日	5,906
秋企	武田・上杉・信濃武士【前期】	10/13~11/18	32日	9,084
秋企	武田・上杉・信濃武士【後期】	12/8~1/14	28日	3,143
冬季	信濃の人形 -雛人形と郷土の人形-	1/26~3/2	32日	2,362
平成20年度 春季	うつわは語る -縄文から近世まで-	5/24~6/29	32日	5,426
夏企	大庄屋って何?安曇郡・清水家文書の350年	7/19~8/24	33日	2,625
秋企	よみがえる氷河時代の狩人	9/25~11/24	53日	11,145
冬季	信州の歴史遺産Ⅱ -長野県宝と歴史館のお宝-	12/13~3/1	61日	3,020
平成21年度 春企	善光寺信仰-流転と遍歴の勸化-	4/11~6/7	51日	11,776
夏季	信州 知の遺産の系譜 -歴史を記録した先人たち-	8/1~9/6	32日	4,248

秋企	山を越え川に沿うー信州弥生文化の確立ー	9/26~11/23	50日	8,896
冬季	信州の歴史遺産Ⅲー諏訪地域の“いのり”と“まつり”ー	12/12~2/28	60日	2,097
平成22年度 春企	ひめゆり 平和への折り[沖縄戦から65年]	5/29~7/11	38日	8,728
夏季	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	7/31~8/29	26日	2,552
秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺ー古代に創建された松本平の二つの寺院ー	9/18~11/7	42日	8,272
冬季	信州の歴史遺産Ⅳー文字のちから 墨書土器から新聞の時代までー	12/11~2/27	61日	2,741
平成23年度 春企	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	5/28~7/3	32日	8,901
夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	7/23~9/4	39日	4,731
秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまでー	9/23~11/13	44日	6,164
冬季	信州の歴史遺産Ⅴー郷土のお宝『重文・県宝』を見ようー	12/10~2/26	44日	3,302
小企画展	ありがとう屋代線	3/10~5/13	58日	-
平成24年度 春企	長野県の満洲移民ー三つの大日向をたどるー	5/26~7/16	45日	8,871
夏季	「戦争と宣伝」阿智村ポスターが語る	7/28~9/2	33日	5,209
秋企	縄文土器展 前期展 八ヶ岳山麓の名作	9/15~11/4	44日	6,871
〃	後期展 千曲川流域、土器1万年の旅	11/10~12/16	32日	2,669
冬季	愛娘の調度品ー姫君様の婚礼道具から雛人形までー	1/12~3/3	39日	3,668
平成25年度 夏企	信州の野球史	6/29~8/18	45日	4,608
〃	ー大正から昭和初期にかけて全国屈指の強さを誇った中等学校野球ー			
秋企	刃が語る信濃ー武器、象徴、そして芸術へー	9/14~11/4	45日	7,904
冬季	山国の水害ー戊の満水と善光寺地震ー	11/23~1/19	41日	2,573
館蔵品	戦前の観光信州ーパンフレットでたどる昭和初期の鉄道・山岳・温泉ー	2/1~3/9	29日	1,130
速報展	長野県の遺跡発掘2014ー長野県埋蔵文化財センター速報展ー	3/21~6/1	65日	12,680
平成26年度				
館蔵品	歴史に煌めく日本の美ー信濃の歴史を彩る名品たちー	6/14~7/13	26日	4,794
夏季	山とともに生きるー「信州山の日」制定を記念してー	7/26~8/31	33日	4,592
速報展	長野県の遺跡発掘2014 (伊那会場)	7/19~8/24	31日	1,602
秋企	信濃武士の決断ー信長・秀吉・家康の時代ー	9/27~11/9	38日	7,052
冬季	縄文土器展 デコボコかざりのはじまり	11/29~2/1	45日	2,131
平成27年度 春企	山と海の廻廊をゆくー信濃と北陸をつなぐ道ー	(4/1) ~5/17	42日	7,390
速報展	長野県の遺跡発掘2015	5/30~7/12	37日	8,332
夏企	長野県民の1945ー疎開・動員体験と上原良司ー	7/25~9/15	45日	5,643
秋企	樹木と人の交渉史ー発掘された木製品、樹木信仰のみる3万年の歴史ー	10/3~11/29	49日	6,570
冬企	地図の「明治維新」ー残された明治初期の町村地図ー	12/19~2/28	58日	2,838
巡回展	埋蔵文化財センター速報展 長野県の遺跡発掘2016	3/12~6/26	95日	18,438
平成28年度 夏企	夢をのせた信州の鉄道ー失われた鉄道の軌跡ー	7/9~8/28	45日	4,192
秋企	木曾の宝ー文化の十字路口ー	9/17~11/27	61日	6,782
冬季	信濃国の城と城下町ー発掘調査が謎を解くー	12/17~2/26	55日	2,927
巡回展	長野県の遺跡発掘2017	3/18~ (3/31)	12日	973
平成29年度巡回展	長野県の遺跡発掘2017	4/1~6/25	75日	12,066
夏企	長野県誕生！ー公文書・古文書から読みとくー	7/8~8/28	46日	3,089
秋企	縄文土器展Ⅱ 進化する縄文土器ー流れるもようと区画もようー	9/16~11/26	61日	7,727
冬季	田中芳男ー「虫捕御用」の明治維新	12/16~2/25	54日	2,292
巡回展	長野県の遺跡発掘2018	3/17~ (3/31)	12日	606
平成30年度巡回展	長野県の遺跡発掘2018	4/1~6/3	56日	8,485
夏企	君は河童を見たか！ー水辺の出会いー	6/16~7/29	38日	5,594
秋企	最古の信州ブランド黒曜石 先史社会の石材獲得と流通	9/15~11/25	62日	8,848
冬季	自然を見つめた田淵行男展	12/15~2/17	50日	3,063
巡回展	長野県の考古学2019「長野県の考古学 時代を映す“匠”の技」	3/16~ (3/31)	13日	858
平成31年度巡回展	長野県の考古学2019	4/1~6/23	73日	12,117

夏季	長野県立歴史館の名品	7/6～8/18 39日	3,840
秋企	戦国 小笠原三代 長時・貞慶・秀政	9/7～10/14 33日	5,049
特別企画	土偶展前期展 国宝土偶～縄文文化の多様な個性～	10/26～11/10 16日	15,041
特別企画	土偶展後期展 中部高地の土偶～暮らしに寄り添う小さな女神～	11/23～2/2 57日	4,127
春季展	長野県の考古学2020「長野県の考古学 いのちをつなぐ技と交流」	3/14～(3/31) 6日	240
令和2年度春季展	長野県の考古学2020	4/1～6/14 24日	642
夏企	地酒王国 信州	7/11～8/23 39日	2,646
秋企	稲作とクニの誕生 -信州と北部九州-	9/15～11/29 65日	9,519
冬企	洋画家・書家・コレクター 中村不折-伊那谷から世界へ	1/9～2/21 37日	2,432
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	3/13～(3/31) 16日	888
令和3年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチ押し 絵画工芸編-	4/1～6/13 63日	5,590
夏企	青少年義勇軍が見た満州-創られた大陸の夢	7/10～8/22 38日	4,858
秋企	全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-	9/18～11/23 55日	8,562
冬企	郷愁の画家 丸山晚霞 -師友とその時代	1/15～2/27 37日	2,371
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	3/19～(3/31) 11日	781
令和4年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 考古資料編-	4/1～6/12 62日	6,658
夏企	山伏-佐久の修験 大井法華堂の世界-	7/9～8/21 37日	4,078
秋企	諏訪と武田氏	10/8～11/20 37日	5,287
冬企	高遠藩の遺産-最後の藩主が残したもの-	1/14～2/26 37日	2,249
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 古文書編-	3/18～(3/31) 11日	657
令和5年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 古文書編-	4/1～5/28 50日	4,683
夏企	主張する古墳-新たなシナノの古墳時代像～	7/1～8/20 44日	4,936
秋企	信州のやきもの紀行～江戸から明治へ～	10/7～11/26 44日	4,185
冬企	和田 英 ～糸づくりに懸けた明治の女性～	1/13～2/25 38日	2,478
所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編-	3/23～(3/31) 8日	565
令和6年度			
令和6年度所蔵品展	至宝の名品-学芸員のイチオシ 近現代歴史資料編-	4/1～6/16 58日	7,861
夏企	疾風怒濤 木曾義仲～文書と絵画で見る義仲の一生～	7/13～8/25 39日	5,226
秋企	描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～	10/12～11/24 44日	4,793
冬企	佐久間象散遺墨展～書は人なり～	1/11～2/24 38日	2,569
所蔵品展	原始～開館30年のあゆみ展～	3/15～3/30 14日	1,054
令和7年度			
令和7年度所蔵品展	原始～開館30年のあゆみ展～	4/1～6/15 63日	9,035
夏企	安曇野～知られざる里山の祈り～	7/5～8/24 44日	5,609
秋企	疫病退散！除災祈願の考古学～木製祭祀具に見る古代の祈り～	10/4～11/16 38日	4,961
冬企	霊場小菅～飯山の遺産と文化～	1/10～3/1 40日	2,886
所蔵品展	長野県民の戦後再出発	3/14～3/31 15日	715

ミニ展示	「県宝 六角宝輪」(長野県の遺跡発掘2017同時開催)	12,066人 75日
ミニ展示	「県歌 50年」作詞家「浅井冽の書を見る」	965人 26日
ミニ展示	「信州の野球史 夏」	996人 32日
ミニ展示	「平成とともに歩んだ歴史館」(ポスター展)	1,121人 50日
ミニ展示	「掘るしん2021」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	1,993人 50日
ミニ展示	「掘るしん2022」(長野県埋蔵文化財センター速報展)	3,427人 73日

IV 収蔵史資料数

区分 年度	展示資料 (件)	増加数 (件)	図書・逐次刊 行物(冊)	増加数 (冊)	考古資料 (箱)	受入数 (箱)	文献史料 (点)	増加数 (点)
平成6年度	1,996		27,156		4,930		79,060	

7年度	2,015	19	30,628	3,472	6,202	1,271	96,165	17,105
8年度	2,034	19	34,470	3,842	7,259	1,057	109,711	13,546
9年度	2,051	17	38,533	4,063	8,415	1,156	117,392	7,681
10年度	2,107	56	44,888	6,355	9,886	1,471	122,944	5,552
11年度	2,141	34	48,748	3,860	11,685	1,799	131,498	8,554
12年度	2,156	15	59,590	10,842	14,724	3,039	136,191	4,693
13年度	2,182	26	64,405	4,815	17,614	2,890	138,360	2,169
14年度	2,197	15	69,306	4,901	19,982	2,368	148,562	10,202
15年度	2,217	20	73,292	3,986	21,199	1,217	153,394	4,832
16年度	2,238	21	77,364	4,072	23,302	2,103	155,339	1,945
17年度	2,250	12	81,196	3,832	25,223	1,921	156,921	1,582
18年度	2,264	14	85,133	3,937	25,655	1,571	160,595	3,674
19年度	2,278	14	87,216	2,083	26,806	1,150	162,268	1,673
20年度	2,282	4	95,555	8,339	27,309	503	163,135	867
21年度	2,287	5	101,730	6,175	27,856	547	165,496	2,361
22年度	2,293	6	103,577	1,847	27,974	118	168,485	2,989
23年度	2,295	2	107,308	3,731	28,296	302	169,555	1,070
24年度	2,296	1	111,124	3,816	28,707	971	172,318	2,763
25年度	2,299	3	115,553	4,429	28,419	▲288	287,611	115,293
26年度	2,301	2	119,736	4,183	29,204	785	291,848	4,237
27年度	2,304	3	122,762	3,026	29,204	0	295,611	3,763
28年度	2,308	4	125,628	2,866	29,204	0	281,897	▲13,714
29年度	2,315	7	128,344	2,716	29,204	0	301,999	20,102
30年度	2,320	5	132,036	3,692	29,204	0	311,453	9,454
令和元年度	2,328	8	134,573	2,537	29,222	18	346,729	35,276
2年度	2,333	5	145,306	10,733	29,222	0	365,011	18,282
3年度	2,418	85	147,336	2,030	29,222	0	379,745	14,734
4年度	2,418	0	150,618	2,304	29,222	0	395,971	16,226
5年度	2,420	2	152,398	1,780	29,222	0	412,599	16,628
6年度	2,423	3	154,183	1,785	29,382	160	429,282	16,683
7年度	2,425	2	156,088	1,905	29,382	0	454,405	25,123

※考古資料の総数は収納用箱数で計上しており、この他に箱収納していない資料に木製品があり、当館第2収蔵庫で収納している。

※平成28年度の文献史料総数は、重複分があったため修正した。

※文献史料数は、整理を終了した確定数であり、必ずしも受入数とは一致しない。

※図書・逐次刊行物は、登録数を計上している。

一日誌

- 4月12日(土) 所蔵品展ギャラリートーク
- 26日(土) 古文書愛好会 presents 「人生の楽しみに古文書を！」 村石正行 文献史料課長
- 5月5日(月) 歴史館でこどもの日①記念品プレゼント②プラ板マスコットづくり
- 10日(土) 所蔵品展講演会 水澤教子 総合情報課長
「考古資料 30 年の歩み」・
所蔵品展ギャラリートーク
- 15日(木) 古文書講座初級 B①・中級 B①
- 17日(土) 古文書講座中級 A①
- 18日(日) 古文書講座初級 A①
- 22日(木) 長野県博物館協議会総会・研修会(上田市)
- 24日(土) 古文書講座上級①、古文書演習
- 25日(日) 出前講座 初級古文書講座(諏訪市博物館)①
- 29日(木) 館蔵文書を読む会①
県立歴史館資料調査員会議
- 6月1日(日) 考古学セミナー①
第1部 講演会 第49回藤森栄一賞受賞者 林直樹氏
「考古学の可能性を探るー岐阜県立関高等学校の授業とフィールドワーク」
第2部 パネルディスカッション
「地域で考古学をともに学ぶ」
パネラー 林直樹氏(岐阜県立関高校教諭)
大竹幸恵氏(日本考古学協会副会長)
堤隆氏(長野県考古学会副会長・日本旧石器学会長)
- 7日(土) 県立歴史館講座① 大竹憲昭 文化財専門員
「今、信州の旧石器が面白い！」
- 14日(土) 所蔵品展ギャラリートーク
- 16日(日) 所蔵品展「原始～開館 30 年のあゆみ展～」終了
- 19日(木) 古文書講座初級 B②・中級 B②
長野県史料保存活用協議会総会・講習会①(望月駒の里ふれあい館)
- 21日(土) 古文書講座中級 A②
- 22日(日) 古文書講座初級 A②
- 26日(木) 館蔵文書を読む会②
- 28日(土) 県立歴史館出前講座 in 箕輪町
古文書講座上級②、古文書演習
- 29日(日) 出前講座 初級古文書講座(諏訪市博物館)②
- 7月5日(土) 県立歴史館講座② 小林寿英 文化財指導主事
「令和7年度夏季企画展 安曇野ー知られざる里山の祈りー」
- 8日(火) 長野県総合教育センター研修
- 11日(金) 夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」
オープニングセレモニー
- 12日(土) 夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」開始
夏季企画展講演会① 実践女子大学文学部教授 武笠朗氏
「安曇野の寺院と仏たち」
- 17日(木) 古文書講座初級 B③・中級 B③
- 19日(土) 夏季企画展講演会② 安曇野市教育委員会文化財課 逸見大悟氏
「中世安曇平の信仰を支えた人々」
古文書講座中級 A③
- 20日(日) 古文書講座初級 A③
- 23日(水) 長野県立歴史館協議会
- 24日(木) 館蔵文書を読む会③
- 25日(金) 長野県立歴史館資料委員会
- 26日(土) 夏季企画展ギャラリートーク
古文書講座上級③、古文書演習

- 27日(日) 出前講座 初級古文書講座(諏訪市博物館)③
- 8月 1日(金) ティーンズ古文書講座①
- 2日(土) ティーンズ古文書講座②
歴史館で夏休み①歴史発見隊☆これ、な〜んだ?②縄文人になろう
③記念品プレゼント
- 7日(木) ティーンズ考古学講座①
- 8日(金) ティーンズ考古学講座②
- 9日(土) 夏季企画展 映画「RYOと彩の安曇野水物語」上映とギャラリートーク
- 11日(月) クラウドファンディング講演会 笹本正治 特別館長
「真田昌幸書状」
- 16日(土) 夏季企画展ギャラリートーク
- 21日(木) 館蔵文書を読む会④
- 23日(土) 古文書講座上級④、古文書演習
- 24日(日) 出前講座 初級古文書講座(諏訪市博物館)④
夏季企画展「安曇野ー知られざる里山の祈りー」終了
- 28日(木) 古文書講座初級B④・中級B④
- 30日(土) 古文書講座中級A④
- 31日(日) 古文書講座初級A④
- 9月 4日(木) 信州大学工学部学芸員養成講座「博物館展示論」
- 5日(金) お出かけ歴史館 阿南第一中学校
- 6日(土) 県立歴史館講座③ おぶせミュージアム・中島千波館館長 鶴田典昭 氏
「信州の旧石器を掘る！」
- 8日(月) 全館燻蒸(常設展示室)のため休館(〜18日)
- 19日(金) 燻蒸終了に伴い、開館
- 25日(木) 館蔵文書を読む会⑤
- 27日(土) 古文書講座上級⑤・古文書演習
歴史館出前講座 in 大桑村
- 10月 3日(金) 秋季企画展「疫病退散!除災祈願の考古学〜木製祭祀具にみる古代の祈り〜」
オープニングセレモニー
- 4日(土) 秋季企画展「疫病退散!除災祈願の考古学〜木製祭祀具にみる古代の祈り〜」開始
秋季企画展講演会① 奈良文化財研究所都城発掘調査部 浦 蓉子 氏
「古代の人形(ひとがた)に込められた祈りと呪いー平城宮出土資料を中心にー」
- 9日(木) 県立歴史館古文書愛好会探訪会(佐久市・長和町)
- 11日(土) 考古学体験講座①「木製祭祀具に触ってみよう①赤外線分析をしてみます」
- 16日(木) 古文書講座初級B⑤・中級B⑤
- 18日(土) 古文書講座中級A⑤
- 19日(日) 秋季企画展関連イベント 古代のボードゲーム「かりうち大会」
古文書講座初級A⑤
- 23日(木) 館蔵文書を読む会⑥
- 25日(土) 秋季企画展講座② 水澤教子 総合情報課長
「屋代遺跡群の調査と木製祭祀具」
- 26日(日) 出前講座 初級古文書講座(諏訪市博物館)⑤
お出かけ歴史館 木祖村社会体育館
- 31日(金) 長野県史料保存活用協議会総会・講習会①
- 11月 1日(土) 考古学体験講座②「木製祭祀具に触ってみよう②記録をとってみます」
歴史館出前講座 in 阿南町
- 3日(日) 開館記念日・千曲市森將軍塚まつり(入館無料)
缶バッジ配布
- 8日(土) 須坂市連携「須坂市民の日」
古文書フォローアップ講座(上級・中級・初級)
秋季企画展ワークショップ「人形や馬形をつくろう」
- 9日(土) 秋季企画展講座② 諏訪市博物館主査・学芸員 児玉利一 氏
「諏訪市フネ古墳と蛇行剣」
- 15日(土) 秋季企画展講座③ 櫻井秀雄 考古資料課長

「諏訪市フネ古墳と蛇行剣」

- 16日(日) 歴史館子育て家庭優待日
 20日(木) 館蔵文書を読む会⑦
 29日(土) イベント「クリスマスリースづくり」
 30日(日) 考古学セミナー②
 第1部 講演会 明治大学名誉教授 石川 日出志 氏
 「今、ここが面白い 弥生時代の信州」
 第2部 パネルディスカッション
 「弥生時代研究の最前線！」
 パネラー 石川日出志 氏(明治大学名誉教授、日本考古学協会会長)
 馬場 伸一郎 氏(長野県埋蔵文化財センター調査第二課長)
 堤 隆 氏(長野県考古学会副会長・明治大学特任教授)
- 12月6日(土) 近世史セミナー
 研究発表1「武士の家宝を伝える由緒」 須坂市立墨坂中学校教諭 山崎会理 氏
 講演「市河家による系図の作成と文書群の継承」 中央大学教授 西川広平 氏
 県立歴史館講座④ 町田勝則 総合情報課文化財指導主事
 「館蔵品原始－開館30年のあゆみⅡ－」
- 13日(土) 考古学体験講座③「黒曜石に触ってみよう～観察と分析をします～」
 14日(日) 館蔵資料を読む会⑧
 18日(木) お出かけ歴史館 阿南第一小学校
- 1月9日(金) 冬季企画展「霊場小菅－飯山の遺産と文化－」オープニングセレモニー
 10日(土) 冬季企画展「霊場小菅－飯山の遺産と文化－」開始
 16日(金) 古文書演習①
 17日(土) 企業協賛 KOA の日(入館無料)
 ①笹本正治特別館長による特別講演「小菅の魅力」
 ②プラ板マスコットづくり③縄文人の服を着て、縄文人になろう
 古文書演習②
- 18日(日) 古文書演習③
 23日(金) 古文書演習④
 24日(土) 冬季企画展ギャラリートーク①
 古文書演習⑤
- 25日(日) 古文書演習⑥
 28日(水) 第1回考古資料保存技術講習会
 29日(木) 長野県史料保存活用連絡協議会講習会③(～30日)
 30日(金) 古文書演習⑦
 31日(土) 県立歴史館講座⑤ 林誠 歴史館学芸員
 「丸山晚霞と日本の水彩画」
 古文書演習⑧
- 2月1日(日) 古文書演習⑨
 6日(金) 古文書演習⑩
 お出かけ歴史館 阿南第一中学校
- 7日(土) 古文書演習⑪
 8日(日) 古文書演習⑫
 10日(火) 信州大学学芸員養成講座(工学部)「資料保存論」
 13日(金) 古文書演習⑬
 信州大学学芸員養成講座(理・工・人文学部)「博物館資料・メディア論」
- 14日(土) 冬季企画展講座 飯山市教育委員会学芸員 丑山直美 氏
 「遺跡からみた小菅」
 古文書演習⑭
- 15日(日) 古文書演習⑮
 19日(木) 博物館等関係職員研修会(当館 長野県教育委員会主催)
 20日(金) 博物館等関係職員研修会(当館 長野県博物館協議会主催)
 古文書演習⑯
- 21日(土) 県立歴史館講座⑥ 佐久市教育委員会文化振興課 久保浩一郎氏

「日本列島最古の石刃石器群－佐久市香坂山遺跡－」

- 古文書演習⑦
- 22 日 (日) 古文書演習⑧、古文書愛好会総会
- 24 日 (火) 収蔵庫点検のため休館 (～2/27)
- 28 日 (土) 冬季企画展ギャラリートーク②
- 3 月 1 日 (日) 冬季企画展「霊場小菅－飯山の遺産と文化－」終了
- 6 日 (金) 第 2 回考古資料保存技術講習会
- 13 日 (金) 所蔵品展「所蔵品展 長野県民の戦後再出発」オープニングセレモニー
- 14 日 (土) 所蔵品展「所蔵品展 長野県民の戦後再出発」開始
- 県立歴史館講座⑦ 水澤教子 総合情報課長
「縄文時代の社会を考える－ジェンダー、階層、そして平和－」
- 20 日 (金) 古文書入門教室
- 親子映画会
- 21 日 (土) 親子映画会
- 22 日 (日) 親子映画会

長野県立歴史館年報 第28号

2026(令和8)年6月発行

編集・発行 長野県立歴史館

〒387-0007 千曲市大字屋代260-6

TEL 026-274-2000(代表)

FAX 026-274-3996
